

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ

品番 **DMC-FZ1000**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

困ったときは？

メッセージ表示 P272

Q & A
故障かな？ P283
と思ったら

知りたいことの
探し方 P2

目次 P4

機能別目次 P10

メニュー一覧 P276

さくいん P306

知りたいことの探し方

取扱説明書 活用ガイドでは、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動しますので、知りたいことを素早く探せます。

「目次」から探す



P4 ~

機能から探す

—機能別目次—



P10 ~

「各部の名前と働き」から探す



P14 ~

「モニター/ ファインダーの表示」から探す



P267 ~

カメラに表示されたメッセージから探す

—メッセージ表示—



P272 ~

メニュー名から探す

—メニュー— 一覧—



P276 ~

撮影	P276	セットアップ	P281
動画	P278	再生	P282
カスタム	P279		

「Q & A 故障かな？
と思ったら」から探す



P283 ~

キーワードから探す

—さくいん—



P306 ~



本書の詳しい読み方は、次ページへ

Wi-Fiについては、202 ページへ

本書の見方

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン : 使えるモード
- グレーのアイコン : 使えないモード

C1、**C2**は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

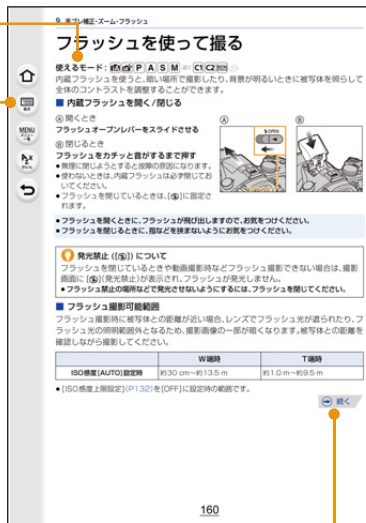
クリックすると「知りたいことの探し方」のページに移動します。

クリックすると「目次」のページに移動します。

クリックすると「メニュー一覧」のページに移動します。

クリックすると「さくいん」のページに移動します。

クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。



戻る

クリックすると、説明が次のページに続きます。

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

■ 本文中の記号について

MENU : [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi : [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

 : カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。

 : 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

 : 特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(P*※) : 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → [.]

目次

知りたいことの探し方	2
本書の見方	3
機能別目次	10

1. はじめに

ご使用の前に	12
付属品	13
各部の名前と働き	14

2. 撮影前の準備

レンズフードを付ける	19
レンズキャップを付ける	20
ショルダーストラップを付ける	20
バッテリーを充電する	21
充電する	21
使用時間と撮影枚数の目安	23
バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す	25
カードについて	26
本機で利用できるカードについて	26
カードをフォーマット(初期化)する	27
記録可能枚数・時間の目安	27
時計を設定する	29
時計設定を変更する	30
メニューを使って設定する	31
メニューの設定方法	31
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)	33
クイックメニューをお好みの項目に変更する	34
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)	35
本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー)	37
文字を入力する	44

3. 基本操作

本機の構え方について	45
構えた向きを検出する(縦位置検出機能)	45
ファインダー撮影について	46
[L/VF]ボタン(モニターとファインダーの切り換え)	46
アイセンサーAFについて	47
写真を撮る	48
動画を撮る	50
撮影モードを選ぶ	51
撮影画面の表示情報を切り換える	53

再生する	56
写真を見る	56
動画を見る	58
再生画面の表示情報を切り換える	59
画像を消去する	60

4. 撮影モード

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)	61
手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)	64
階調豊かな写真に合成する(iHDR)	64
背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)	65
明るさや色合いを変えて撮る	66
お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)	67
絞り/シャッタースピードを決めて撮る	69
絞り優先AEモード	69
シャッター優先AEモード	70
マニュアル露出モード	71
絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	73
絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる(ワンプッシュAE)	74
撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)	75
画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)	86
絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)	96
スローモーション動画を撮影する(ハイスピード動画)	97
お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)	98
お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)	98
登録したカスタムセットで撮る	99

5. 画質・色合いの設定

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)	100
明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ)	102
ホワイトバランスを調整する	103
画質とサイズを設定する	107
画像の横縦比を選ぶ	107
記録画素数を設定する	107
画像の圧縮率を設定する(クオリティ)	108
画像補正機能を使いこなす	109
コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール)	109
解像感を高める(超解像)	109
露出の異なる写真を合成する(HDR)	110
長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去)	111
色空間を設定する	111

6. ピント・明るさ（露出）の設定

自動でピントを合わせて撮る（オートフォーカス）.....	112
フォーカスモードについて（AFS、AFF、AFC）.....	113
オートフォーカスモードの種類.....	114
ピントの合わせ方をお好みに設定する.....	121
手動でピントを合わせて撮る（マニュアルフォーカス）.....	123
近づいて撮る（マクロ撮影）.....	128
露出やピントを固定して撮る（AF/AEロック）.....	129
露出を補正して撮る.....	130
ISO感度を設定する.....	131
ISO感度の上限を設定する.....	132
ISO感度のステップ幅を設定する.....	132
ISO感度を拡張する.....	132
明るさの測り方を選ぶ（測光モード）.....	133

7. シャッター・ドライブの設定

シャッター方式を設定する.....	134
ドライブモードを選ぶ.....	135
連写する.....	136
露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）.....	138
セルフタイマーを使って撮る.....	140
一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）.....	141
ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）.....	144

8. 被写体・目的に合わせた機能

1枚の写真に複数回の露出をする（多重露出）.....	147
操作音と発光の禁止を一括で設定する（サイレントモード）.....	148
顔を登録してきれいに撮影する（個人認証）.....	149
赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する.....	152
撮影に適した画面表示にする.....	153
カメラの映像をモニターしながら撮る.....	154

9. 手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

手ブレを補正する.....	155
ズームを使って撮る.....	157
フラッシュを使って撮る.....	160
フラッシュモードを切り換える.....	162
後幕シンクロに設定する.....	164
フラッシュの発光量を調整する.....	164
露出補正時に内蔵フラッシュ発光量を連動させる.....	165
発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）.....	165
ワイヤレスフラッシュの設定をする.....	166

赤目を補正する	168
---------------	-----

10. 動画を撮影する

動画を撮る	169
フォーマット、サイズ、フレームレートを設定する	169
動画撮影時のピントの合わせ方 (AF連続動作)	170
動画を撮る	171
4K動画を撮る	173
動画撮影中に写真を記録する	174
動画撮影メニューを使う	175
記録方式	175
画質設定	175
動画露出設定	175
ハイスピード動画	175
写真撮影	175
AF連続動作	175
動画傾き補正	176
輝度レベル設定	176
フリッカー軽減	176
マイクレベル表示	177
マイクレベル設定	177
専用マイク設定	177
音声入力のレベルを自動で調整する (マイクレベルリミッター)	177
風音低減	178
ズームマイク	178

11. 画像の再生・編集

グループ画像を見る	179
動画から写真を作成する	180
再生メニューを使う	181
スライドショー	181
再生モード	183
位置情報記録	184
RAW 現像	185
タイトル入力	188
文字焼き込み	189
動画分割	191
インターバル動画作成	192
コマ撮りアニメ作成	192
リサイズ (縮小) 画像サイズ (画素数) を小さくする	193
トリミング (切抜き) 画像を切り抜く	194
画像回転 / 縦位置自動回転	195
お気に入り	196
プリント設定	197
プロテクト	199

認証情報編集	200
画像表示順	200
消去確認画面	201

12. Wi-Fi 機能を使う

Wi-Fi® 機能 / NFC機能について	202
Wi-Fi 機能でできること	205
スマートフォン / タブレットとつないで使う	206
スマートフォン / タブレットアプリ「Image App」をインストールする	206
スマートフォン / タブレットと接続する	207
スマートフォン / タブレットで撮影する (リモート撮影)	212
カメラの画像を再生する	213
カメラの画像を保存する	213
カメラの画像をSNSへ送信する	215
スマートフォン / タブレットから、カメラの画像に位置情報を追加する	215
カメラを操作してスマートフォン / タブレットに画像を送る	217
テレビに写真を映す	220
ワイヤレスでプリントする	221
AV機器に画像を送る	222
パソコンに画像を送る	224
Webサービスを利用する	227
Webサービスに画像を送る	227
クラウド同期サービスに画像を送る	230
LUMIX CLUB (PicMate) への登録	232
LUMIX CLUB (PicMate) を設定する	232
宅外 AV 機器を設定する	236
接続について	237
自宅で接続する (ネットワーク経由)	238
外出先で接続する (直接接続)	240
以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する] / [お気に入りから接続する])	241
画像の送信設定について	243
Wi-Fi 設定メニュー	245

13. 他の機器との接続

4K 動画を楽しむ	247
テレビで見る	248
ピエラリンク (HDMI) を使う	249
写真や動画をパソコンに残す	251
付属のソフトウェアを使う	252
写真や動画をレコーダーに残す	256
プリントする	257
画像に日付を入れるには	260

14. その他・Q&A

別売品のご紹介.....	261
海外旅行先で使う.....	266
モニター/ファインダーの表示.....	267
メッセージ表示.....	272
メニュー一覧.....	276
撮影.....	276
動画.....	278
カスタム.....	279
セットアップ.....	281
再生.....	282
Q & A 故障かな?と思ったら.....	283
使用上のお願い.....	298
さくいん.....	306

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

機能別目次



撮影

撮影

撮影モード	P51
プレビュー	P73
マクロ撮影	P128
多重露出	P147
サイレントモード	P148

ピント(AF/MF)

フォーカスモード	P113
オートフォーカスモード	P114
AF エリアの位置移動	P119
マニュアルフォーカス	P123
AF/AE ロック	P129

ドライブ

ドライブモード	P135
セルフタイマー	P140
インターバル撮影	P141
コマ撮りアニメ	P144

画質・色合い

フォトスタイル	P100
ハイライトシャドウ	P102
ホワイトバランス	P103
記録画素数	P107
クオリティ	P108
iD レンジコントロール	P109

超解像	P109
HDR	P110
長秒ノイズ除去	P111
色空間	P111
ISO 感度	P131

露出

ワンブッシュ AE	P74
AF/AE ロック	P129
露出補正	P130
測光モード	P133
オートブラケット	P138

フラッシュ

フラッシュモード	P162
後幕シンクロ	P164
フラッシュ光量調整	P164
ワイヤレスフラッシュ設定	P166

画面設定

センターマーカー表示	P153
モノクロライブビュー	P154
マイクレベル表示	P177



動画

動画

クリエイティブ動画モード	P96
ハイスピード動画	P97
記録方式	P169
画質設定	P169
4K 動画	P173
動画中の写真撮影	P174

音声

マイクレベル設定	P177
風音低減	P178
マイクレベルリミッター	P177



セットアップ / カスタム

基本設定

フォーマット	P27
時計設定	P29
メニューの設定方法	P31
クイックメニュー	P33
電子音	P38
エコモード	P40
リセット (初期化)	P43

視度調整	P47
表示の切り換え	P53、59

カスタマイズ

クイックメニューの [カスタム]	P34
ファンクションボタン	P35
カスタムモード	P98
カスタムメニュー	P279



再生

再生

オートレビュー	P49
写真の再生	P56
再生ズーム	P56
マルチ再生	P57
動画の再生	P58
消去	P60

編集

RAW 現像	P185
リサイズ	P193
トリミング	P194

情報追加

位置情報記録	P184
タイトル入力	P188
文字焼き込み	P189

表示 / 再生設定

スライドショー	P181
画像回転 / 縦位置自動回転	P195

画像設定

お気に入り	P196
プリント設定	P197
プロテクト	P199



Wi-Fi

接続

Image App	P206
NFC	P211
WPS (プッシュボタン)	P238、240
直接接続	P240

他機器連携

TV で写真再生	P220
画像のプリント	P221
AV 機器に画像を送信	P222
パソコンに画像を送信	P224
Web サービスに画像を送信	P227
クラウド同期サービスの利用	P230

Image App

リモート撮影	P212
画像の保存	P213
画像の送信	P214、217
位置情報の送信、追加	P215
タッチシェアリング	P246



他機器接続

パソコン

PHOTOfunSTUDIO	P252
SILKYPIX	P252

レコーダー

ダビング	P256
------------	------

テレビ

ピエラリンク	P249
--------------	------

プリンター

ピクトブリッジ PictBridge	P257
-----------------------------	------



ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…



本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- レンズ部やモニターを強く押さえつける

- 持ち運ぶときや再生するときは、レンズを収納した状態でお使いください。

- 本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動であり故障ではありません。

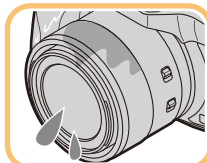
本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)…



- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

- 露付きが起こった場合、電源を切り、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P298)

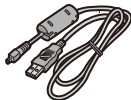
付属品

記載の品番は2014年6月現在のものです。変更されることがあります。



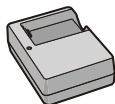
バッテリーパック

DMW-BLC12
(本文中では**バッテリー**と表記します)
●充電してからお使いください。



USB 接続ケーブル

K1HY08YY0031



バッテリーチャージャー※

DE-A79A
(本文中では**チャージャー**と表記します)



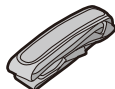
DVD

- ソフトウェア
 - 取扱説明書 活用ガイド (本書)
- (パソコンにインストールしてお使いください)



レンズフード

SYQ0081



ショルダーストラップ

VFC4453



レンズキャップ

SYQ0103



ホットシューカバー

VYF3522
(お買い上げ時は本機に装着されています)

※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC6)をお買い求めください。

- カードは別売です。
- 別売品については261ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

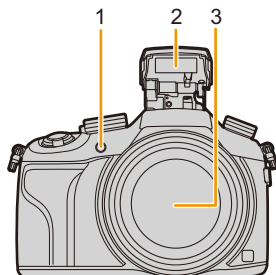
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけます。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

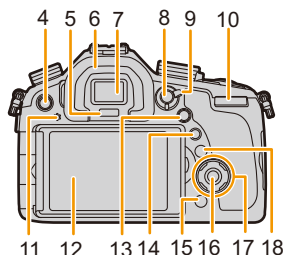
各部の名前と働き

- 1 セルフタイマーランプ(P140)/
AF補助光ランプ(P122)
- 2 フラッシュ発光部(P160)
- 3 レンズ面



- 4 [LVF]ボタン(P46)/ ファンクション [Fn5] ボタン(P35)
- 5 アイセンサー(P46)
- 6 アイカップ(P299)
- 7 ファインダー(P46)
- 8 [AF/AE LOCK]ボタン(P129)
- 9 フォーカスモードレバー(P112、123)
- 10 後ダイヤル(P18)
- 11 スピーカー

- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。



- 12 モニター(P17)
- 13 [Q.MENU]ボタン(P33)/ ファンクション [Fn3] ボタン(P35)
- 14 [▶] (再生)ボタン(P56)
- 15 [🗑️/↶] (消去/戻る)ボタン(P60)/ ファンクション [Fn4] ボタン(P35)
- 16 [MENU/SET] ボタン(P18、31)
- 17 カーソルボタン(P18)
- ▲(上)/ISO ボタン(P131)、▼(下)/AF ボタン(P128)、
◀(左)/オートフォーカスモードボタン(P112)、▶(右)/ ホワイトバランス WB ボタン(P103)
- 18 [DISP.] ボタン(P53、59)

- 押すごとにモニターの表示を切り換えます。

→ 続く

19 焦点距離表示(35mm フィルムカメラ換算)

- 画像横縦比 [3:2] 時の数値になります。(動画撮影時は、画面に表示される焦点距離を参考にしてください)

20 動画ボタン(P171)

21 ズームレバー(P157)

22 シャッターボタン(P48)

23 [Fn1] ボタン(P35)

24 ドライブモードダイヤル(P135)

□:単写(P135)/:連写(P136)/

:オートブラケット(P138)/

:セルフタイマー(P140)/

:インターバル / コマ撮り撮影
(P141、144)

25 ホットシュー(ホットシューカバー) (P262)

26 ステレオマイク(P177)

- マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。

27 モードダイヤル(P51)

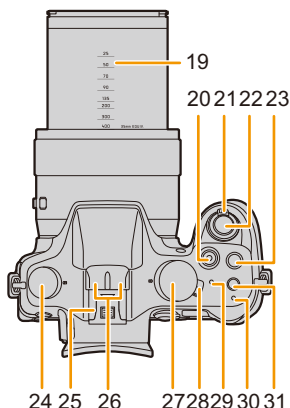
28 電源スイッチ(P29)

29 電源表示ランプ(P29)

30 Wi-Fi®接続ランプ(P203)

ワイファイ ワイファイ ファンクション

31 [Wi-Fi] ボタン(P203) / [Fn2] ボタン(P35)



32 NFCアンテナ部() (P211)

33 三脚取り付け部(P303)

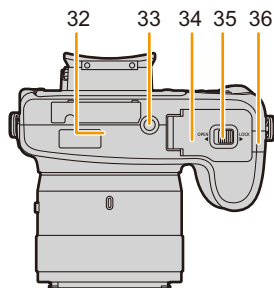
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

34 カード/バッテリー扉(P25)

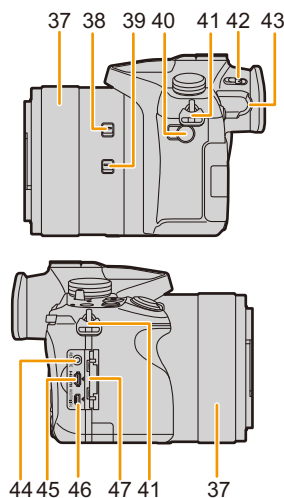
35 開閉レバー(P25)

36 DCカプラー扉(P265)

- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。

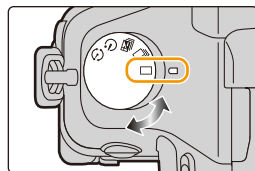


- 37 マニュアルリング(P123、157)
- ズーム操作またはフォーカス操作を行うことができます。
- 38 マニュアルリング切換スイッチ(P123、157)
- 39 O.I.S. スイッチ(P155)
- 40 マイク [MIC] 端子(P264)
- 41 ショルダーストラップ取り付け部(P20)
- 42 フラッシュオープンレバー(P160)
- フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。
- 43 視度調整ダイヤル(P47)
- 44 リモート [REMOTE] 端子(P263)
- 45 [HDMI] 端子(P248)
- 46 アウト デジタル [AV OUT/DIGITAL] 端子(P248、254、256、257)
- 47 端子カバー



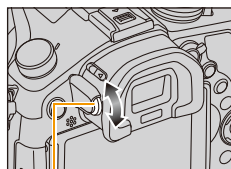
ドライブモードダイヤル

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。(P135)



視度調整ダイヤル

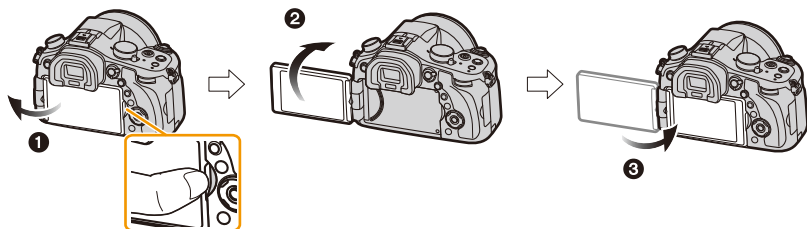
使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。(P47)



視度調整ダイヤル

モニター

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。
下図のようにしてモニター面を表にします。



- ① モニター右側のへこみ部分に指をひっかけて開く(最大180°開きます)
- ② レンズ方向に180°回転させる
- ③ 元の位置へ閉じる

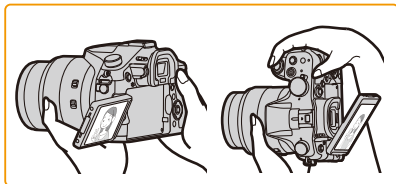
●モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。

■ フリーアングル撮影

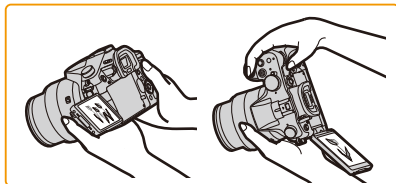
モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

●AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影



●モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

後ダイヤル

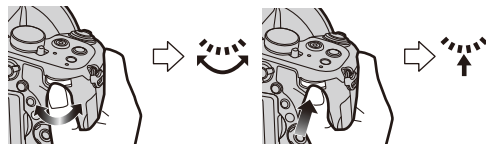
後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作の2とおりあります。

回す:各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

押す:各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。

●本書では後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例:後ダイヤルを左右に回すとき、押すとき



P / A / S / M モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	後ダイヤル
P (P67)	プログラムシフト※
A (P69)	絞り値※
S (P70)	シャッタースピード※
M (P71)	絞り値 / シャッタースピード

※後ダイヤルを押すと露出補正の設定に切り換わります。



ダイヤル操作ガイドを表示する/表示しない

MENU ボタン → **f** [カスタム] → [ダイヤル操作ガイド] → [ON]/[OFF]

- [ON]に設定すると、撮影画面にダイヤル、ボタンなどの操作ガイドが表示されます。

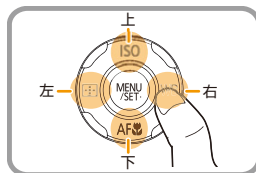


カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタンを押す: 設定内容の決定などを行います。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。



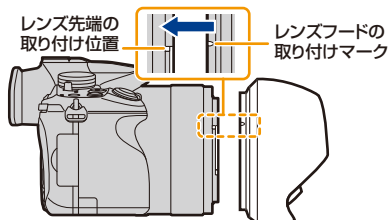
レンズフードを付ける

日差し強い中、逆光時のゴーストやフレアを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

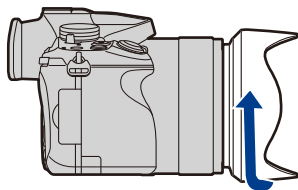
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。
- 電源が切れていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。



- 1 レンズフードの取り付けマークを
レンズ先端の取り付け位置の
少し上に合わせる

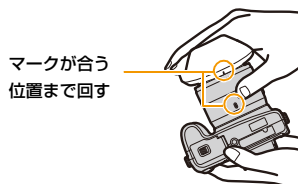


- 2 レンズフードを矢印の方向に回
してはめ込む

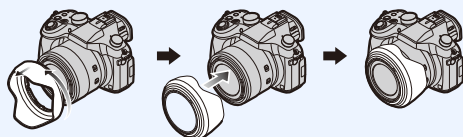


- 3 いったんマークの手前で止まりま
すが、“カチッ”と音がするまで回
し、本機底面のマークを合わせる

- 確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。



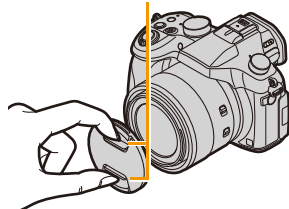
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く(ケラレ)なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。
- レンズフードを一時的に外して運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けることをお勧めします。撮影時は元の向きに付け直してください。



レンズキャップを付ける

- 電源を切っているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。
- 電源を入れているときは、必ずレンズキャップを外してください。
- レンズキャップの紛失にお気をつけください。

ここをつまんで外す



ショルダーストラップを付ける

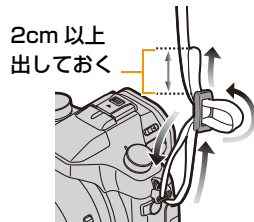
- 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

1 ショルダーストラップ取り付け部に通す



2 留め具に通して留める

- ねじれないようにもう片方にも付けてください。



バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2014年6月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BLC12です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

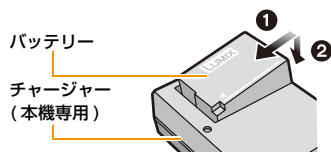
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

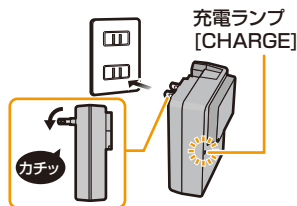
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、 バッテリーを差し込む



2 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。



■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

● 点滅するときは

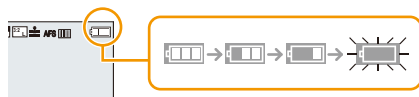
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電することをお勧めします。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電時間について

充電時間	約 140 分
------	---------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

■ バッテリー残量表示について



- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(電源表示ランプも点滅します) バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- チャージャーは海外でも使うことができます。(P266)

使用時間と撮影枚数の目安

写真記録(モニター使用時)(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

記録可能枚数	約360枚
撮影使用時間	約180分

写真記録(ファインダー使用時)(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

記録可能枚数	約300枚
撮影使用時間	約150分

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23℃/湿度50%RH、モニターを点灯
- 当社製のSDHCメモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始
(手ブレ補正を[]に設定)
- 30秒間隔で1回撮影、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。

[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4になります]

 続く

動画撮影(モニター使用時)

→ AVCHD (画質設定を [FHD/17M/60i] で撮影)

撮影可能時間	約 135 分
実撮影可能時間	約 70 分

→ MP4 (画質設定を [FHD/20M/30p] で撮影)

撮影可能時間	約 140 分
実撮影可能時間	約 75 分

- [AVCHD] の動画の場合:
連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。
- [MP4] のファイルサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の動画の場合:
連続記録時間が 29 分 59 秒を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、記録を停止します。
– [FHD] は、ファイルサイズが大きいため 29 分 59 秒より前に撮影を終了します。
- [MP4] のファイルサイズが [4K] の動画の場合:
連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。(ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます)
- 温度 23℃ / 湿度 50%RH の環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の入り / 切り、撮影の開始 / 終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

再生(モニター使用時)

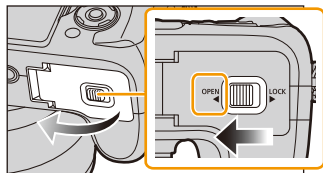
再生使用時間	約 300 分
--------	---------

- 使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。
例えば、以下の場合、使用時間と撮影枚数は減少します。
– スキー場などの低温下
– フラッシュ発光を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。
新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源が切れていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く



2 バッテリー:

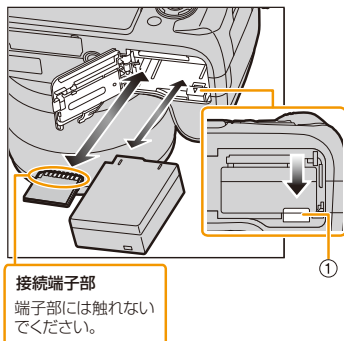
向きに気をつけて、ロック音ができるまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する

取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:

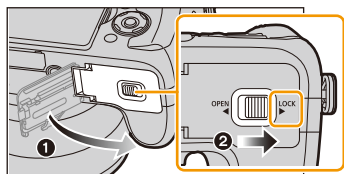
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる

取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



3 ① カード/バッテリー扉を閉じる

② 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる



- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

カードについて

本機で利用できるカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらをカードと記載しています)

SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※/microSDカード※	- SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。 - SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※	- 本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 - 左記の容量以外のカードは使えません。
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とスピードクラスについて

動画の[記録方式](P169)や[画質設定](P169)によって必要なカードが異なります。以下のSDスピードクラスやUHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

[記録方式]	[画質設定]	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS ④ ④
MP4	FHD/HD/VGA		
MP4	4K/ ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	③

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードアクセス中は・・・

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC10)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。戻すと可能になります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。



カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10)(P265)を使用してください。
- フォーマット中は電源を切らないでください。
- 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しいただいてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真: 枚)

- 残り枚数が 10000 枚以上の場合は、[9999+] と表示されます。
- 画像横縦比 [3:2]、クオリティ[] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(20M)	175	720	2910	5810
EX M(10M)	320	1310	5310	10510
EX S(5M)	560	2270	9220	17640

- 画像横縦比 [3:2]、クオリティ[RAW] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(20M)	56	220	920	1840
M(10M)	65	260	1070	2140
S(5M)	72	290	1170	2340

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

● 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	7m00s	35m00s	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]	12m00s	55m00s	4h05m	8h15m
[FHD/24M/30p]	9m00s	40m00s	2h50m	5h50m
[FHD/24M/24p]				

● 記録方式 [MP4] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[4K/100M/30p]	1m00s	8m00s	40m00s	1h20m
[FHD/28M/60p]	7m00s	34m00s	2h25m	5h00m
[FHD/20M/30p]	9m00s	45m00s	3h15m	6h40m
[HD/10M/30p]	20m00s	1h25m	6h20m	12h45m
[VGA/4M/30p]	38m00s	3h15m	13h00m	26h00m

● [AVCHD] の動画の場合:

連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。

● [MP4] のファイルサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の動画の場合:

連続記録時間が 29 分 59 秒を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、記録を停止します。

ー [FHD] は、ファイルサイズが大きいため 29 分 59 秒より前に撮影を終了します。

● [MP4] のファイルサイズが [4K] の動画の場合:

連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。(ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます)

● 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)

● 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

● 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。



記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換える

MENU ボタン → **f_c** [カスタム] → [残枚数/残時間切換]

[**残枚数**]: 写真の記録可能枚数を表示します。

[**残時間**]: 動画の記録可能時間を表示します。

- 残り枚数が 10000 枚以上の場合は、[9999 +] と表示されます。



時計を設定する

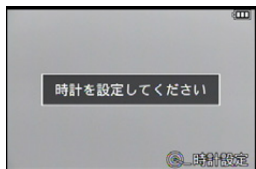
- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

- 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。



2 [MENU/SET] ボタンを押す



3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

- [⏮/⏭] ボタンを押すと、時計を設定せずに中止することができます。

表示順・時刻表示形式を設定する場合

- [表示形式] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示形式



表示順 時刻表示形式

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。
- ワールドタイムの[ホーム]の設定を促すメッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

→ 続く

5 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す



時計設定を変更する

セットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P31)

- 29 ページの手順3,4の操作で変更できます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

メニューの設定方法



- セットアップメニューの[メニュー位置メモリー](P42)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択した状態の画面になります。お買い上げ時は[ON]に設定されています。
- セットアップメニューの[メニューインフォメーション](P42)を[ON]に設定していると、メニュー項目/設定内容の説明文がメニュー画面に表示されます。

例) 撮影メニューで、[クオリティ]を[]から[]に設定する

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[]

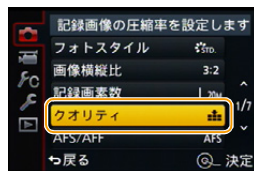
1 [MENU/SET] ボタンを押す



[] 撮影(P276～)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[] 動画(P175～)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[] カスタム(P279～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機のお操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[] セットアップ(P37～)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[] 再生(P282)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回しても、メニュー項目を選べます。
- [DISP.] ボタンを押すことでも、ページを切り換えられます。(ズームレバーを回しても切り換わります)



続く

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回して設定内容を選び、後ダイヤルを押して設定することもできます。
- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、動かなくなる機能があります。

■ メニューを終了する

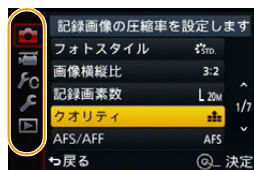
撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [⏮/⏭] ボタンを押す

- 撮影時はシャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

■ 他のメニューに切り換えるには

例) 撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

- 1 ◀ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで [⚙] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す
 - 続けてメニュー項目を選んで設定してください。



メニュー画面の背景を設定する

お好みに合わせてメニュー画面の背景を設定できます。

1 メニュー設定する

MENU ボタン → ⚙ [セットアップ] → [メニュー背景色]

2 ▲/▼ ボタンで背景の色を選び [MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。

よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

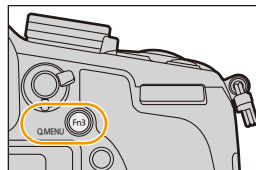
クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

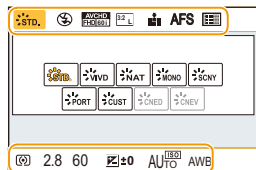
[Q.MENU]/[Fn3] ボタンは、[Q.MENU] と [Fn3] (ファンクション3) の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU] が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [35](#) ページをお読みください。

1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

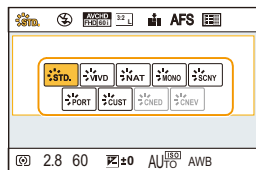


2 後ダイヤルを回してメニュー項目を選び、後ダイヤルを押す



3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

- ▲/▼/◀/▶ ボタンでも設定できます。



4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してメニューを終了する

クイックメニューの設定方法を切り換える

[MENU] ボタン → **Fn** [カスタム] → **[Q.MENU]**

[プリセット]: あらかじめ決められた項目を設定できます。

[カスタム]: 項目をお好みで変更し、設定できます。(P34)

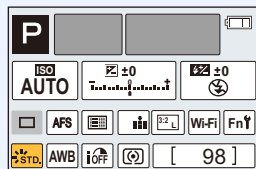
[(モニタースタイル)のモニター撮影情報画面(P53)でのクイックメニューの使用

(画面が表示されるまで、繰り返し [DISP.] ボタンを押す)

[Q.MENU] ボタンを押し、後ダイヤルを回して項目を選び、後ダイヤルを押してください。

後ダイヤルを回して設定内容を選び、後ダイヤルを押して決定してください。

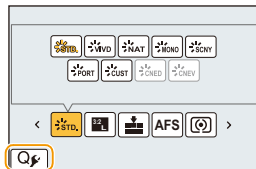
- ▲/▼/◀/▶ ボタンと [MENU/SET] ボタンでも設定できます。



クイックメニューをお好みの項目に変更する

カスタムメニューの[Q.MENU] (P33) を[カスタム]に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは 15 項目まで設定しておくことができます。

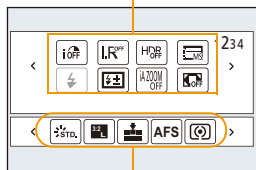
- 1 ▼ボタンで[Q.]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

クイックメニューとして設定できる項目

- 3 ◀/▶ ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選んで入れ替えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼ボタンで下段に入り、解除する項目を選んで[MENU/SET]ボタンを押してください。
- 設定できる項目は、以下のとおりです。

クイックメニュー画面に表示できる項目

撮影メニュー/撮影機能	
- フォトスタイル(P100) - 画像横縦比(P107) / 記録画素数(P107) - クオリティ(P108) - AFS/AFF(P113) - 測光モード(P133) - 連写速度(P136) - オートブラケット(P138) - セルフタイマー(P140) - iD レンジコントロール(P109) - 超解像(P109) - HDR(P110)	- シャッター方式(P134) - フラッシュモード(P162) - フラッシュ光量調整(P164) - iA ズーム(P158) - デジタルズーム(P159) - 手ブレ補正(P155) - ISO感度(P131) - ホワイトバランス(P103) - オートフォーカスモード(P112) - マクロ撮影モード(P128)

動画撮影メニュー	
- 動画記録方式/画質設定(P169)	- 写真撮影(P174)

カスタムメニュー	
- サイレントモード(P148) - ピーキング(P125) - ヒストグラム表示(P54) - ガイドライン表示(P55)	- ゼブラパターン表示(P153) - モノクロライブビュー(P154) - 記録枠表示(P171) - ズームレバー(P159) - マニュアルリング(ズーム)(P159)

- 4 [⏮/⏭] ボタンを押す

- 上記手順1の画面に戻ります。撮影画面にするには[MENU/SET]ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンに、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **Fn** [カスタム] → [Fn ボタン設定]

2 ▲/▼ ボタンで [撮影時設定] または [再生時設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

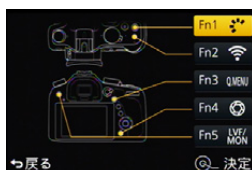
3 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定] については下記を、[再生時設定] については 36 ページをお読みください。

- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。



撮影時のファンクションボタンを設定する

撮影時にファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn3]、[Fn4]、[Fn5] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

撮影メニュー/ 撮影機能		
- Wi-Fi (P203) : [Fn2] ※	- 記録画素数 (P107)	- シャッター方式 (P134)
- Q.MENU (P33) : [Fn3] ※	- クオリティ (P108)	- フラッシュモード (P162)
- LVF/モニター切換 (P47) : [Fn5] ※	- AFS/AFF (P113)	- フラッシュ光量調整 (P164)
- AF/AE LOCK (P129)	- 測光モード (P133)	- iA ズーム (P158)
- AF-ON (P124, 129)	- 連写速度 (P136)	- デジタルズーム (P159)
- プレビュー (P73) : [Fn4] ※	- オートブラケット (P138)	- 手ブレ補正 (P155)
- ワンプッシュAE (P74)	- セルフタイマー (P140)	- ISO感度 (P131)
- 水準器表示 (P55)	- ハイライトシャドウ (P102)	- ホワイトバランス (P103)
- フォーカスエリア選択 (P36)	- iD レンズコントロール (P109)	- AF モード / MF (P112)
- フォトスタイル (P100) : [Fn1] ※	- 超解像 (P109)	- マクロ撮影モード (P128)
- 画像横縦比 (P107)	- HDR (P110)	- デフォルトに戻す

→ 続く

動画撮影メニュー	
- 動画記録方式/画質設定(P169)	- 写真撮影(P174)
カスタムメニュー	
- サイレントモード(P148)	- ゼブラパターン表示(P153)
- ピーキング(P125)	- モノクロライブビュー(P154)
- ヒストグラム表示(P54)	- 記録枠表示(P171)
- ガイドライン表示(P55)	- マニュアルリング(ズーム)(P159)

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
- [フォーカスエリア選択]設定時は、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示することができます。

こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]、[ワンポイントカラー]、[サンシャイン]または多重露出撮影時は[Fn1]は使えません。
- インターバル撮影時は[Fn2]は使えません。

再生時のファンクションボタンを設定する

再生時にファンクションボタンを押すことで、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn3]、[Fn5]のボタンに以下の機能が割り当てられます。

再生メニュー/再生機能	
- お気に入り(P196):[Fn3] ※	- 1枚消去(P60)
- プリント設定(P197)	- OFF:[Fn1] ※、[Fn2] ※、[Fn5] ※
- プロテクト(P199)	- デフォルトに戻す

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

■ 再生時にファンクションボタンを使う

例)[お気に入り]を[Fn3]に設定した場合

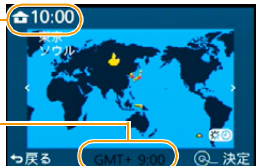
- 1 ◀▶ ボタンで画像を選ぶ
- 2 [Fn3] ボタンを押し、画像に[お気に入り]設定する
 - [プリント設定]時は、続けてプリント枚数を設定してください。
 - [1枚消去]時は、確認画面で[はい]を選んでください。



本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー)

📌 セットアップメニューの設定方法は 📖 P31

[時計設定]、[エコモード]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

項目	設定・お知らせ
時計設定	詳しくは、29ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。 旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	- お買い上げ時はまず [ホーム] を設定してください。 [旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。 [旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後は、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。 [✈ 旅行先]: 旅行先の地域 現地時刻  ホームとの時差 [🏠 ホーム]: お住まいの地域 現在時刻  GMT(グリニッジ標準時)との時差 - サマータイム[▲☀🕒](夏時間)を採用している場合は、▲ ボタンを押してください。(時計が1時間進みます)もう一度▲ ボタンを押すと元に戻ります。 - 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

 セットアップメニューの設定方法は P31

項目	設定・お知らせ
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P189)で撮影画像に焼き込むことができます。	[トラベル日付設定]: [設定]: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 [OFF] ●現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。 [トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 [旅行先]: [設定]: 撮影時に旅行先が記録されます。 [OFF] ●文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ●DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 ●トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ●[AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ●動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
Wi-Fi	[Wi-Fi 機能]、[Wi-Fi 設定] ●詳しくは、205、245ページをお読みください。
電子音 電子音や電子シャッター音の音量を設定します。	[電子音音量]: [r]: 大 [q]: 小 [x]: OFF [シャッター音音量]: [j]: 大 [k]: 小 [l]: OFF ●[サイレントモード]を[ON]に設定時は、[電子音音量]、[シャッター音音量]はOFFになります。

 セットアップメニューの設定方法は P31

項目	設定・お知らせ
ライブビューモード 撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。	[30fps]: 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 [60fps]: 動きを滑らかに表示できます。 ● [ライブビューモード]を[30fps]に設定すると、[60fps]設定時より撮影画面の画質が劣る場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● 暗い環境では、表示速度が遅くなる場合があります。 ● ACアダプター(別売:DMW-AC10)使用時は、[ライブビューモード]は[60fps]に固定されます。
モニター調整 / LVF調整 モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	[ [ [ [ 1 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する ● 後ダイヤルを回しても、調整できます。 2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する ● モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
モニター輝度 周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。	[* (AUTO)]: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [* (MODE1)]: モニターを明るくします。 [* (MODE2)]: モニターを標準的な明るさにします。 [* (MODE3)]: モニターを暗くします。 ● モニターに表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [MODE1]のモニターは、撮影時30秒間何も操作しないと、自動的に標準的な明るさに戻ります。ボタン操作で、再び明るく点灯します。 ● [AUTO]または[MODE1]設定時は、使用時間が減少します。 ● 再生時は、[AUTO]は選択できません。 ● ACアダプター(別売:DMW-AC10)使用時の初期設定は[MODE2]になります。



🔍 セットアップメニューの設定方法は 📖 P31

項目	設定・お知らせ
エコモード バッテリーの消費を防ぐための設定ができます。	[スリープモード]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [10分]、[5分]、[2分]、[1分]、[OFF] [LVF/ モニター自動OFF]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター/ファインダーを消灯します。 [5分]、[2分]、[1分] ● [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源を切ってからもう一度入れてください。 ● モニター/ ファインダーを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。 ● ファインダー/ モニター自動切換 (P46) が働くと、[LVF/ モニター自動 OFF] は解除されます。 ● 以下の場合、[エコモード]は働きません。 - パソコンまたはプリンター接続時 - 動画撮影/ 動画再生時 - スライドショー時 - [多重露出]設定時 - [インターバル撮影] 設定時 - [コマ撮りアニメ] の自動撮影 設定時 - 撮影モードで HDMI 接続時 ● ACアダプター (別売: DMW-AC10) 使用時は、[スリープモード]は働きません。 ● ACアダプター使用時は、[LVF/ モニター自動OFF] は [5分] に固定されます。
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	[🖨️ 接続時に選択]: パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 [🖨️ PictBridge(PTP)]: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [💻 PC]: パソコンに接続する場合に設定します。



🔍 セットアップメニューの設定方法は 📖 P31

項目	設定・お知らせ
テレビ接続設定 テレビなどとの接続のしかたを設定します。	[テレビ 画面タイプ]: テレビの種類に合わせて設定します。 [16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時
	● AVケーブル(別売)接続時に働きます。
	[再生時 HDMI 出力解像度]: HDMIマイクロケーブルを使って本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI 出力の映像方式を設定します。
	[AUTO]: 接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。 [4K]: 有効走査線数2160本のプログレッシブ方式で、サイズが3840×2160の出力をします。 [1080p]: 有効走査線数1080本のプログレッシブ方式で出力します。 [1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。 [720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。 [480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。
	● HDMIマイクロケーブル接続時に働きます。 ● 再生時のみ働きます。 ● [AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[AUTO]以外の固定された設定に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)
	[HDMI 情報表示(撮影時)]: テレビなどでモニターしながら撮影する際に、情報を表示するかしないかを設定をします。 [ON]: カメラの表示をそのまま出力する。 [OFF]: 映像のみを出力する。
	● HDMIマイクロケーブル接続時に働きます。 ● テレビ接続時は、テレビの音量を下げてください。



🔔 セットアップメニューの設定方法は 📖 P31

項目	設定・お知らせ
テレビ接続設定 (つづき)	[ビエラリンク]: 本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。 [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。 [OFF]: 本機のボタンでの操作になります。 ● HDMIマイクロケーブル接続時に働きます。 ● 詳しくは、249ページをお読みください。
メニュー位置メモリー 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	[ON]、[OFF]
メニュー背景色 メニュー画面の背景色を設定します。	● 詳しくは、32ページをお読みください。
メニューインフォメーション メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。	[ON]、[OFF]
バージョン表示	● 本体のファームウェアバージョンを確認できます。 ● バージョン表示画面で[MENU/SET]ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。
露出補正リセット 撮影モード変更時および電源切り時に露出補正量をリセットすることができます。	[ON]、[OFF]



🔍 セットアップメニューの設定方法は P31

項目	設定・お知らせ
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	● フォルダ番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ● フォルダ番号は100～999まで作成されます。フォルダ番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P27)することをお勧めします。 ● フォルダ番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダ番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	撮影設定、セットアップ/カスタム設定 ● 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 – [個人認証] の設定内容 ● セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 – [ワールドタイム](ホームエリア)の設定内容 (電源を入れ直すとホームエリアの設定画面が表示されます) – [トラベル日付] の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) – [プロフィール設定] の設定内容 – 再生メニューの[縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容 ● フォルダ番号、時計の設定は変わりません。
Wi-Fi 設定リセット Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。※	● カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。 ● 修理を依頼する場合も、個人情報の控えをとったあと、必ずリセットしてください。 ※ ([PicMate 設定]は除く) (P235)
フォーマット	● 詳しくは、27ページをお読みください。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。

右記のような画面が表示されると、文字を入力できます。
(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

●画面を表示するための操作の例：

MENU ボタン → [撮影] → [プロフィール設定] → [設定] →
[赤ちゃん1] → [名前] → [設定]



1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで文字を選び、[MENU/SET] ボタンで入力する

- [切換]にカーソルを合わせ [MENU/SET] ボタンを押すと、**かな**(ひらがな)、**カタ**(カタカナ)、**A**/**a**(アルファベット)、**1**(数字)、**&**(記号)に文字を切り換えることができます。([DISP.] ボタンを押しても切り換えることができます)
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、後ダイヤルを右側に回し、カーソルを移動させてください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が行えます。
 - [] : 空白を入力
 - [消去] : 文字を消去
 - [◀] : 入力位置を左に移動
 - [▶] : 入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
 - **かな**/**カタ** : 最大15文字 ([個人認証] の名前は最大6文字)
 - **A**/**a**/**1**/**&**※ : 最大30文字 ([個人認証] の名前は最大9文字)
※ [\], [[], []], [.], [-] は最大15文字 ([個人認証] の名前設定時は最大6文字) です。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

文字入力例

「バリ」と入力する場合：

- 1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[切換]を選ぶ
- 2 [MENU/SET] ボタンを押し、カナに切り換える
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「ハ」に移動し、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「。」に移動して [MENU/SET] ボタンを2回押し、「バ」にする
- 5 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「ラ」に移動して [MENU/SET] ボタンを2回押し、「リ」にする
- 6 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [決定] に移動し、[MENU/SET] ボタンを押す

●入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

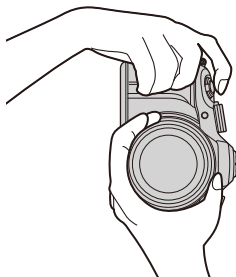
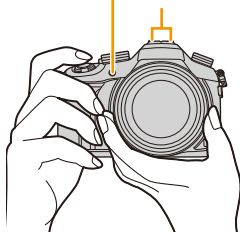
本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

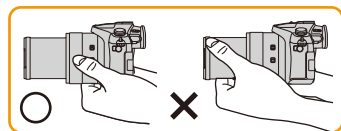
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。

AF補助光ランプ

マイク(P15)



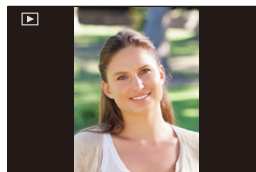
- レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。
レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。



構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出できる機能です。

再生時に自動で縦向きに表示することができます。〔縦位置自動回転〕(P195)を[ON]に設定している場合のみ)



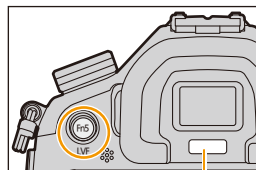
- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

ファインダー撮影について

[LVF] ボタン(モニターとファインダーの切り換え)

[LVF] ボタンを押すと、モニターとファインダーの表示が切り換わります。

- [LVF]/[Fn5] ボタンは、[LVF] と [Fn5] (ファンクション5) の2とおりの使い方ができます。
お買い上げ時は、[LVF/ モニター切換] が設定されています。
- ファンクションボタンについて詳しくは 35 ページをお読みください。



アイセンサー

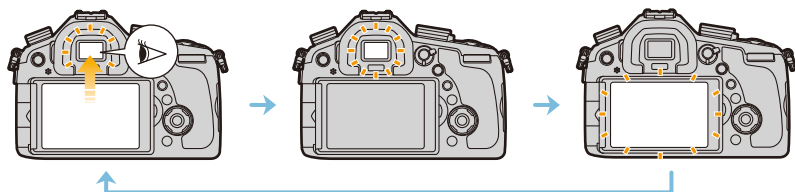
[LVF] ボタンを押す

- 以下のように切り換わります。

ファインダー/モニター
自動切換※

ファインダー表示※

モニター表示



※ カスタムメニューの[アイセンサーAF]を[ON]に設定しているときは、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。(P47)

- カスタムメニューの[アイセンサー]の[LVF/モニター切換]でも、ファインダーとモニターの表示を切り換えることができます。(P47)

■ アイセンサーでモニターとファインダーを切り換える

ファインダー/モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換えます。

- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は[LVF] ボタンを押して、切り換えてください。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換わりません。
- カスタムメニューの[アイセンサー]でアイセンサーの感度を設定できます。(P47)

→ 続く

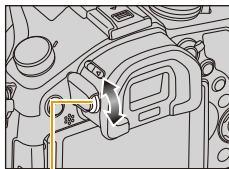
アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定する

MENU ボタン → **Fc** [カスタム] → [アイセンサー]

[感度]	アイセンサーの感度を設定します。 [強]、[弱]
[LVF/モニター切換]	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 [LVF/MON AUTO] (ファインダー / モニター自動切換)、 [LVF] (ファインダー表示)、[MON] (モニター表示) ● [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。

■ 視度調整について

使う前に視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるように調整できます。
ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整する



視度調整ダイヤル

アイセンサーAF について

カスタムメニューの[アイセンサーAF]を[ON]に設定しているときには、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。

- アイセンサーAF はファインダーをのぞいたときに一度だけピントを合わせます。のぞいたままの状態でも常にピントを合わせることはありません。
- [アイセンサーAF] でピントが合っても電子音は鳴りません。

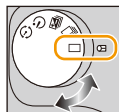


こんなときは使えません

- 低照度時は、[アイセンサーAF] が働かない場合があります。

写真を撮る

- ドライブモードダイヤルを [□] (単写) に合わせる。

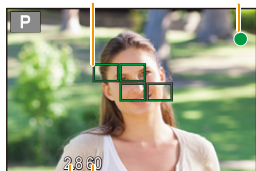


1 撮影モードを選ぶ(P51)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。
(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)

AF エリア フォーカス表示



絞り値 シャッタースピード

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
電子音	ピピッ	ピピピピッ

- 暗い環境ではフォーカス表示が [●] と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

- フォーカスモードを [AFF]、[AFC] に設定時
 - 半押し中にピントが合った 1 回目のみ電子音が鳴ります。
 - オートフォーカスモードを []、[] などの [カスタムマルチ] に設定している場合は、半押し中にピントが合った 1 回目のみ AF エリアが一瞬表示されます。

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



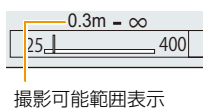
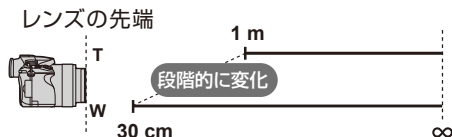
■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

- シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

例) プログラムAEモード時のピントの合う範囲



ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき



写真撮影後に撮影画像を表示する

MENU ボタン → **fc**[カスタム] → [オートレビュー]

[時間]	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 [ホールド]: シャッターボタン半押しまで表示 [5秒]、[4秒]、[3秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]
[再生操作優先]	[ON]: オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。 [OFF]: オートレビュー中は、撮影時と同様のボタン操作になります。

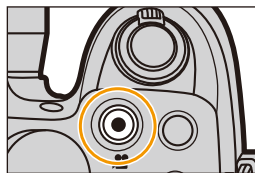
- [時間]を[ホールド]設定時、[再生優先]は[ON]に固定されます。

動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。



記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間

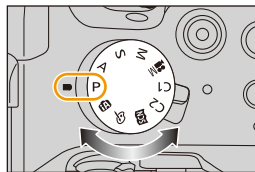
2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 詳しくは、171 ページの「動画を撮る」をお読みください。
- フラッシュを閉じて動画撮影することをお勧めします。
- 動画撮影中でもズーム操作ができます。
- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。(P174)

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



iA インテリジェントオートモード(P61)

カメラにおまかせで撮影します。

iA+ インテリジェントオートプラスモード(P61)

インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。

P プログラム AE モード(P67)

カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。

A 絞り優先 AE モード(P69)

絞り値を決めて撮影します。

S シャッター優先AEモード(P70)

シャッタースピードを決めて撮影します。

M マニュアル露出モード(P71)

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

 続く

M クリエイティブ動画モード(P96)

絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。4K 動画の撮影など、すべての動画の機能が使える撮影モードです。

※写真撮影はできません。

C1 C2 カスタムモード(P98)

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

SCN シーンガイドモード(P75)

撮影シーンに合わせて撮影します。

クリエイティブコントロールモード(P86)

画像効果を確認しながら撮影します。



モードダイヤルを  /  に切り換えたときに選択画面を表示する/しない

MENU ボタン →  [カスタム] → [メニューガイド]

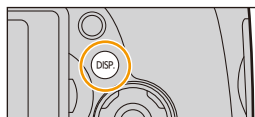
[ON]: シーンガイド、クリエイティブコントロールモードの選択画面を表示

[OFF]: 現在選択されているシーンガイド、クリエイティブコントロールモードの撮影画面を表示

撮影画面の表示情報を切り換える

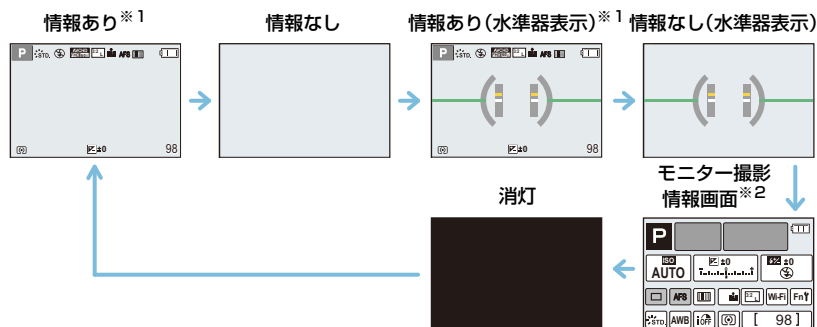
[DISP.] ボタンを押して切り換える

- カスタムメニューの[モニター表示スタイル]、[LVF表示スタイル]で、モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ[] (モニタースタイル)または[] (ファインダースタイル)から選ぶことができます。



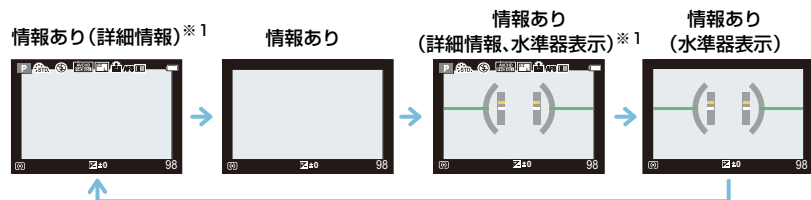
() モニタースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)



() ファインダースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(ファインダー表示での例です)



※1 カスタムメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。また、カスタムメニューの[露出メーター]を[ON]に設定すると、露出メーターを表示させることができます。(P67)

※2 カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。(P55) モニターで撮影情報を確認しながらファインダーを使って撮影することができます。

- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

モニターの表示方法を切り換える

MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [モニター表示スタイル]

[]: ファインダースタイル

[]: モニタースタイル

ファインダーの表示方法を切り換える

MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [LVF表示スタイル]

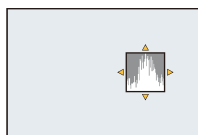
[]: ファインダースタイル

[]: モニタースタイル

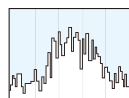
ヒストグラムを表示する/しない

MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [ヒストグラム表示] → [ON]/[OFF]

▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定することができます。



- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。



暗い ← → 明るい

- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが“0”以外のとき
 - フラッシュが発光するとき
 - フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

 続く

ガイドラインを表示する/しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [ガイドライン表示] → [] / [] / [] / [OFF]

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] では、ガイドラインは表示されません。

[] にすると、▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定することができます。



モニターの撮影情報画面を表示する/しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [モニター撮影情報画面] → [ON]/[OFF]

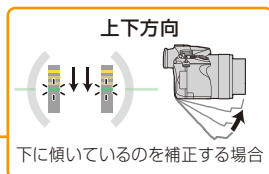
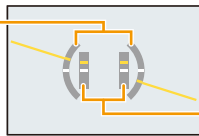
■ 水準器表示について

水準器を表示させると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。

- 1 [DISP.] ボタンを押して水準器を表示させる
- 2 カメラの傾きを確認する



左に傾いているのを補正する場合



下に傾いているのを補正する場合

- 傾きがほぼない状態は、緑色に変わります。
- 縦位置撮影時は、自動で縦位置用の表示に切り換わります。

- 傾きがほぼ補正された状態でも、±1° 程度の誤差が生じることがあります。
- ファンクションボタンに [水準器表示] を設定しているときは、ファンクションボタンを押すごとに、水準器の表示/非表示を切り換えることができます。

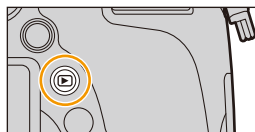
こんなときは使えません

- 本機を動かしている間は、水準器表示が正しく表示できない場合があります。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能 (P45) が正しく動かない場合があります。

再生する

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀: 前の画像へ ▶: 次の画像へ

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることが出来ます。
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。



■ 再生を終了するには

再度 [▶] ボタンを押すか、動画ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

🔒 こんなときは使えません

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

再生画面を拡大する(再生ズーム)

ズームレバーを [Q] (T) 側に回す

1 倍 ⇄ 2 倍 ⇄ 4 倍 ⇄ 8 倍 ⇄ 16 倍

- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押すと、拡大部分を移動することができます。

ズーム位置表示

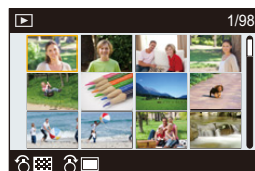


複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

ズームレバーを [] (W) 側に回す

1画面 ⇨ 12画面 ⇨ 30画面 ⇨ カレンダー画面表示

- [!] と表示される画像は再生できません。



■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 ズームレバーを [] (W) 側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを [] (W) 側に回してください。



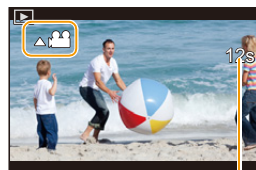
- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2014年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

再生状態で動画アイコン([👤])が付いた画像を選び、▲ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。



動画記録時間

- ハイスピード動画の画像では、動画記録時間と再生時間が表示されます。



■ 動画再生中の操作

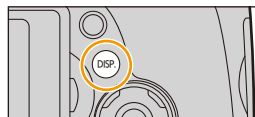
▲	再生/一時停止	▼	停止
◀	早戻し再生※	▶	早送り再生※
	コマ戻し(一時停止中)		コマ送り(一時停止中)
後ダイヤル (左回し)	音量下げる	後ダイヤル (右回し)	音量上げる

※ もう一度 ▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

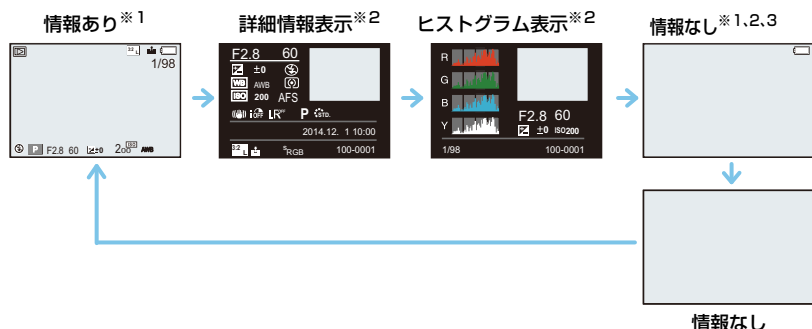
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はDVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約10倍の速度で再生されます。

再生画面の表示情報を切り換える

[DISP.] ボタンを押して切り換える



●画面は以下のように切り換わります。



※1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

※2 再生ズーム時、動画再生中、連続再生中、パノラマ再生中、スライドショー中は表示されません。

※3 カスタムメニューの[ハイライト表示] (P59) を[ON]にしているときのみ表示されます。

●再生時はヒストグラム(カラー)をR(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)、Y(輝度)に分けて表示します。

白飛びしている個所を表示する/しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [ハイライト表示] → [ON] / [OFF]

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。撮影画像には影響されません。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム (P54) を参考に、露出をマイナス方向に補正して (P130) 再度撮影することをお勧めします。

- マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は働きません。

[ON]



[OFF]



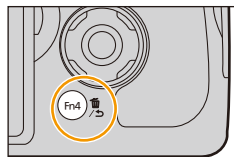
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

●DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

1 枚消去

- 1 再生状態で消去する画像を選び、[⏮/⏭] ボタンを押す

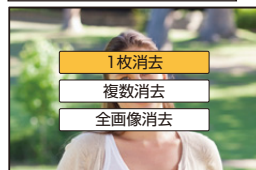


- 2 ▲ボタンで[1枚消去]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。



- 再生メニューの[消去確認画面]で、消去確認画面で[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます。お買い上げ時は[いいえ]が選ばれるように設定されています。(P201)
- [1枚消去]を設定しているファンクションボタンを押すことで、直接1枚消去することができます。(P36)



複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 1 再生状態で [⏮/⏭] ボタンを押す

- 2 ▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

- 3 ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[⏮]が表示されます。もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

- 4 ([複数消去]選択時)◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。



- 消去中は電源を切らないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)(P265)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード:  

カメラにおまかせで気軽に撮りたいときは、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うインテリジェントオートプラスモードやインテリジェントオートモードをお使いください。

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードでは、設定できる機能が異なります。(○：設定可、×：設定不可)

	インテリジェントオートプラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定(P66)	○	×
色合い設定(P66)	○	×
ボケ味コントロール(P65)	○	○
設定できるメニュー	63 ページをお読みください。	63 ページをお読みください。

1 モードダイヤルを に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
- ◀ ボタンを押し、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。
詳しくは 114 ページをお読みください。



■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

1 [MENU/SET] ボタンを押す

- ◀ ボタンを押してから ▲/▼ ボタンで  または  を選んでください。



2 ◀/▶ ボタンで または を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.] ボタンを押すと、選択されているモードの説明が表示されます。



■ 自動シーン判別について

写真撮影時

→ i 人物	i 風景	i マクロ	i 夜景&人物※ ¹
i 夜景	i 手持ち夜景※ ²	i 料理	i 赤ちゃん※ ³
i 夕焼け			

※¹ 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。

※² [i手持ち夜景]を[ON]に設定したときのみ表示されます。(P64)

※³ [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録(P150)の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔・瞳認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

→ i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ
---------	------	---------	-------

- どのシーンにも当てはまらない場合は[]になり、標準的な設定を行います。
- []、[]、[]のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。(顔・瞳認識)
- []と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようお気をつけください。
- 追尾AF時は、被写体をロックするまで自動シーン判別は動きません。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[]、[]、[]の右上に[R]が表示されます。

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
 - 被写体条件
顔の明暗/被写体の大きさ・色・形状/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いているとき
 - 撮影条件
夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率

■ フラッシュ

フラッシュを閉じているときは[]に、開いているときは[] (オート)に設定されます。フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[]、[] (赤目軽減オート)、[]、または[]に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P160)
- []、[]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- []、[]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

■ 自動で働く機能について

カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

- 自動シーン判別/逆光補正/顔・瞳認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/
デジタル赤目補正/超解像/IDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/クイックAF/AF補助光/
動画傾き補正

■ 設定できるメニューについて

以下のメニューのみ設定できます。

インテリジェントオートプラスモード	
メニュー	項目
撮影	[フォトスタイル]/[画像横縦比]/[記録画素数]/[クオリティ]/[AFS/AFF]/[連写速度]/ [オートブラケット]/[セルフタイマー]/[インターバル/コマ撮り撮影]/[手持ち夜景]/[iHDR]/ [シャッター方式]/[色空間]/[手ブレ補正]/[個人認証]/[プロフィール設定]
動画撮影	[フォトスタイル]/[記録方式]/[画質設定]/[AFS/AFF]/[AF連続動作]/ [マイクレベル表示]/[マイクレベル設定]/[専用マイク設定]/ [マイクレベルリミッター]/[風音低減]/[ズームマイク]
カスタム	[サイレントモード]/[シャッター半押しリリース]/[ピンポイント AF 時間]/ [フォーカス/リリース優先]/[AF+MF]/[MFアシスト]/[MFガイド]/[ピーキング]/ [ヒストグラム表示]/[ガイドライン表示]/[センターマーカー表示]/[ハイライト表示]/ [ゼブラパターン表示]/[モノクロライブビュー]/[常時プレビュー(Mモード)]/ [露出メーター]/[ダイヤル操作ガイド]/[LVF表示スタイル]/[モニター表示スタイル]/ [モニター撮影情報画面]/[記録枠表示]/[残枚数/残時間切換]/[オートレビュー]/ [Fnボタン設定]/[ズームレバー]/[マニュアルリング(ズーム)]/[ズーム位置メモリー]/ [Q.MENU]/[動画ボタン]/[アイセンサー]/[メニューガイド]
セットアップ	すべてのメニュー項目が設定できます。(P37)

インテリジェントオートモード	
メニュー	項目
撮影	[画像横縦比]/[記録画素数]/[AFS/AFF]/[連写速度]/[セルフタイマー]/ [インターバル/コマ撮り撮影]/[手持ち夜景]/[iHDR]/[個人認証]
動画撮影	[記録方式]/[画質設定]/[AFS/AFF]/[専用マイク設定]
カスタム	[サイレントモード]/[ガイドライン表示]/[残枚数/残時間切換]
セットアップ	すべてのメニュー項目が設定できます。(P37)



逆光補正について

- カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)

撮影モード:  

[i手持ち夜景]を[ON]に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中にと判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン →  [撮影] → [i手持ち夜景] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- 画面に複数枚撮影のメッセージが表示されます。シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 三脚などで本機を固定しているときは、と判別されません。
- フラッシュは (発光禁止)に固定されます。

 **こんなときは使えません**

- 動画撮影中の写真記録では動きません。
- 以下の場合、[i手持ち夜景]は使えません。
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

階調豊かな写真に合成する(iHDR)

撮影モード:  

[iHDR]を[ON]に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iHDR] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- 画面に複数枚撮影のメッセージが表示されます。シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。

 **こんなときは使えません**

- 動画撮影中の写真記録では動きません。
- 以下の場合、[iHDR]は使えません。
 - フラッシュ撮影時
 - 連写撮影時
 - オートブラケット撮影時
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード:  

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- インテリジェントオートプラスモード時は、後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作(P66)、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。
- インテリジェントオートモード時は、後ダイヤルを押すごとに、ボケ味コントロール操作と操作の終了が切り換わります。

2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する



ボケ具合が大きい



ボケ具合が小さい



3 写真または動画を撮影する

- ボケ具合の設定画面で  /  ボタンを押すと、設定が解除されます。
- インテリジェントオート ( または ) モードでは、オートフォーカスモードが  になります。

明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 

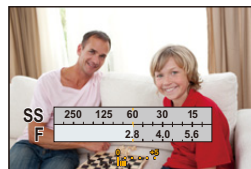
カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

明るさを設定する

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作(P65)、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して明るさを調整する



色合いを設定する

1 ▶ ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- [露出補正リセット]を[ON]に設定した場合、設定した明るさは、電源を切る、または他の撮影モードに変更すると標準(中心点)に戻ります。
- 設定した色合いは、電源を切る、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

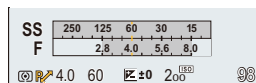
撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



プログラムシフト表示

3 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

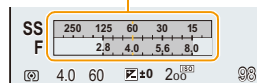
- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作(P130)が切り換わります。
- 画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまで、後ダイヤルを回してください。
- ファンクションボタンに[ワンプッシュAE]を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P74)

露出メーターを表示する/しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [露出メーター] → [ON] / [OFF]

- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。(P53)
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。

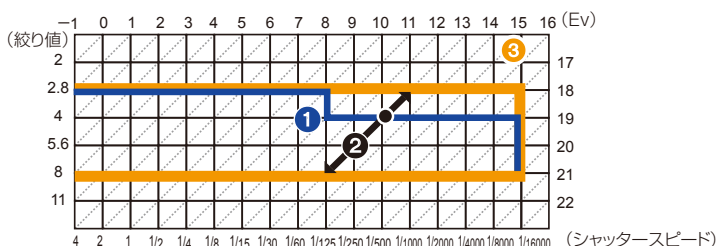
露出メーター



プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

<プログラムシフトの例>



- ① プログラム線図
各EV値での、カメラが自動的に設定する絞り値とシャッタースピードを表しています。
- ② プログラムシフト量
各EV値での、プログラムシフトで変えられる、絞り値とシャッタースピードの組み合わせの範囲を表しています。
- ③ プログラムシフト限界
本機でプログラムシフトすることで選べる絞り値とシャッタースピードの範囲を表しています。

● EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。

こんなときは使えません

- ISO感度を [ISO] に設定すると、プログラムシフトできません。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **[A]** **[S]** **[M]**

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P73)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。

A: 絞り優先AEモード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

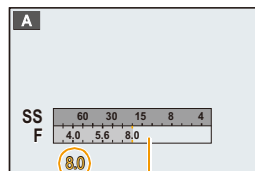
- 1 モードダイヤルを **[A]** に合わせる
- 2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する



絞り値: 小くなる
背景をぼかしやすくなります。



絞り値: 大きくなる
背景までピントが合った状態にやすくなります。



絞り値 露出メーター

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

設定可能な絞り値※	本機で設定されるシャッタースピード(秒)
F2.8 ~ F8.0	60 ~ 1/4000(メカシャッター使用時) 1 ~ 1/16000(電子シャッター使用時)

※ズーム位置によっては、選べない値があります。

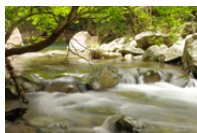
- 後ダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

S: シャッター優先AEモード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

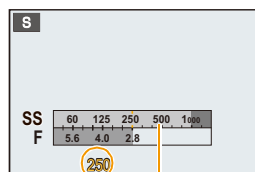
2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する



シャッタースピード:
遅くなる
動きを表現しやすくなります。



シャッタースピード:
速くなる
動きを止めやすくなります。



シャッタースピード 露出メーター

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

設定可能なシャッタースピード(秒)	本機で設定される絞り値
60 ~ 1/4000(メカシャッター使用時)	F2.8 ~ F8.0
1 ~ 1/16000(電子シャッター使用時)	

- 後ダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- ISO感度が[ISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。

M: マニュアル露出モード

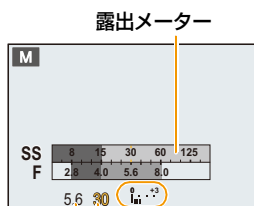
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。



絞り値 マニュアル
露出アシスト
シャッタースピード

絞り値	 小さくなる 背景をぼかしやすくなります。	 大きくなる 背景までピントが合った状態にやすくなります。
シャッタースピード	 遅くなる 動きを表現しやすくなります。	 速くなる 動きを止めやすくなります。

設定可能な絞り値※	設定可能なシャッタースピード(秒)
F2.8 ~ F8.0	B(バルブ)、60 ~ 1/4000(メカシャッター使用時) 1 ~ 1/16000(電子シャッター使用時)

※ズーム位置によっては、選べない値があります。

→ 続く



マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約120秒間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、画面に[B]が表示されます。
- バルブ撮影時は、十分に充電されたバッテリー(P21)を使用してください。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- ISO感度を[AUTO]に設定時、ISO感度は[125]に切り換わります。
- 電子シャッター使用時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。



- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、263ページをお読みください。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。(P111)



撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない

MENU ボタン → **f/c**[カスタム] → [常時プレビュー(Mモード)] → [ON]/[OFF]

- フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。
- 後ダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- ISO感度を[ISO]に設定時、ISO感度は[AUTO]に切り換わります。

絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード:

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- **絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P35)

- 次の手順は、[Fn4] ボタンに[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 [Fn4] ボタンを押して確認画面を切り換える

- [Fn4] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/16000秒です。

絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる(ワンブッシュAE)

使えるモード:

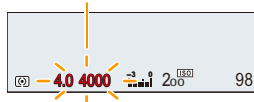
露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたとき、ワンブッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。



適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが ④以外で表示されたとき。マニュアル露出アシストについて詳しくは [72](#) ページをお読みください。

赤色で点滅

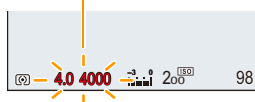


1 ファンクションボタンに[ワンブッシュAE]を設定する(P35)

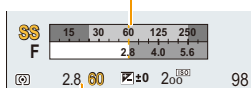
- 次の手順は、[Fn1] ボタンに[ワンブッシュAE]を設定した場合の例です。

2 (適正露出でないときに)[Fn1] ボタンを押す

赤色で点滅



露出メーター



適正露出に変更

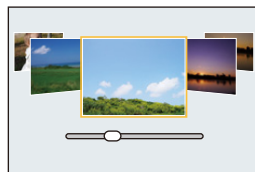
- 露出メーターが表示され、絞り値やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。
- クリエイティブ動画モードの場合、露出メーターは表示されません。
- 以下の場合では、適正露出に合わせることができません。
 - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - フラッシュ撮影時
 - プレビューモード時(P73)
- プログラムAEモード時では、[ワンブッシュAE]を設定しているファンクションボタンを押すとプログラムシフトを解除することができます。

撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード: 

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

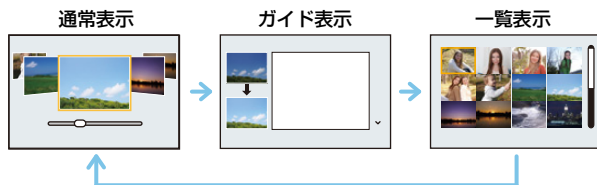
- 1 モードダイヤルを [] に合わせる
- 2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



■ シーンを選ぶ画面の表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える

●[DISP.] ボタンを押すごとに、シーンを選ぶ画面が切り換わります。



もっと表現を楽しむために

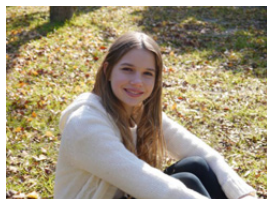
シーンを選ぶ画面表示をガイド表示に切り換えると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。もっと写真表現を楽しみたい方には、説明を読んで撮影してみることをお勧めします。

●▲/▼ ボタンを押してページを切り換えられます。

- シーンガイドモードを変更したい場合は、メニュー画面で [] タブを選び、[シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記手順 2 に戻ります。
- シーンガイドモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
 - [フォトスタイル] の画質調整以外の項目 / ISO 感度
- シーンによってはホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、撮影画面で ▶ ボタンを押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスブラケットが使えます。
詳しくは、105、106 ページをお読みください。



💡 シーンガイドモードの設定方法は P75



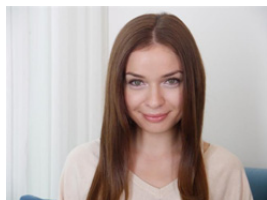
1: 人物をきれいに撮る

顔の明るさを適正にして、背景をぼかすことで、人物をきれいに撮影できます。



ヒント

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするより効果が出ます。



2: 人物の肌をきれいに撮る

顔を少し明るめにして、肌色をなめらかにすることで、人物の肌をきれいに撮影できます。



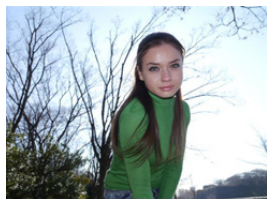
ヒント

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするより効果が出ます。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。



3: 逆光でふんわり撮る

逆光のときに、画面全体を明るめにするすることで、光があふれて、ふんわりとした雰囲気人物を撮影できます。



4: 逆光でしっかり撮る

昼間の屋外で、フラッシュを使うことで、しっかりと人物の顔を撮影できます。



ヒント

- フラッシュを開いてください。([])に設定できます)
- 被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- [サイレントモード]を[ON]に設定している時は、フラッシュは発光しません。



🔦 シーンガイドモードの設定方法は P75

5: ほのぼのとした雰囲気撮る

暖色の色調にすることで、ほのぼのとした雰囲気でも人物を撮影できます。



6: 子どもをかわいく撮る

顔にピントを合わせて背景をぼかすことで、子どもの表情を引き立てて、かわいく撮影できます。



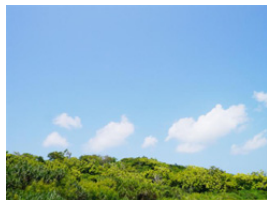
ヒント

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにする
とより効果が出ます。



7: 風景をきれいに撮る

青空や緑を鮮やかにすることで、風景をきれいに撮影できます。

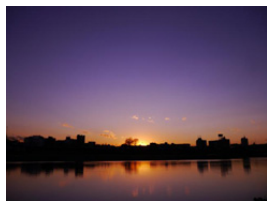


8: 青空をさわやかに撮る

晴れた日に、画面全体を明るめにするので、さわやかに青空を撮影できます。

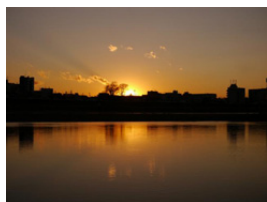


🔦 シーンガイドモードの設定方法は P75



9: 夕焼けを幻想的に撮る

日没直後に、紫がかった色調にすることで、幻想的な空を撮影できます。



10: 夕焼けを印象的に撮る

赤色を強調することで、印象的な夕焼けを撮影できます。



11: 水面をキラキラ撮る

水面に映る光を、明るく青く、キラキラと強調させて撮影できます。

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。



12: 夜景をきれいに撮る

光の色を鮮やかにすることで、夜景をきれいに撮影できます。

💡 ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



💡 シーンガイドモードの設定方法は P75

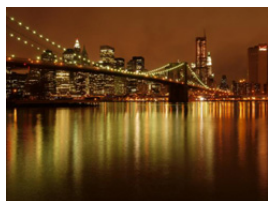
13: 夜空をクールに撮る

日没後に、青みがかった色調にすることで、都会的でクールに夜空を撮影できます。



ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



14: 夜景を暖かく撮る

暖色の色調にすることで、暖かみのある夜景を撮影できます。



ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



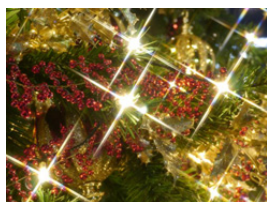
15: 夜景をアーティスティックに撮る

シャッタースピードを遅くすることで、光の軌跡が美しい、アーティスティックな夜景を撮影できます。



ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



💡 シーンガイドモードの設定方法は P75

16: イルミネーションをキラキラ撮る

クロスフィルターを使うことで、光の輝きがキラキラと強調されたイルミネーションやライトアップを撮影できます。

💡 ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



17: 夜景を手持ちで撮る

連写した写真を合成することで、手持ちでも、手ブレとノイズを抑えて夜景を撮影できます。

💡 ヒント

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角が僅かに狭くなります。

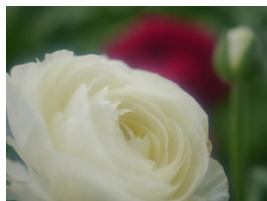


18: 夜景をバックに人物をきれいに撮る

フラッシュを発光し、長秒撮影することで、夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。

💡 ヒント

- フラッシュを開いてください。([*]) に設定できます)
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。
- [サイレントモード] を [ON] に設定している時は、フラッシュは発光しません。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



💡 シーンガイドモードの設定方法は P75

19: 花をふんわり撮る

ソフトフォーカスを使うことで、ふんわりとやわらかな雰囲気の花を撮影できます。

💡 ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。
- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- ピントが合う範囲は、49 ページの「ピントの合う範囲について」をお読みください。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 撮影時は近距離側を優先するため、遠くの被写体を撮影する場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまう被写体にピントが合わない場合がありますのでお気をつけください。(P300)



20: 料理をおいしそうに撮る

画面全体を明るくすることで、おいしそうに料理を撮影できます。

💡 ヒント

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。



💡 シーンガイドモードの設定方法は P75

21: スイーツをかわいく撮る

画面全体を明るくすることで、かわいくスイーツを撮影できます。



ヒント

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにする
とより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。



22: 動くペットをきちんと撮る

シャッタースピードを速くすることで、ブレずに動きの速いペットを撮影できます。

- [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。



23: スポーツをきれいに撮る

シャッタースピードを速くすることで、スポーツシーンなど、動きの速い場面をブレずに撮影できます。

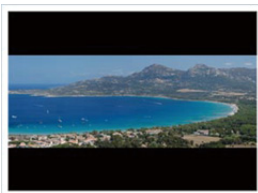


24: モノクロで撮る

モノクロで撮影することで、いつもと違った雰囲気でも撮影できます。



💡 シーンガイドモードの設定方法は P75



25: パノラマで撮る

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

1 撮影方向を確認し、[MENU/SET] ボタンを押す

- 水平/垂直ガイドが表示されます。



撮影方向を変更するには

① メニュー設定する

MENU ボタン → [撮影] → [パノラマ設定] → [撮影方向]

② 撮影方向を選んで[MENU/SET]ボタンを押す

[→] (左→右) / [←] (右→左) / [↑] (下→上) / [↓] (上→下)



画像効果を加えるには

① メニュー設定する

MENU ボタン → [撮影] → [パノラマ設定] → [フィルター選択]

② ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- クリエイティブコントロールモードと同じ操作で、同じ画像効果を加えることができます。(P86) ([トイフォット]、[トイポップ]、[ジオラマ]、[サンシャイン]を除く)
- パノラマ写真の撮影中、以下のクリエイティブコントロールモードの画像効果は画面に反映されません。
[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]
- 画像効果を加えない場合は [効果なし] を選択してください。

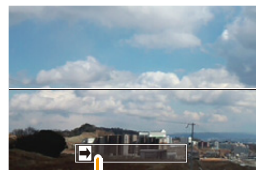
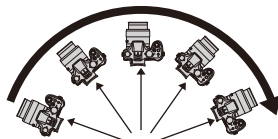
③ [MENU/SET] ボタンを押す

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

続く

3 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

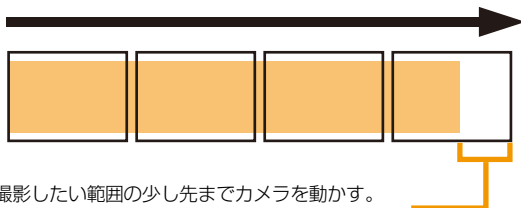
4 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。



ヒント

- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。
(揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)



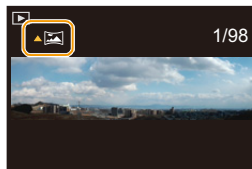
- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
(最後の 1 コマは端まで記録されません)

■ 再生について

▲ ボタンを押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

- スクロール再生中は、以下の操作が行えます。

▲	パノラマ再生開始 / 一時停止
▼	停止
◀	コマ戻し(一時停止中)
▶	コマ送り(一時停止中)



- ズーム位置は W 端に固定されます。
- ピント・ホワイトバランス・露出は、1 コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
- 画像効果を加えた場合、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。
- 複数の写真から 1 枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、撮影方向や合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

撮影方向	横	縦
水平方向	8176 画素	1920 画素
垂直方向	2560 画素	7680 画素

- シャッター方式は [AUTO] に固定されます。

🚫 こんなときは使えません

- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
 - 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
 - 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
 - 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
 - 暗い場所
 - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所
- サイレントモード設定時は使えません。

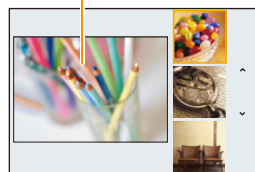
画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

撮影モード: 

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

- 1 モードダイヤルを [] に合わせる
- 2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ
 ● 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

プレビュー表示



■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面の表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- [DISP.] ボタンを押すごとに、画像効果を選ぶ画面が切り換わります。
- ガイド表示に切り換えると、選択されている画像効果の説明が表示されます。



- クリエイティブコントロールモードを変更したい場合は、メニュー画面で [] タブを選び、[フィルター切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記手順 2 に戻ります。
- ホワイトバランスは [AWB] に、ISO感度は [AUTO] に、フォトスタイルは [スタンダード] に、色空間は [sRGB] に固定されます。

画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 ▶ ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して設定する

- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。それぞれの画像効果の「調整できる項目」をお読みください。
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- 画像効果の設定を行うと、画面に[>]が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心(標準)を選んでください。



背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

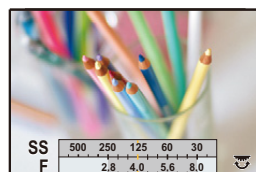
背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して設定する

- ボケ具合の設定画面で[/>] ボタンを押すと、設定が解除されます。



こんなときは使えません

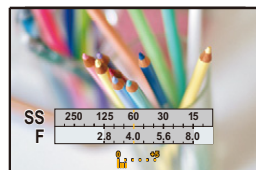
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、ボケ味コントロール機能を使えません。

明るさを設定する

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

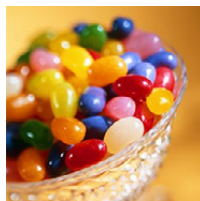
- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して設定する





🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P86



ポップ

色を強調したポップアート風の画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
------	----------	---	--------

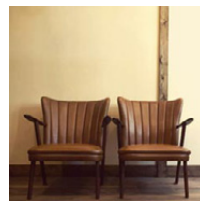


レトロ

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかな画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	黄色っぽい色	↔	赤っぽい色
-----	--------	---	-------



オールドデイズ

光に包まれた柔らかく懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------



ハイキー

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。

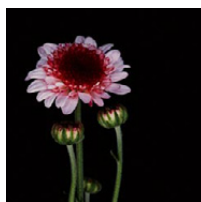
調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	ピンクっぽい色	↔	水色っぽい色
-----	---------	---	--------

● シーンガイドモードの[パノラマで撮る]でこの画像効果を選択した場合、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。



🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P86



ローキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気で、明るい部分を引き立てる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	赤っぽい色	↔	青っぽい色
-----	-------	---	-------



セピア

セピア色の画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------



モノクローム

白黒の画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	黄色っぽい色	↔	青っぽい色
-----	--------	---	-------



ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------



🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P86



ラフモノクローム

粗い粒子感を加えたモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

粒子感	粒子感が弱い	↔	粒子感が強い
-----	--------	---	--------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



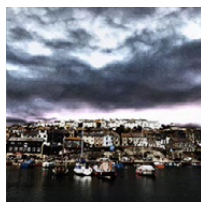
シルキーモノクローム

全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気のものクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

ボケ具合	ボケ具合が小さい	↔	ボケ具合が大きい
------	----------	---	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



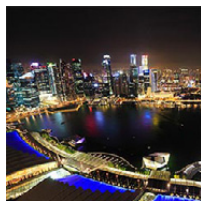
インプレッシブアート

強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

鮮やかさ	白黒	↔	派手な色合い
------	----	---	--------

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]でこの画像効果を選択した場合、写真のつながり目が目立つことがあります。



ハイダイナミック

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

鮮やかさ	白黒	↔	派手な色合い
------	----	---	--------



🔍 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P86



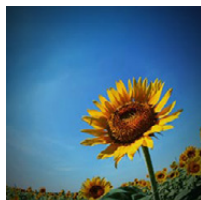
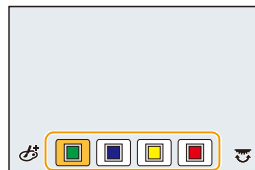
クロスプロセス

意外な発色で、独特の雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色
-----	--------------------------------

- 後ダイヤルを回して発色させる色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。



トイフォト

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	オレンジっぽい色 ↔ 青っぽい色
-----	------------------

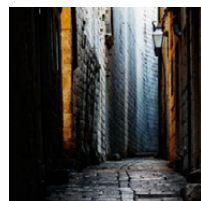


トイポップ

明るく鮮やかにトイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

周辺光量が落ちる範囲	小さい ↔ 大きい
------------	-----------



ブリーチバイパス

高コントラストで彩度を低くした、映画で使われるような渋い雰囲気の画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

コントラスト	明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
--------	-------------------



🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P86



ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
------	----------	---	--------

■ ぼかし方を設定する

[ジオラマ]では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き(ぼかす向き)やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

1 [Fn1] ボタンを押して設定画面を表示する

2 ▲/▼ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでぼかさない部分を移動する

3 後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- [DISP.] ボタンを押すと、ぼかさない部分の設定は、初期設定に戻ります。

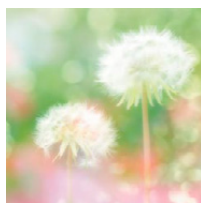
4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります) 表示される記録可能時間は約 10 倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- フォกัสモードが [MF] の場合、ピントを合わせた場所にぼかさない部分を移動させてください。



🔍 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P86



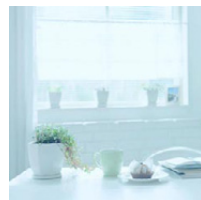
ソフトフォーカス

全体を少しぼかし、柔らかな雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

ボケ具合	ボケ具合が小さい	↔	ボケ具合が大きい
------	----------	---	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されま

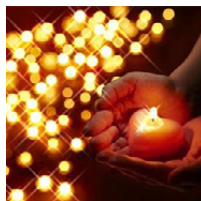


ファンタジー

淡い色調で空想の世界のような雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
------	----------	---	--------



クロスフィルター

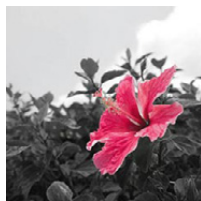
光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

光の輝きの長さ	輝きが短い	↔	輝きが長い
---------	-------	---	-------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されま

🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P86



ワンポイントカラー

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

残す色の量	少し色を残す	↔	多く色を残す
-------	--------	---	--------

■ 残したい色を設定する

画面の位置を選ぶことで、残したい色を選ぶことができます。

- 1 [Fn1] ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ
 - [DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



● 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。



💡 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P86



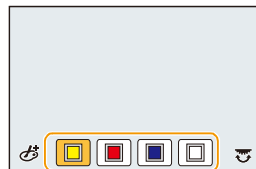
サンシャイン

光が差し込むような雰囲気を作る画像効果です。

調整できる項目 (▶ ボタンを押して設定画面を表示する)

色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色
-----	--------------------------------

- 後ダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。



■ 光源を設定する

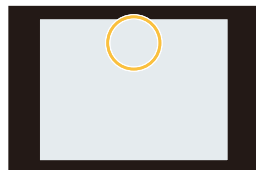
光源の位置と大きさを設定できます。

- 1 [Fn1] ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する
 - 光源の中心は画面の端まで移動できます。



光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。



- 3 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する
 - 4種類の大きさに変更できます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、光源の設定は初期設定に戻ります。
- 4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

撮影モード: 

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [動画露出設定]

3 ▲/▼ ボタンで [P]、[A]、[S]、[M] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルを **P / A / S / M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

●絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

●シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 極端に明るい場所の被写体を撮影したり、蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを1/60または1/100に調整してください。

- [動画露出設定]を[M]に設定時、ISO 感度の[AUTO]は[125]に切り換わります。

スローモーション動画を撮影する(ハイスピード動画)

超高速撮影を行うことにより、スローモーション動画を撮影することができます。再生時には動作などがゆっくり表示されます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン → [動画] → [ハイスピード動画]

3 ▲/▼ ボタンで [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

- 音声は記録されません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大で7分29秒またはファイルサイズ4 GBまでです。(再生時間に換算して29分56秒までの動画を記録できます)
- ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード: **C1** **C2**

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

●お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。(C1、C2-1、C2-2、C2-3)

準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [カスタムセット登録]

2 ▲/▼ ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

C1	モードダイヤルの C1 に登録されます。 ●モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
C2-1	モードダイヤルの C2 に登録されます。 ●3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせて使い分けいただけます。
C2-2	
C2-3	

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

実行後はメニューを終了してください。

●以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

撮影メニュー	セットアップメニュー	カスタムメニュー	再生メニュー
- [個人認証]で登録されたデータ - [プロフィール設定]の設定内容	- すべてのメニュー	- [メニューガイド]	- [縦位置自動回転] - [画像表示順] - [消去確認画面]

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- カスタムセットが呼び出されます。[C2]の場合は、最後に使ったカスタムセット([C2-1]、[C2-2] または [C2-3])が呼び出されます。

■ [C2]のカスタムセットを変更する場合は

- 1 モードダイヤルを[C2]に合わせる
- 2 [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- 3 ◀/▶ ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。



■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1またはC2に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)

使えるモード: P A S M C1 C2

撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。

MENU ボタン → [撮影] → [フォトスタイル]

STD [スタンダード]	標準的な設定
VIVID [ヴィヴィッド] ※ 1	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT [ナチュラル] ※ 1	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO [モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
SCNY [風景] ※ 1	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT [人物] ※ 1	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST [カスタム] ※ 1	あらかじめ登録している設定を使用
CNEO [シネライクO] ※ 1, 2	動画編集時での処理に適した、ダイナミックレンジを優先したガンマカーブ※3 で映画感覚に仕上げる効果
CNEV [シネライクV] ※ 1, 2	コントラストを重視したガンマカーブ※3 で映画感覚に仕上げる効果

※ 1 インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

※ 2 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

※ 3 実際の明るさと記録する明るさを、明るさの段階ごとに調整する場合、2つの明るさの関係性は非線形のカーブを描きます。これをガンマカーブと言います。

- インテリジェントオートプラス()モード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源の入り / 切りの切り換えをした場合は、[スタンダード]にリセットされます。
- シーンガイドモード時は、それぞれのシーンに合ったフォトスタイルに固定されます。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

■ 画質調整する

- インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

- 1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する



● コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
● シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。 解像感が僅かに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
● 彩度※1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
● 色調※1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
● フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	-

※1 [モノクローム]選択時のみ[色調]が表示されます。それ以外では[彩度]が表示されます。

※2 [モノクローム]選択時のみ[フィルター効果]が表示されます。

- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を [カスタム] に登録する

「画質調整する」の手順 2 で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ)

使えるモード: [A] [P] [A] [S] [M] [C1] [C2] [C3] [C4]

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [ハイライトシャドウ]

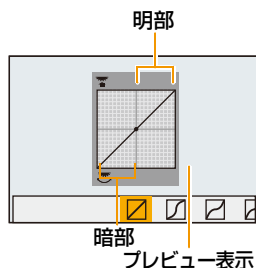
2 ◀/▶ ボタンで設定項目を選ぶ

☐ (スタンダード)	調整なしの状態になります。
☒ (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
☒ (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
☒ (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
☒ / ☒ / ☒ (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

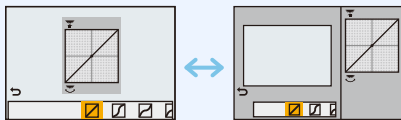
3 後ダイヤルを回して、明部/暗部の明るさの調整をする

- 後ダイヤルを押すごとに、暗部の調整と明部の調整が切り換わります。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム1(☑)/カスタム2(☑)/カスタム3(☑))を選んでください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す



- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



- ☑ / ☑ / ☑ に登録した設定は、電源を切っても記憶しています。
- ☑ / ☑ / ☑ で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

ホワイトバランスを調整する

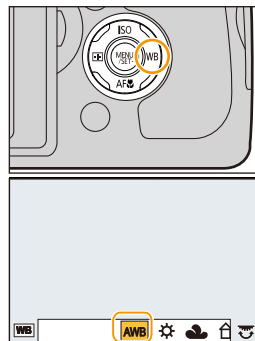
使えるモード:

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場合で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶ (WB) ボタンを押す

2 後ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

3 後ダイヤルを押して決定する



[AWB]	自動調整
[☀]	晴天の屋外での撮影時
[☁]	曇りの屋外での撮影時
[🏠]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[💡]	白熱灯下での撮影時
[WB] ※	フラッシュ光のみでの撮影時
[🔧], [🔧], [🔧], [🔧]	手動で設定した設定値を使用
[🔧]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。

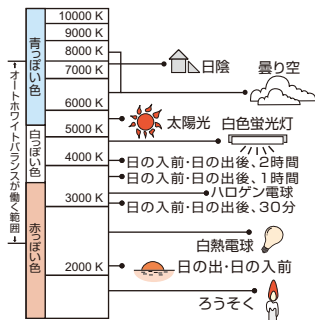


● 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[🔧]、[🔧]、[🔧]、[🔧]をご使用ください。

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P160)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス(ホワイトバランス微調整も含む)は[AWB]に戻ります。
- 以下のシーンガイドモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
 - [逆光でふんわり撮る]/[ほのぼのした雰囲気撮る]/[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティストチックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]

■ オートホワイトバランスについて

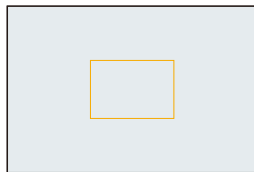
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB] 以外に設定して調整してください。



手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

- 1 ▶(WB) ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して 、、 または を選び、▲ ボタンを押す
- 3 白い紙など白いものだけを枠内に映し、
[MENU/SET] ボタンを押す

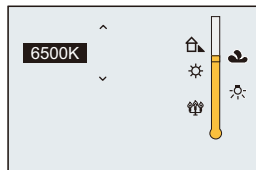


- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。

色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

- 1 ▶ (WB) ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して[]を選び、▲ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [2500K]～[10000K]まで設定できます。



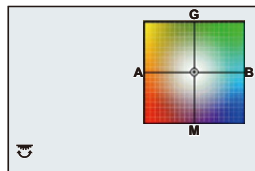
ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- 1 ホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押してホワイトバランスを微調整する

◀: A (アンバー: オレンジ系)	▲: G (グリーン: 緑系)
▶: B (ブルー: 青系)	▼: M (マゼンタ: 赤系)

 - [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す



- ホワイトバランスをA (アンバー) またはB (ブルー) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG (グリーン) またはM (マゼンタ) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+] (グリーン) または[-] (マゼンタ) が表示されます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- [, , ,] で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または[] で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準(中心点)に戻ります。

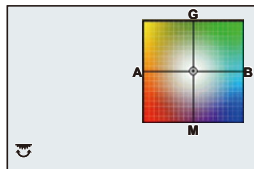
ホワイトバランスブラケット

1 回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランス微調整」の手順2でホワイトバランスを微調整し、後ダイヤルを回してブラケット設定を行う

後ダイヤルを右に回す: 横方向(A ~ B)

後ダイヤルを左に回す: 縦方向(G ~ M)



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに [BKT] が表示されます。
- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットの設定は解除されます。
 - 電源を切る (スリープモードを含む)
- シャッター音は 1 回しか鳴りません。

こんなときは使えません

- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
 - シーンガイドモードの [水面をキラキラ撮る]、[イルミネーションをキラキラ撮る]、[夜景を手持ちで撮る]、[花をふんわり撮る]、[パノラマで撮る]
 - 動画撮影時
 - [クオリティ] を [RAW $\frac{1}{2}$]]、[RAW $\frac{1}{4}$]]、[RAW] に設定時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - インターバル撮影時

画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード：

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。
お買い上げ時は、[3:2] が設定されています。

MENU ボタン → [撮影] → [画像横縦比]

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P296)
- 撮影時でのHDMI出力中は、[16:9]に固定されます。

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時は使えません。

記録画素数を設定する

使えるモード：

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン → [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比：[4:3] のとき

設定	画像サイズ
[L] (17.5M)	4864×3648
[EXM] (9M)	3456×2592
[EXS] (4.5M)	2432×1824

画像横縦比：[3:2] のとき

設定	画像サイズ
[L] (20M)	5472×3648
[EXM] (10M)	3888×2592
[EXS] (5M)	2736×1824

画像横縦比：[16:9] のとき

設定	画像サイズ
[L] (17M)	5472×3080
[EXM] (8M)	3840×2160
[EXS] (2M)	1920×1080

画像横縦比：[1:1] のとき

設定	画像サイズ
[L] (13.5M)	3648×3648
[EXM] (6.5M)	2592×2592
[EXS] (3.5M)	1824×1824

- [連写速度] を [SH] に設定時は、記録画素数は [S] に固定されます。

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時は使えません。

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード:

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像()または()を同時に記録できます。*1
	RAW	RAW 画像のみを記録できます。*2

* 1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

* 2 各画像横縦比の最大記録画素数(L)に固定されます。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

RAW 画像を編集することで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式で保存ができます。JPEG形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。

- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像することができます。(P185)
- パソコンでのRAW ファイルの現像や編集には、DVD(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。



こんなときは使えません

- 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。
 - ー インテリジェントオートモード
 - ー インテリジェントオートプラスモード
 - ー クリエイティブコントロールモード
 - ー ホワイトバランス*3
 - ー 撮影メニューの[フォトスタイル]*3、[ハイライトシャドウ]*3、[iD レンジコントロール]*3、[デジタル赤目補正]*4、[超解像]*3、[色空間]*3
 - ー シーンガイドモード
 - 以下の場合、[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定できません。
 - ー シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]、[パノラマで撮る]
- *3 再生メニューの[RAW 現像]では、撮影時の設定から調整をするので、撮影時の設定で JPEG 形式の写真を書き出すことができます。
- *4 撮影時に[デジタル赤目補正]が働いた場合、再生メニューの[RAW 現像]では、補正が働いた JPEG 形式の写真を書き出します。

画像補正機能を使いこなす

コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール)

使えるモード:          

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

MENU ボタン →  [撮影] → [iD レンジコントロール]

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

- [AUTO]では、撮影状況に合わせて効果の強さを自動的に設定します。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iD レンジコントロール]は働きません。
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時
 - [HDR]を[ON]に設定時

解像感を高める(超解像)

使えるモード:          

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [超解像]

設定: [強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]

- [拡張]は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時は[拡張]は[弱]に変わります。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

露出の異なる写真を合成する(HDR)

使えるモード: **P A S M** **C1 C2**

露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

MENU ボタン → [撮影] → [HDR]

[ON]	HDR 合成した写真を撮影します。	
[OFF]	HDR 合成を行いません。	
[設定]	[Dレンジ設定]	[AUTO]: 被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV]、[±2EV]、[±3EV]: 設定した露出の調整幅で撮影します。
	[自動位置調整]	[ON]: 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF]: 画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

■ HDRとは

High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定時は、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは() (発光禁止)に固定されます。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では動きません。
- 以下の場合、[HDR]は使えません。
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去)

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

MENU ボタン → [撮影] → [長秒ノイズ除去]

設定: [ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のために選択したシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。
- シャッタースピードを遅くして撮影する場合は、三脚の使用をお勧めします。

こんなときは使えません

- 以下の場合、「長秒ノイズ除去」は働きません。
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時
 - 動画撮影時
 - [連写速度] を [SH] に設定時
 - 電子シャッター使用時

色空間を設定する

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [色空間]

[sRGB]	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いので、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、sRGB に設定してください。
- 動画撮影時は、[sRGB] に固定されます。

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

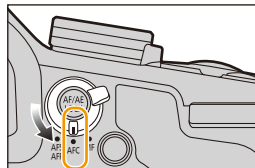
使えるモード:

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1

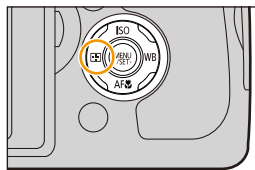
フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる

- フォーカスモードを設定します。(P113)



2

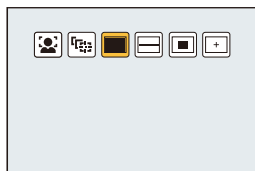
◀() ボタンを押す



3

◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- オートフォーカスモードを設定します。(P114)
- 、、、 を選択時に ▼ ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。AF エリア設定画面での操作については、119 ページをお読みください。



- 以下の場合、オートフォーカスモードは に固定されます。

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]

こんなときは使えません

- 以下の場合、 に設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
- フォーカスモードの[AFF]、[AFC]では に設定できません。

フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード:             

項目	被写体の動き、 撮影シーン(お勤め)	内容
AFS ※	静止している (風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF ※	動きが予測できない (子ども、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている (スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)
MF	手動でピントを合わせます。(P123)	

※ 撮影メニューまたは動画撮影メニューの[AFS/AFF]で、フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てることができます。



[AFF]、[AFC]で撮影する場合は

- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに变えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- [AFF]や[AFC]で明るさが足りないときは[AFS]と同じ動作をします。このとき画面の表示が黄色の[AFS]に変わります。



こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] では、フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせた場合、[AFS] で動作します。

オートフォーカスモードの種類

顔・瞳認識について

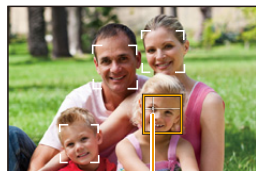
人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]設定時)

●検知できる顔は15個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。

カメラが顔を認識するとAFエリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色: シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色: 複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



ピントを合わせる目

●AFエリアの位置と大きさ、ピントを合わせる目を変えることができます。(P119)

●[選択時、[測光モード]を[☉]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。(P133)

こんなときは使えません

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔・瞳認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[AF-ON]に切り換わります。
 - 顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
 - 顔の陰影が少ない – 動きが速い – 被写体が人物以外である – 手ブレしている

追尾AFについて

指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しするとロックできます。

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色になります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- インテリジェントオート([IA]または[IA+])モードでは、◀ボタンを押すごとに追尾AFと顔認識が切り換わります。

追尾AFエリア



➡ 続く

- [測光モード] を [☉] に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。(P133)
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、[■] の動作になります。

こんなときは使えません

- インターバル撮影時は [] は使えません。
- 以下の場合、[] は [■] の動作になります。
 - シーンガイドモードの [水面をキラキラ撮る] / [イルミネーションをキラキラ撮る] / [花をぶんわり撮る] / [モノクロで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの [セピア] / [モノクローム] / [ダイナミックモノクローム] / [ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン]
 - [フォトスタイル] の [モノクローム]
- 以下の場合、動体追尾機能が働かないことがあります。
 - 被写体が小さすぎる – 撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
 - 被写体の動きが速い – 被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
 - 手ブレしている – ズーム操作時

(49点)について

最大 49 点の AF エリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。

- ピントを合わせるエリアを選択できます。(P119)

など(カスタムマルチ)について

49点のAFエリアから、被写体に合わせてAFエリアを選ぶことで、自由にAFエリアの形状を設定できます。(P117)

(1点)について

中央のAFエリア内にピントを合わせます。

●AFエリアの位置と大きさを変えます。(P119)

● で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。(フォーカスモードを[AFS]に設定したときのみ)

(ピンポイント)について

 より小さな点で繊細なピント合わせができます。

●拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。(P120)

●シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が拡大表示されます。

●拡大表示される時間はカスタムメニューの[ピンポイント AF時間] で設定できます。(P120)

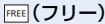
●動画撮影中、 に設定している場合は、 に切り換わります。

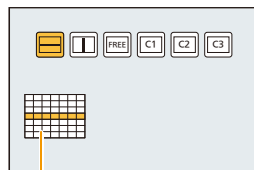
●フォーカスモードの[AFF]、[AFC]では に設定できません。

AFエリアの形状を設定する(カスタムマルチ)

被写体に合わせて、49点のAFエリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。

- 1 ◀([]) ボタンを押す
- 2 カスタムマルチアイコン([] など)を選び、▲ ボタンを押す
 - ▼ ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。
- 3 ◀/▶ ボタンで設定項目を選ぶ
 - 現在のAFエリアの形状が、画面の左下に表示されます。

 (横)	横一列の形状 流し撮りなどの撮影に 便利な形状です。	
 (縦)	縦一列の形状 建築物の撮影などに 便利な形状です。	
 (フリー)	自由な形状	
 (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。	



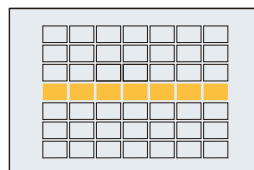
現在のAFエリアの形状

- 4 ▼ ボタンを押す
 - AFエリア設定画面が表示されます。
- 5 AF エリアを選ぶ
 - 選択されているAFエリアは黄色で、選択されていないAFエリアは白色で表示されます。

[]/[] 選択時

[] 選択時は縦方向に、[] 選択時は横方向に、大きさと位置を設定できます。

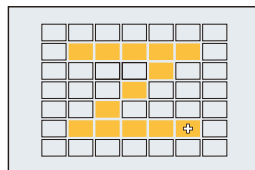
ボタン操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	位置の移動
	大きさの変更(最大3列まで)
[DISP.]	初期設定に戻す



[FREE]/[C1]/[C2]/[C3] 選択時

▲/▼/◀/▶ ボタンで AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- [DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。



6 [Fn3] ボタンを押す

■ 設定した AF エリアを [C1]、[C2]、[C3] (カスタム) に登録する

- 1 117 ページの手順3の画面で、▲ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

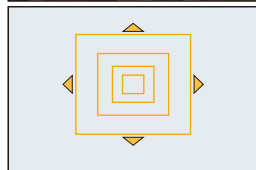
- [C1]/[C2]/[C3] に登録した設定は、電源を切っても記憶しています。
- [Fn3]/[Fn4]/[FREE] で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]を[ON]に設定時、カーソルボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する

[人]、[口] 選択時

AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

- 1 [人] または [口] を選び、▼ ボタンを押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで AF エリアを移動する
 - [DISP.] ボタンを押すと AF エリアは中央に戻ります。
- 3 後ダイヤルを回して AF エリア枠の大きさを変更する
 - [人] 選択時に、黄色の枠内の目に AF エリアを設定すると、ピントを合わせる目が変更されます。
- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

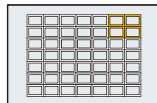
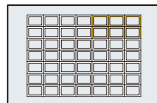
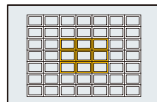


[口] 選択時

AFエリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49点のAFエリアは9点(画面の端では6点または4点)ごとのグループに分けられています。

- 1 [口] を選び、▼ ボタンを押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで AF エリアのグループを選択する
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
 - [+] 表示(選択したグループの中心点)のみが画面に残ります。
 - [MENU/SET] ボタンを押すと AF エリア枠の設定が解除されます。

グループの例



→ 続く

[+] 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。

- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

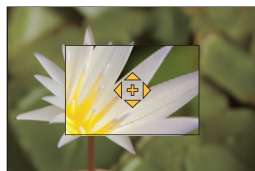
1 [+] を選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す

- ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が拡大表示されます。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [+] を、ピントを合わせる位置に移動する

- [DISP.] ボタンを押すと、ピントを合わせる位置はアシスト画面の中央に戻ります。



■ アシスト画面の表示を変更する

後ダイヤルを押すごとに、拡大表示が画面一部と画面全体に切り換わります。



- 後ダイヤルを回すと、拡大表示が画面一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大 / 縮小できます。後ダイヤルで 1 倍ずつ拡大 / 縮小します。

fc 画面が拡大表示される時間を設定する

MENU ボタン → fc [カスタム] → [ピンポイントAF時間] →

[LONG] (約 1.5 秒) / [MID] (約 1.0 秒) / [SHORT] (約 0.5 秒)

- シャッターボタンを離すと時間内でも拡大表示は消えます。

fc カーソルボタンで AF エリアを移動させる / させない

MENU ボタン → fc [カスタム] → [ダイレクトフォーカス移動] → [ON] / [OFF]

[], [], [] 選択時には AF エリアを、[+] のときは拡大位置を移動することができます。

- [] などの [カスタムマルチ] 選択時は、AF エリア設定画面を表示します。
- ホワイトバランス、ISO 感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー (P33) を使って設定してください。

- [測光モード] (P133) が [] のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。画面の端では、AF エリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモード時は、[ダイレクトフォーカス移動] は [OFF] に固定されます。
- デジタルズーム領域では、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

ピントの合わせ方をお好みに設定する

カスタムメニューを使うことで、ピントの合わせ方を詳細に設定できます。



シャッターボタン半押し時にピントを合わせる/合わせない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [シャッター半押し AF] → [ON] / [OFF]



シャッターボタン半押しでシャッターを切る/切らない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [シャッター半押しリリース] → [ON] / [OFF]



撮影時のコツやテクニック 「AF/AE LOCK ボタンでピントを合わせる」

シャッターボタンの代わりに AF/AE LOCK ボタンでピントを合わせることができます。

① カスタムメニューを設定する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [シャッター半押し AF] → [OFF]

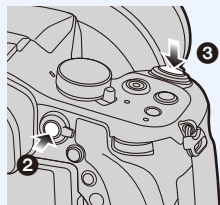
MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [AF/AE ロック切換] → [AF-ON]

② AF/AE LOCK ボタンを押す

- ピントを合わせます。

③ シャッターボタンを押して撮影する

- 露出を合わせて、写真を撮影します。



事前にピントを合わせる/合わせない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [クイック AF] → [ON] / [OFF]

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを見逃したくないときなどに有効です。

- バッテリーの消耗が早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 以下の場合、[クイック AF]は働きません。

－プレビューモード時

－低照度時

➡ 続く



AF補助光ランプを光らせる/光らせない

MENU ボタン→[カスタム]→[AF補助光]→[ON]/[OFF]

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAF エリアが表示されます)

- 補助光の有効距離は、約 1.5 m です。
- AF補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。
- レンズフードは外してください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 以下の場合では、[OFF]に固定されます。
 - シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時

ピントが合わなくても撮影する/しない

MENU ボタン→[カスタム]→[フォーカス/リリース優先]

[フォーカス]:ピントが合うまで撮影できません。

[リリース]:シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると撮影されます。

- [リリース]に設定すると、フォーカスモードを[AFS]、[AFF]または[AFC]に設定していても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影時は働きません。

AF後に手でピントを調整する/しない

MENU ボタン→[カスタム]→[AF+MF]→[ON]/[OFF]

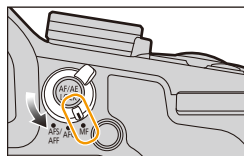
AFロックしている間(フォーカスモードが[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AE LOCK]ボタンでのAFロック)に手でピントを微調整することができます。

手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

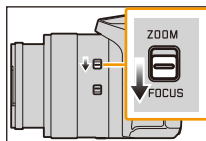
使えるモード:

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる



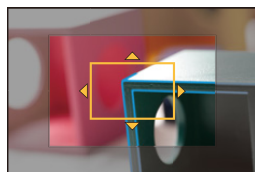
2 マニュアルリング切換スイッチを [FOCUS] に合わせる



3 ◀([MF]) ボタンを押す

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大表示する部分を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

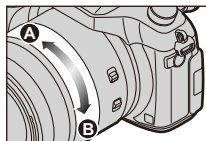
- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MF アシスト) (P124)
- [DISP.] ボタンを押すと拡大表示する部分は中央に戻ります。



5 マニュアルリングを操作して、ピントを合わせる

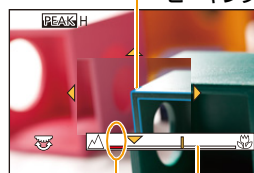
- **A 側に回す**: 近くにピントを合わせる
- **B 側に回す**: 遠くにピントを合わせる

- マニュアルリングを操作するときに O.I.S. スイッチやマニュアルリング切換スイッチを誤って切り換えないようお気をつけください。



- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング) (P125)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド) (P125)

MF アシスト(拡大画面) ピーキング



∞(無限)を示す目安 MFガイド

➡ 続く



撮影時のコツやテクニック 「マニュアルフォーカスの活用シーン」

マクロ撮影時など繊細なピント合わせをするときや、ピント合わせの位置を事前に決めておくときなどにマニュアルフォーカスを使うと便利です。

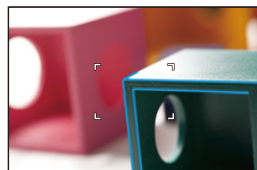


オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

MENU ボタン → **f** [カスタム] → [AF/AE ロック切換] → [AF-ON]

マニュアルフォーカス時に[AF/AE LOCK]ボタンを押すとオートフォーカスが働きます。

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- MFアシスト画面でオートフォーカスを動かせると、MFアシスト画面の中央でピントを合わせます。



MFアシストの表示方法を設定する

MENU ボタン → **f** [カスタム] → [MFアシスト]

[MF]	マニュアルリングを回す、または ◀ (MF) ボタンを押して拡大。
[MF] _{FOCUS}	マニュアルリングを回して拡大。
[MF]	◀ (MF) ボタンを押して拡大。
[OFF]	マニュアルリングまたは ◀ (MF) ボタンでは拡大表示しません。

[→ 続く](#)

ピントが合っている部分に色を付けて表示する/しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [ピーキング]

- マニュアルフォーカス時や [AF+MF] で手動でピント合わせをしているときに働きます。

[ON]	ピントが合っている部分に色をつけて表示します。	
[OFF]	ピントが合っている部分を表示しません。	
[設定]	[検出レベル]	ピントが合っている部分の検出レベルを設定します。 [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より 厳密なピント合わせができます。 [高]/[低] ● ピントが合う範囲は検出レベルの設定では変わりません。
	[表示色]	ピーキング表示の色を設定します。 ● [検出レベル] が [高] のとき:  (水色) /  (黄色) /  (緑) ● [検出レベル] が [低] のとき:  (青) /  (オレンジ) /  (白) ● [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切 り換わります。 -  (水色) ↔  (青) -  (黄色) ↔  (オレンジ) -  (緑) ↔  (白)

- ピーキングを設定すると、画面に **[PEAK H]** (検出レベル: 高) または **[PEAK L]** (検出レベル: 低) が表示されます。
- カスタムメニューの [Fn ボタン設定] (P35) に [ピーキング] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ON] (検出レベル: 低) → [ON] (検出レベル: 高) → [OFF] の順に切り換わります。
- 画面上で輪郭がはっきりした部分をピントが合っている部分として色を付けて表示するため、撮影条件により表示のされかたが異なります。
- 表示される色は撮影画像に影響はありません。
- クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム] ではピーキングは動きません。

MFガイドを表示する/しない

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [MFガイド] → [ON]/[OFF]

MFアシストについて

■ MF アシストを表示する

- マニュアルリングを回すと表示されます。
- ◀ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて[MENU/SET]ボタンを押しても表示できます。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]が[ON]のときは、カーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面になります。

■ MF アシストの表示を変更する

後ダイヤルを押すごとに、拡大表示が画面一部と画面全体に切り換わります。



- 後ダイヤルを回すと、拡大表示が画面一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大 / 縮小できます。後ダイヤルで1倍ずつ拡大 / 縮小します。

■ 拡大位置を移動する

- カーソルボタンを押すと移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
 - 拡大位置の設定画面で[DISP.]ボタンを押したとき

■ MF アシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET]ボタンを押しても終了します。
- マニュアルリングを回して表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

🚫 こんなときは使えません

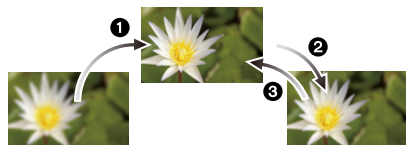
- デジタルズーム領域または動画撮影中はMFアシストは表示されません。

➡ 続く



マニュアルフォーカスのテクニック

- ① マニュアルリングを回して、ピントを合わせる
- ② さらに同じ方向に少し回す
- ③ マニュアルリングを反対方向に少し回しながら微調整する



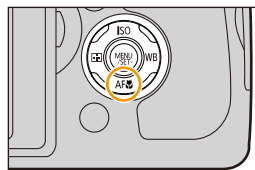
- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- 近距離を撮影する場合は…
 - 三脚を使用し、セルフタイマー(P140)を使って撮影することをお勧めします。
 - ピントの合っている範囲(被写界深度)が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
 - 画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。

近づいて撮る(マクロ撮影)

使えるモード： **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1 ▼(AF) ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンでモードを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

[AF] (AFマクロ)	ズームをもっとも広角(W端)にすると、レンズから3 cmまで接近して撮影できます。
[] (ズームマクロ)	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(3 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。 ● 通常撮影時よりも画質が劣化します。 ● ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。
[OFF]	—

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[]にする(フラッシュを閉じる)ことをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体に近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい、被写体にピントが合わない場合がありますので、お気をつけください。

こんなときは使えません

- フォーカスモードが [MF] の場合、[AF マクロ] に設定できません。
- 以下の場合、[ズームマクロ] に設定できません。
 - シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]、[パノラマで撮る]
 - クリエイティブ動画モードの [ハイスピード動画]
 - クリエイティブコントロールモードの [インプレッシブアート]、[トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]
 - 撮影メニューの [連写速度] を [SH] に設定したとき
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - [クオリティ] を [RAW]、[RAW]、[RAW] に設定時

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード： **P A S M**  **C1 C2**  **SCN** 

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 被写体に画面を合わせる

2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK] 設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示



[AF/AE LOCK] ボタンの機能を設定する

MENU ボタン → **fc** [カスタム] → [AF/AEロック切換]

[AE LOCK]	露出だけを固定します。 ● 露出が合うと、[AEL] および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 ● ピントが合うと、[AFL] およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF-ON]	オートフォーカスが作動します。

[AF/AE LOCK] ボタンを離してもロックを維持する/しない

MENU ボタン → **fc** [カスタム] → [AF/AEロック維持] → [ON] / [OFF]

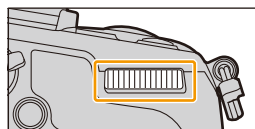
- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- 動画撮影中はAFロックのみ有効です。撮影中にAFロックを解除すると、新たにロック操作はできません。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出を補正して撮る

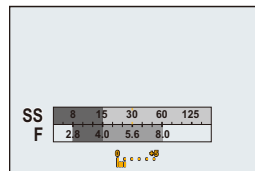
使えるモード:  **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2**  

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える



2 後ダイヤルを回して露出を補正する



露出アンダー



露出をプラス方向に補正してください。

適正露出



露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー



- 露出補正值は -5 EV $\sim +5$ EV の範囲で設定可能です。
動画撮影時は -3 EV $\sim +3$ EV の範囲で設定可能です。
- 露出を補正しない場合は、“0”を選んでください。

3 後ダイヤルを押して決定する

- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定時は、露出補正量に応じて内蔵フラッシュの発光量も自動的に調整されます。(P165)
- 露出量が -3 EV から $+3$ EV の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。撮影画像の実際の明るさは、オートレビューや再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- 設定した露出補正量は、電源を切っても記憶しています。([露出補正リセット](P42)を[OFF]に設定時)

ISO感度を設定する

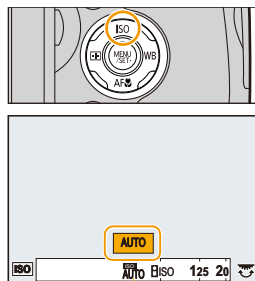
使えるモード:

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▲(ISO) ボタンを押す

2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ

3 後ダイヤルを押して決定する



AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ●最大[3200] ※1
ISO (インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。 ●最大[3200] ※1 ●シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
80 ※2/100 ※2/125/200/400/800/1600/3200/6400/12800/25600 ※2	それぞれのISO感度に固定します。 ●撮影メニューの[ISO感度ステップ](P132)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します。

※1 撮影メニューの[ISO感度上限設定](P132)を[OFF]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

※2 [拡張ISO感度]を設定時のみ

ISO感度の性質

	125	12800
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、160ページをお読みください。
- シャッター優先AEモードとマニュアル露出モードでは、 ISOは使えません。
- [多重露出]設定時は、[3200]までの設定になります。
- [ダイレクトフォーカス移動](P120)が[ON]に設定されているときは、カーソルボタンでの操作がAFエリアの移動に変わりますので、クイックメニュー(P33)を使って設定してください。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
[AUTO]、[125]～[6400]

ISO感度の上限を設定する

使えるモード: **P A S M** **C1 C2 SCN**

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [ISO 感度上限設定]

設定: [200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[OFF]

- ISO 感度が [AUTO] または [ISO] 時に働きます。

こんなときは使えません

- 以下の場合は、働きません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - 動画撮影時

ISO感度のステップ幅を設定する

使えるモード: **P A S M** **C1 C2 SCN**

ISO 感度の設定を、1/3 EV ごとの設定値に変更します。

MENU ボタン → [撮影] → [ISO 感度ステップ]

[1/3 EV]	[L.80]※、[L.100]※、[125]、[160]、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[4000]、[5000]、[6400]、[8000]、[10000]、[12800]、[H.16000]※、[H.20000]※、[H.25600]※
[1 EV]	[L.80]※、[L.100]※、[125]、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[H.25600]※

※ [拡張ISO感度]を設定時のみ

- [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO 感度は[1/3 EV] 時に選んでいた設定値に最も近い値になります。

ISO 感度を拡張する

使えるモード: **P A S M** **C1 C2 SCN**

設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。

MENU ボタン → [撮影] → [拡張 ISO 感度]

設定: [ON]、[OFF]

明るさの測り方を選ぶ(測光モード)

使えるモード:

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン → [撮影] → [測光モード]

[☉](マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[☐](中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[□](スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。  スポット測光ターゲット

- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

シャッター方式を設定する

使えるモード:

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○	×
シャッター スピード	60秒～1/4000秒	1秒～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音 ^{※1} +電子シャッター音 ^{※2}	電子シャッター音 ^{※2}

※1 メカシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

※2 [シャッター音音量] で、電子シャッター音の設定ができます。(P38)

メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[シャッター方式]

[AUTO]	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 ●フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
[メカシャッター]	メカシャッター方式のみで撮影します。
[電子シャッター]	電子シャッター方式のみで撮影します。

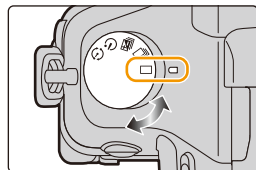
- 画面に[]が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- [連写速度]を[SH]に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- [サイレントモード]を[ON]に設定時は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P70)
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

ドライブモードを選ぶ

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2**  

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
 連写 (P136)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
 オートブラケット (P138)	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
 セルフタイマー (P140)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
 インターバル/コマ撮り撮影 (P141、144)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時は使えません。

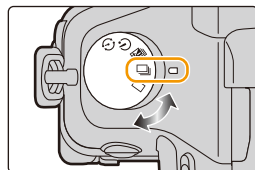
連写する

使えるモード：

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を[SH]で撮影した画像は、ひとつの連写グループ(P179)として記録されます。

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる



2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写速度を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [連写速度]

2 ▲/▼ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[SH](超高速) ^{※1}	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	AFS	50 コマ/秒	12 コマ/秒	7 コマ/秒	2 コマ/秒
	AFF/AFC	—	7 コマ/秒	7 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写コマ数	RAWファイルあり	—	10 コマ ^{※2,3}	10 コマ ^{※2,3}	10 コマ ^{※2,3}
	RAWファイルなし	最大 60 コマ	カードの空き容量に依存 ^{※3}		

※1 電子シャッターが働きます。

※2 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※3 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
 - [記録画素数](P107)/[クオリティ](P108)/ISO感度(P131)/フォーカスモード(P113)/[フォーカス/リリース優先](P122)
- RAWファイルについては、108ページをお読みください。

 続く



連写とピントについて

ピント合わせは、フォーカスモード (P113) とカスタムメニューの [フォーカス/リリース優先] (P122) の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 コマ目
	リリース	
AFF/AFC ※1	フォーカス	常時ピント ※2
	リリース	予測ピント ※3
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を [SH] に設定時は、ピントは 1 コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

- [H] 設定時、連写枚数が多くなると途中で連写速度が低下することがあります。
- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン (別売: DMW-RSL1) の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、263 ページをお読みください。
- [SH] または [H] (フォーカスモードが [AFS] または [MF] の場合) 設定時、1 コマ目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[H] (フォーカスモードが [AFF] または [AFC] の場合)、[M] または [L] 設定時、1 コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度 (コマ/秒) が遅くなることがあります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。



こんなときは使えません

- 以下の場合、連写は無効になります。
 - シーンガイドモードの [水面をキラキラ撮る] / [イルミネーションをキラキラ撮る] / [夜景を手持ちで撮る] / [花をふんわり撮る] / [パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ジオラマ] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン]
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - 動画撮影時
 - フラッシュ撮影時
 - [i 手持ち夜景] 撮影時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
- 以下の場合、連写の [SH] は使えません。
 - [クオリティ] を [RAW]、[RAW] または [RAW] に設定時

露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード:

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

補正幅: [3・1 / 3]、ブラケット順序: [0 / - / +] 設定時の例

1 枚目



± 0 EV

2 枚目



- 1/3 EV

3 枚目

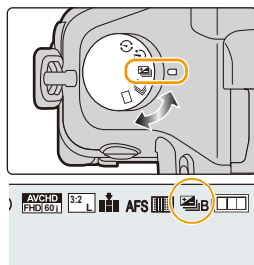


+ 1/3 EV

1 ドライブモードダイヤルを に合わせる

2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源を切った場合は、1 枚目からの撮影になります。



■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[オートブラケット]

2 ▲/▼ ボタンで [単写/連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

単写/連写設定	☐ (単写)
	☐ (連写)

補正幅	3・1/3 (3枚撮影)
	3・2/3 (3枚撮影)
	3・1 (3枚撮影)
	5・1/3 (5枚撮影)
	5・2/3 (5枚撮影)
	5・1 (5枚撮影)
	7・1/3 (7枚撮影)
	7・2/3 (7枚撮影)
	7・1 (7枚撮影)

ブラケット順序	0/-/+
	-/0/+

- [□]設定時は、1枚ずつ撮影できます。
- [連]設定時は、設定枚数まで連続撮影できます。
- 設定後はメニューを終了してください。

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

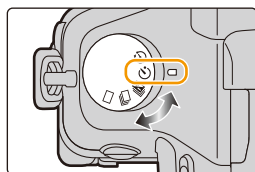
🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、オートブラケットは無効になります。
 - －シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - －クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - －ホワイトバランスブラケット設定時
 - －動画撮影時
 - －フラッシュ撮影時
 - －[i 手持ち夜景] 撮影時
 - －[HDR]を[ON]に設定時
 - －[多重露出]設定時

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード:

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる

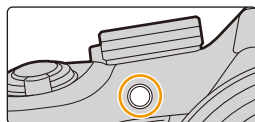


2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



■ セルフタイマーの時間を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [セルフタイマー]

2 ▲/▼ ボタンでモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。



- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

- 設定時、フラッシュ発光量は一定にならないことがあります。



こんなときは使えません

- 以下の場合、に設定できません。
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - [多重露出] 設定時
- 以下の場合、セルフタイマーは無効になります。
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時
 - 動画撮影時

一定の間隔で自動的に撮影する(インターバル撮影)

使えるモード:

撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影し、動画を作成することができます。

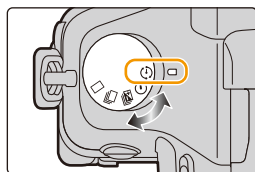
- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P29)
- インターバル撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P179)

1 ドライブモードダイヤルを [()] に合わせる

- 前回ドライブモードの [()] で撮影した時と同じ設定で撮影する場合は、そのまま撮影をしてください。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影メニューで [インターバル/コマ撮り撮影] が選ばれている画面が表示されます。(表示されるのは、ドライブモードダイヤルを切り換えたあとなどの1回目だけになります。それ以外は、通常の動作となりメニュー画面が表示されます)



3 [MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [撮影方法] を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンで [インターバル撮影] を選び、

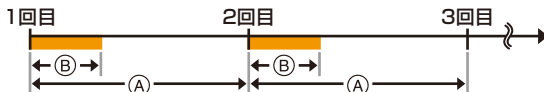
[MENU/SET] ボタンを押す

6 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	撮影を開始する時刻を設定できます。最大23時間59分後まで設定可能です。 ◀/▶ ボタンで項目(時・分)を選び、▲/▼ ボタンで開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。 ◀/▶: 項目(分・秒・枚)選択 ▲/▼: 設定 [MENU/SET]: 決定	
	●撮影間隔は 1 秒～ 99 分 59 秒を 1 秒間隔で設定できます。 ●撮影枚数は 1 枚～ 9999 枚で設定できます。	

- 撮影間隔(A)は、露光時間(シャッタースピード)@よりも長くなるように設定してください。(下図)夜間の撮影など、撮影間隔(A)が露光時間(シャッタースピード)@より短くなる場合は、撮影をスキップすることがあります。



続く

7 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。表示されるまで[/📷]ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。



8 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないでくと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 電源が入った状態で [Fn2] ボタンを押すと、一時停止または終了の選択画面になります。画面に従って操作してください。また、一時停止中に [Fn2] ボタンを押すと、再開または終了の選択画面になります。一時停止状態からの再開は、シャッターボタンの全押しでも行えます。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。

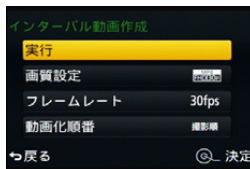
9 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。 [4K/30p]、[FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p]
フレームレート	1 秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。 [60fps]※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ※ [FHD/60p] 設定時のみ
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

10 ▲/▼ ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 再生メニューの[インターバル動画作成]からも動画化できます。(P192)



■ インターバル撮影の設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

→ 続く

- システム用途(監視カメラ)の機能ではありません。
- 本機を放置してインターバル撮影を行う際は、盗難にお気をつけください。
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地や低温下または高温・多湿な環境での長時間撮影は、故障の原因になることがありますのでお気をつけください。
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。
- 長時間露光時など、撮影時間が撮影間隔より長い場合、撮影をスキップすることがあります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)、DCカプラー(別売:DMW-DCC8)の使用をお勧めします。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源を入れて再開することができます。なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源を切って行ってください。
 - ー バッテリー残量がなくなったとき
 - ー 電源を切ったとき
- インターバル撮影時はAVケーブル(別売)、HDMIマイクロケーブル、USB接続ケーブル(付属)を接続しないでください。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
- 2秒より短い動画は、動画記録時間(P58)に“2s”と表示されます。
- 撮影された枚数が1枚の場合は、グループ画像として記録されません。



こんなときは使えません

- 以下の場合、[インターバル撮影]は使えません。
 - ー シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]、[パノラマで撮る]に設定時
 - ー [多重露出]設定時

ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)

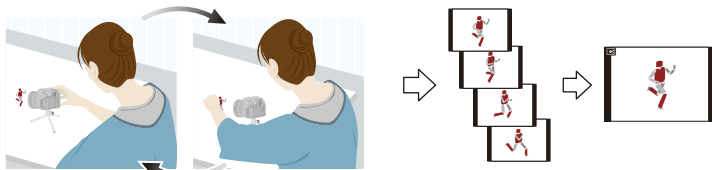
使えるモード：

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P29)
- コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P179)

コマ撮りアニメを作成する前に

コマ撮りアニメでは、人形などを少しずつ動かすごとに撮影し、つなぎ合わせることでまるで動いているかのような動画が作れます。



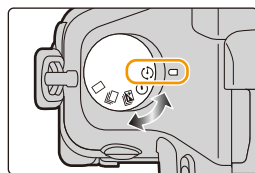
- 本機では、動画1秒あたり1コマ～60コマの写真を撮影する必要があります。
- 滑らかな動きにするには、できるだけ動きを細かく撮り、動画化の際に1秒あたりのコマ数(フレームレート)を大きく設定してください。

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる

- 前回ドライブモードの[]で撮影した時と同じ設定で撮影する場合は、そのまま撮影をしてください。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影メニューで[インターバル/コマ撮り撮影]が選ばれている画面が表示されます。(表示されるのは、ドライブモードダイヤルを切り換えたあとなどの1回目だけになります。それ以外は、通常の動作となりメニュー画面が表示されます)



3 [MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで[撮影方法]を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンで[コマ撮りアニメ]を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す



続く

6 ▲/▼ ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。
	OFF	1コマずつ手で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影] を [ON] に設定時のみ) 自動撮影の間隔を設定します。1 秒から 60 秒までを 1 秒間隔で設定できます。 ◀/▶ ボタンで撮影間隔(秒)を選び、▲/▼ ボタンで設定し、 [MENU/SET] ボタンを押す	

7 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。表示されるまで[⏏/⏏]ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。



8 シャッターボタンを全押しする

- 最大 9999 コマまで撮影できます。

9 被写体を動かし、構図を決める

- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。



素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- [▶] ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は[⏏/⏏]ボタンを押して消去することができます。もう一度[▶] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

10 撮影を終了するには、[MENU/SET] ボタンを押したあと、

撮影メニューから[インターバル/コマ撮り撮影]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと終了します。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。

➡ 続く

11 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。 [4K/30p]、[FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p]
フレームレート	1 秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。 [60fps] ※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1 fps] ※ [FHD/60p] 設定時のみ
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

12 ▲/▼ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 再生メニューの[コマ撮りアニメ作成]からも動画化できます。(P192)



■ コマ撮りアニメの設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順6で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[MENU/SET] ボタンを押し、確認画面で[はい]を選んでください。

- フラッシュ撮影したときなど、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- 元の画像より記録画素数が大きな画質を選択した場合、動画の画像が粗くなります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10)、DCカプラー(別売: DMW-DCC8)の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
- 2秒より短い動画は、動画記録時間(P58)に“2s”と表示されます。
- 1枚だけ撮影された場合は、グループ画像として記録されません。1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]は使えません。
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時
 - [多重露出]設定時
- 以下の場合、[自動撮影]は使えません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]に設定時

1枚の写真に複数回の露出をする(多重露出)

使えるモード: P A S M C1 C2

1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [多重露出]

2 ▲/▼ ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 構図を決めて1枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が可能です。
 - [次の撮影]: 次の撮影に進む
 - [撮り直し]: 1枚目の撮影に戻る
 - [完了]: 1枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する

4 2枚目、3枚目、4枚目を撮影する

- 撮影時に[Fn1] ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。

5 ▼ ボタンで[完了]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ 自動ゲイン補正設定について

手順2の画面で[自動ゲイン補正]を選んで設定してください。

- [ON]: 撮影枚数に応じて明るさのレベルを調整して重ね合わせます。
- [OFF]: すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。

■ カード内のRAW画像に重ね合わせる

手順2の画面で[再生画像と多重]を[ON]に設定してください。[開始]後に、カード内の画像が表示されます。RAW画像を選んで[MENU/SET] ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 本機で撮影されたRAW画像にのみ[再生画像と多重]を行えます。

- 完了するまで画像は記録されません。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中は、メニュー画面にグレーで表示される項目は設定できません。



こんなときは使えません

- 以下の場合、[多重露出]は使えません。
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時

操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)

使えるモード:

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

メニューを設定する

MENU ボタン → *f*c[カスタム] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [フラッシュモード]: (発光禁止)
 - [AF 補助光]: [OFF]
 - [電子音音量]: (OFF)
 - [シャッター音音量]: (OFF)
- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。
 - 電源表示ランプ
 - セルフタイマーランプ
 - Wi-Fi 接続ランプ
- レンズの絞りの音などの本機の動作音は消音されません。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

顔を登録してきれいに撮影する(個人認証)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [個人認証]

設定: [ON]、[OFF]、[登録]

お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

- 個人認証機能では、以下の機能も働きます。

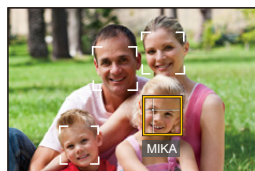
撮影時

- カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
(名前を設定している場合)

再生時

- 名前や月齢/年齢の表示(情報を登録している場合)
- 登録人物から選んだ人物の画像のみを再生([カテゴリー再生](P183))

※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。



- [個人認証]は、オートフォーカスモードを[]に設定しているときのみ有効です。
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔・瞳認識よりも時間がかかります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- 個人認証情報を変更した場合(P151)でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え](P200)を行ってください。



こんなときは使えません

- 以下の場合では、[個人認証]を設定できません。
 - オートフォーカスモードの[]に設定できない撮影モード(P112)
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
 - 動画撮影時
 - インターバル撮影時

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)



■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P151)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

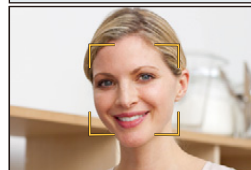
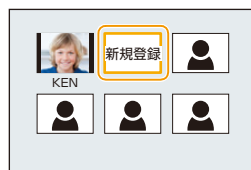
1 ▲/▼ ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで未登録の顔画像枠を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

- すでに6人登録されているときは、[新規登録]が表示されません。
- 追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。

3 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- ▶ ボタンを押すと、顔登録撮影の説明が表示されます。



➡ 続く

4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 顔画像は3枚まで登録できます。

名前	名前を設定します。 ① ▼ ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ② 名前を入力する ● 文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。
月齢/年齢	誕生日を設定します。 ① ▼ ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ② ◀/▶ ボタンで項目(年・月・日)を選んで▲/▼ ボタンで設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
追加登録	追加登録 顔画像を追加登録します。 ① 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ② 「顔画像を登録する」の手順3を行う
	解除 顔画像を1枚消去します。 ◀/▶ ボタンで解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ● 画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。 ● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

- ▼ ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 「顔画像を登録する」の手順4を行う
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ▲/▼/◀/▶ ボタンで登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。 ● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する

使えるモード：         

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み] (P189) で撮影画像に焼き込むことができます。

■ 名前、月齢/年齢を設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [プロフィール設定]

設定：[¹(赤ちゃん1)], [²(赤ちゃん2)], [ (ペット)], [OFF], [設定]

2 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [月齢/年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[月齢/年齢] (誕生日) を入力する

◀/▶：項目(年・月・日)選択

▲/▼：設定

[MENU/SET]：決定

[名前] を入力する

文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。

6 ▼ ボタンで [終了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する



■ 月齢/年齢や名前の表示を解除するには

手順 1 で [OFF] を設定してください。

- DVD (付属) のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。



こんなときは使えません

- 動画撮影中に記録した写真() (動画優先) (P174) には、月齢/年齢や名前は記録されません。

撮影に適した画面表示にする

画面の中心を表示する(センターマーカ表示)

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

撮影画面の中心を示す[+]を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するときに便利な表示です。

MENU ボタン → **Fn** [カスタム] → [センターマーカ表示]
設定: [ON]、[OFF]



白飛びのおそれがある部分を確認する(ゼブラパターン表示)

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

一定の輝度よりも明るい、白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。縞模様で表示する輝度(明るさ)を設定することもできます。

MENU ボタン → **Fn** [カスタム] → [ゼブラパターン表示]

ゼブラ1	右側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
ゼブラ2	左側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
OFF	—	
設定	それぞれの模様での縞模様で表示する明るさを設定します。 [ゼブラ1]/[ゼブラ2] ▲/▼ ボタンで明るさを選び、[MENU/SET] ボタンを押す ● 選べる明るさの範囲は[50 %]から[105 %]までです。[ゼブラ2]では、[OFF]に設定することができます。[100 %]または[105 %]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広がります。	

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム(P54)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P130)撮影することをお勧めします。
- 表示される縞模様は記録されません。
- カスタムメニューの[Fnボタン設定](P35)に[ゼブラパターン表示]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに[ゼブラ1]→[ゼブラ2]→[OFF]の順に切り換わります。[ゼブラ2]を[OFF]に設定時は、[ゼブラ1]→[OFF]の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

撮影画面を白黒表示にする(モノクロライブビュー)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2**  

撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。

MENU ボタン → **fC**[カスタム] → [モノクロライブビュー]

設定: [ON]、[OFF]

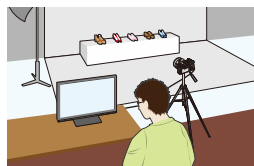
- 撮影画像に影響はありません。

カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI出力時は、テレビなどでモニターしながら写真を撮影することができます。

HDMI マイクロケーブルでテレビと接続する方法については、[248](#) ページをお読みください。

- 動画撮影中はテレビに出力されません。



■ 情報表示の有無を切り換える

セットアップメニューの[テレビ接続設定]の[HDMI情報表示(撮影時)]([P41](#))で、HDMI出力時の表示を変更できます。

[ON]: カメラの表示をそのまま出力する。

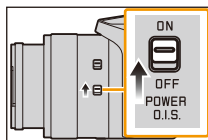
[OFF]: 映像のみを出力する。

- オートフォーカスモードの[+]とMFアシストでの、画面の一部での拡大表示はできません。
- 撮影メニューの[画像横縦比]は、[16:9]に固定されます。
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- HDMI出力時にWi-Fi接続した場合は、カメラのモニターに映像は表示されません。
- シーンガイドモードのシーンを選ぶ画面はHDMI出力されません。
- パノラマ撮影時に映像はHDMI出力されません。

手ブレを補正する

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

O.I.S. スイッチを確実に [ON] に合わせる



■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [手ブレ補正]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
(流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法）するときに適しています。



手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示 [] が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー (P140) などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
 - スローシンクロ
 - 赤目軽減スローシンクロ
 - シーンガイドモードの [夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
 - シャッタースピードを遅くしたとき

→ 続く

- 三脚を使用するときは、O.I.S. スイッチを [OFF] にすることをお勧めします。
- []での流し撮りは、ファインダー撮影をお勧めします。
- 動画撮影時は5軸手ブレ補正機能が自動的に働きます。ズームしたり、歩きながら撮影するときなど、さまざまな揺れに対してブレにくくします。
 - 写る範囲が狭くなる場合があります。
 - [画質設定]が[VGA/4M/30p]の動画を撮影する場合、他の画質設定と比べて手ブレ補正機能が効きにくくなることがあります。
- O.I.S. スイッチを切り換えると、動画撮影で記録される画角が変化します。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
 - 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
 - デジタルズーム領域
 - 動きのある被写体を追いつながら撮影するとき
 - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[]での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - 夏の日中など、明るいところ
 - シャッタースピードが1/100より速い場合
 - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合(背景が流れません)
 - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

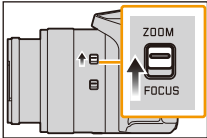
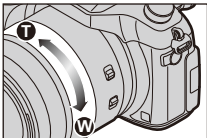
こんなときは使えません

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]では[](通常)での手ブレ補正は使えません。
- [ハイスピード動画]では手ブレ補正は使えません。
- [画質設定]が[4K/100M/30p]の動画撮影時は、5軸手ブレ補正機能は使えません。

ズームを使って撮る

使えるモード:

風景などを広く(広角:W 側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T 側)撮ることができます。

マニュアルリングの場合	ズームレバーの場合
① マニュアルリング切換スイッチを [ZOOM] に合わせる  ② マニュアルリングを回す  マニュアルリングを操作するときにO.I.S.スイッチやマニュアルリング切換スイッチを誤って切り換ええないようお気をつけください。	ズームレバーを回す  回す角度が小さいときはズーム速度は遅くなり、大きいときは速くなります。
T 側: 望遠、大きく撮る W 側: 広角、広く撮る	T 側: 望遠、大きく撮る W 側: 広角、広く撮る

- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みます。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。

光学ズーム

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率: 16 倍



こんなときは使えません

- 以下の場合は使えません。
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
 - ズームマクロ撮影時

EX 光学ズーム

EX付きの記録画素数(P107)を選ぶと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。

最大倍率: 32 倍 (光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります。)

 こんなときは使えません

- 以下の場合は使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの [トイフォト]、[トイポップ]
 - シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]、[パノラマで撮る]
 - 撮影メニューの [連写速度] を [SH] に設定したとき
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - [i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - [iHDR] を [ON] に設定時
 - [クオリティ] を [RAW $\frac{1}{2}$], [RAW $\frac{1}{4}$], [RAW] に設定時
 - ズームマクロ撮影時
 - 動画撮影時

iA ズーム

使えるモード:   P A S M  C1 C2  

画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の 2 倍までズーム倍率を上げることができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iA ズーム] → [ON]/[OFF]

MENU ボタン →  [動画] → [iA ズーム] → [ON]/[OFF]

 こんなときは使えません

- 以下の場合、iA ズームは使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの [インプレッシブアート]、[トイフォト]、[トイポップ]
 - シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]、[パノラマで撮る]
 - 撮影メニューの [連写速度] を [SH] に設定したとき
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - [i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - [iHDR] を [ON] に設定時
 - [クオリティ] を [RAW $\frac{1}{2}$], [RAW $\frac{1}{4}$], [RAW] に設定時

デジタルズーム

使えるモード:

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大 4 倍まで拡大できます。

MENU ボタン → [撮影] → [デジタルズーム] → [ON]/[OFF]

MENU ボタン → [動画] → [デジタルズーム] → [ON]/[OFF]

- iA ズーム使用時、デジタルズームの倍率は最大 2 倍までになります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P140) を使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AF エリアは中央で大きく表示されるようになります。

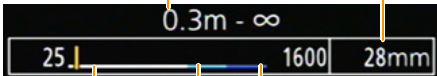
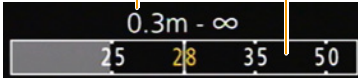
こんなときは使えません

- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの [インプレッシブアート]、[トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]
 - シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]、[パノラマで撮る]
 - クリエイティブ動画モードの [ハイスピード動画]
 - 撮影メニューの [連写速度] を [SH] に設定したとき
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - [クオリティ] を [RAW]、[RAW]、[RAW] に設定時

ズーム動作の設定を変更する

MENU ボタン → [カスタム] → [ズームレバー]

MENU ボタン → [カスタム] → [マニュアルリング(ズーム)]

Q (シームレスズーム)	ズーム操作をすると、通常のズーム動作を行います。 撮影可能範囲表示 現在の焦点距離 (35mm フィルムカメラ換算)  光学ズーム領域 iA ズーム領域 デジタルズーム領域
Q (ステップズーム)	ズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 ● 動画撮影時は動きません。 撮影可能範囲表示 ステップズーム表示 
(露出補正)	([ズームレバー] 時のみ表示されます) 露出の設定をする機能を割り当てます。

電源を切ったときのズーム位置を記憶する

MENU ボタン → [カスタム] → [ズーム位置メモリー] → [ON]/[OFF]

フラッシュを使って撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**    

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所で撮影したり、背景が明るいときに被写体を照らして全体のコントラストを調整することができます。

■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

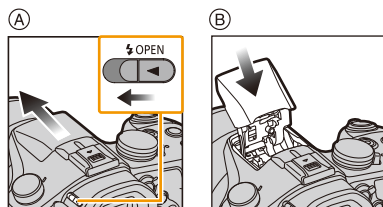
(A) 開くとき

フラッシュオープンレバーをスライドさせる

(B) 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、 に固定されます。



- フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。
- フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。



発光禁止 () について

フラッシュを閉じているときや動画撮影時などフラッシュ撮影できない場合は、撮影画面に  (発光禁止) が表示され、フラッシュが発光しません。

- フラッシュ禁止の場所などで発光させないようにするには、フラッシュを閉じてください。

■ フラッシュ撮影可能範囲

フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光の照明範囲外となるため、撮影画像の一部が暗くなります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

	W端時	T端時
ISO感度 [AUTO] 設定時	約30 cm～約13.5 m	約1.0 m～約9.5 m

- [ISO感度上限設定] (P132) を [OFF] に設定時の範囲です。

 [続く](#)



フラッシュを上手に使うには

- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整](P164)をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

- フラッシュにほこりや粘着物が付着しないようにお気をつけください。フラッシュが引っかかりたり開かなくなるおそれがあります。
- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、262ページをお読みください。
- 以下の場合、フラッシュは [🚫] (発光禁止) に固定されます。
 - 動画撮影時
 - 電子シャッター使用時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時

フラッシュモードを切り換える

使えるモード: **P A S M** **C1 C2**

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

2 ▲/▼ ボタンで [フラッシュモード] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

: 強制発光 : 赤目軽減強制発光※1	フラッシュを強制的に発光させます。 ● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときに適しています。
S : スローシンクロ S : 赤目軽減スローシンクロ※1	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ● シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。 三脚の使用をお勧めします。

※1 [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定し、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。

フラッシュは2回発光します。特に[]、[S]に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

● 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
	1/60 ※2 ~ 1/4000 秒	S	1 ~ 1/16000 秒
		S	
			60 ※3 ~ 1/16000 秒

※2 シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

※3 マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

● インテリジェントオート(または)モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○：設定可、×：設定不可、◎：シーンガイドモード初期設定)

撮影モード	⚡	⚡👁	⚡S	⚡👁	📷
IA インテリジェントオートモード	×※	×※	×※	×※	○
IA+ インテリジェントオートプラスモード	×※	×※	×※	×※	○
P プログラム AE モード	○	○	○	○	○
A 絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード	○	○	×	×	○
M マニュアル露出モード	○	○	×	×	○
M クリエイティブ動画モード	×	×	×	×	○
📷 クリエイティブコントロールモード	×	×	×	×	○
SCN シーンガイド モード	人物をきれいに撮る	○	◎	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	○	◎	×	○
	逆光でふんわり撮る	×	×	×	◎
	逆光でしっかり撮る	◎	×	×	○
	ほのぼのした雰囲気撮る	×	×	×	◎
	子どもをかわいく撮る	○	◎	×	○
	風景をきれいに撮る	×	×	×	◎
	青空をさわやかに撮る	×	×	×	◎
	夕焼けを幻想的に撮る	×	×	×	◎
	夕焼けを印象的に撮る	×	×	×	◎
	水面をキラキラ撮る	×	×	×	◎
	夜景をきれいに撮る	×	×	×	◎
	夜景をクールに撮る	×	×	×	◎
	夜景を暖かく撮る	×	×	×	◎
	夜景をアーティスティックに撮る	×	×	×	◎
	イルミネーションをキラキラ撮る	×	×	×	◎
	夜景を手持ちで撮る	×	×	×	◎
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	×	◎
	花をふんわり撮る	◎	×	×	○
	料理をおいしそうに撮る	◎	×	×	○
	スイーツをかわいく撮る	◎	×	×	○
	動くペットをきちんと撮る	◎	×	×	○
	スポーツをきれいに撮る	◎	×	×	○
	モノクロで撮る	◎	○	○	○
	パノラマで撮る	×	×	×	◎

※ 撮影メニューによる設定はできません。フラッシュを開くと [⚡A] が設定されます。(P62)

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- シーンガイドモードでシーンを変更すると、シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

後幕シンクロに設定する

使えるモード: P A S M C1 C2

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

2 ▲/▼ ボタンで [フラッシュシンクロ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

さきま 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
あとま 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- 通常は [先幕] に設定してください。
- [後幕] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
- [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] に設定時のみ設定できます。(P166)
- フラッシュシンクロの設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く) (P262)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕] 設定時は、[], [] に設定できません。

フラッシュの発光量を調整する

使えるモード: P A S M C1 C2 SCN

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

2 ▲/▼ ボタンで [フラッシュ発光調整] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- -3 EV から +3 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0” を選んでください。
- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに [+] または [-] が表示されます。
- [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] に、[発光モード] を [TTL] に設定時のみ設定できます。(P165, 166)
- [フラッシュ発光調整] の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く) (P262)

露出補正時に内蔵フラッシュ発光量を連動させる

使えるモード: **P A S M** **C1 C2 SCN**

撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定時は、露出補正量に応じて内蔵フラッシュの発光量も自動的に調整されます。

- 露出補正については、130 ページをお読みください。
- [露出補正連動]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P262)

発光モードを変更する(マニュアルフラッシュ)

使えるモード: **P A S M** **C1 C2**

[フラッシュ設定]の[発光モード]で、フラッシュの種類を設定できます。

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。

- [マニュアル]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1]など)が表示されます。

光量比を設定する([マニュアル]選択時)

- 1 撮影メニューから[フラッシュ設定]を選ぶ(P31)
- 2 ▲/▼ ボタンで[マニュアル発光量設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3 段ごとに設定できます。

ワイヤレスフラッシュの設定をする

使えるモード: **P A S M** **C1 C2**

ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト(別売:DMW-FL360L、DMW-FL580L)を使うと、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ(または本機のホットシューに装着したフラッシュライト)を別々に発光制御できます。

準備: 本機のフラッシュオープンレバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。

または、本機にフラッシュライト(別売:DMW-FL360L、DMW-FL580L)を取り付けてください。

- 1 **コントロールする外部フラッシュの設定を RC モードにして、配置する**
 ● コントロールする外部フラッシュのチャンネルとグループを設定してください。
- 2 **メニューを設定する**

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

- 3 **▲/▼ ボタンで [ワイヤレスモード] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 4 **▲/▼ ボタンで [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
 - [ワイヤレスモード] を [ON] に設定すると、撮影画面のフラッシュアイコンに [WL] が表示されます。
 - ワイヤレスフラッシュの詳細な設定を行う場合は、[フラッシュ設定] から以下の設定を行ってください。

[ワイヤレスチャンネル]

コントロールする外部フラッシュと同じチャンネルに合わせてください。

設定: [1CH]、[2CH]、[3CH]、[4CH]

[ワイヤレス通信光量]

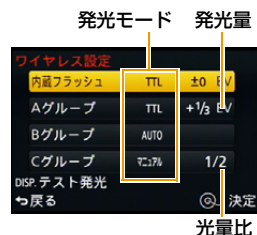
ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定します。

設定: [強]、[中]、[弱]

続く

[ワイヤレス設定]

- [DISP.] ボタンを押すと、テスト発光を行います。

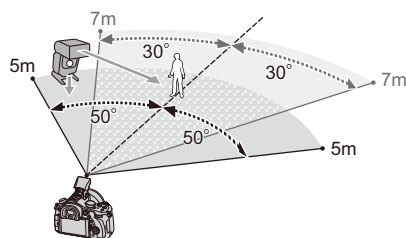


内蔵フラッシュ※	発光モード	TTL: カメラが自動的に内蔵フラッシュの発光量を設定します。 OFF: 内蔵フラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ 光量調整	内蔵フラッシュの発光量を手動で調整します。
外部 フラッシュ※	発光モード	TTL: カメラが自動的に外部フラッシュの発光量を設定します。 AUTO: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 外部フラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定時の外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 ● [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3段ごとに設定できます。
Aグループ/ Bグループ/ Cグループ	発光モード	TTL: カメラが自動的に外部フラッシュの発光量を設定します。 AUTO: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 設定したグループの外部フラッシュは発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定時の外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 ● [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3段ごとに設定できます。

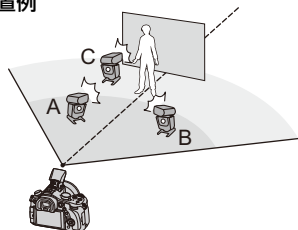
※ 本機にフラッシュライト(別売:DMW-FL360L、DMW-FL580L)を装着時は、[内蔵フラッシュ]の代わりに [外部フラッシュ]が表示されます。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。



設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合です。

- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(ディヒューザーなどで減光すると症状が緩和されます)

赤目を補正する

使えるモード:

赤目軽減([], [])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

MENU ボタン → [撮影] → [デジタル赤目補正]

設定: [ON]、[OFF]

- [ON]に設定すると、アイコンに[]が表示されます。

こんなときは使えません

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

動画を撮る

AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

フォーマット、サイズ、フレームレートを設定する

使えるモード：

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [動画] → [記録方式]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

3 ▲/▼ ボタンで [画質設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● 設定後はメニューを終了してください。

[AVCHD] を選んだ場合

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[FHD/28M/60p] ※1	1920×1080	60p	28 Mbps
[FHD/17M/60i]	1920×1080	60i	17 Mbps
[FHD/24M/30p]	1920×1080	60i ※2	24 Mbps
[FHD/24M/24p]	1920×1080	24p	24 Mbps

※1 AVCHD Progressive

※2 センサー出力は 30 コマ / 秒です

[MP4] を選んだ場合

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[4K/100M/30p] ※3	3840×2160	30p	100 Mbps
[FHD/28M/60p]	1920×1080	60p	28 Mbps
[FHD/20M/30p]	1920×1080	30p	20 Mbps
[HD/10M/30p]	1280×720	30p	10 Mbps
[VGA/4M/30p]	640×480	30p	4 Mbps

※3 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- [AVCHD] の [FHD/28M/60p]、[FHD/24M/30p]、[FHD/24M/24p] で記録した動画の本機以外での再生、取り込みには、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたは PHOTOfunSTUDIO をインストールしたパソコンが必要です。
- [MP4] の [4K/100M/30p] で記録した動画については [247](#) ページの「4K 動画を楽しむ」をご覧ください。

■ アイコンの見方

フォーマット
 サイズ **AVCHD** フレームレート(センサー出力)
FHD 60i

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機は VBR 記録方式を採用しています。VBR とは Variable Bit Rate (可変ビットレート) の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

ピント合わせは、フォーカスモード([P113](#))と動画撮影メニューの [AF 連続動作] の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。(P113)
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手でピントを合わせることができます。(P123)

- フォーカスモードを [AFS]、[AFF]、[AFC] に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境によっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、動画撮影メニューの [AF 連続動作] を [OFF] に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

動画を撮る

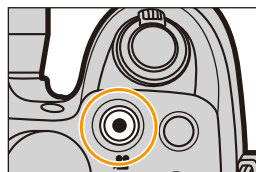
使えるモード: P A S M C1 C2

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押すと再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。(P174)



記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間

撮影終了時の操作音について

動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- 再生メニューの[動画分割](P191)で動画の終わりの部分を分割してください。
最後のあたりでは分割できない場合があります。3秒ほど長めに撮影をしてください。
- クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン(別売)を使って撮影してください。(P263)

動画ボタンの有効/無効を設定する

MENU ボタン → **fc**[カスタム] → [動画ボタン] → [ON]/[OFF]

- ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換える

MENU ボタン → **fc**[カスタム] → [記録枠表示] → [] (写真)/[] (動画)

- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
[記録枠表示]を[]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 記録枠表示は目安です。

- 動画を高温な環境下で撮影したり、連続で撮影したりすると、機器保護のため、**[△]**が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 動画撮影前に O.I.S. スイッチとマニュアルリング切換スイッチの設定をご確認ください。また、動画撮影中にそれらを誤って切り換えないようお気をつけください。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中、ISO感度は [AUTO] (動画用) の動作になります。また、[ISO感度上限設定] は機能しません。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正] を **[流し撮り]** (流し撮り) に設定していても、**[通常]** (通常) に固定されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター (別売: DMW-AC10) の使用をお勧めします。(P265)
- AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
- プログラム AE モード - 絞り優先 AE モード - シャッター優先 AE モード - マニュアル露出モード	通常動画
- シーンガイドモードの [逆光でしっかり撮る]	人物モード
- シーンガイドモードの [夜景をきれいに撮る]/ [夜景をアーティストチックに撮る]/ [夜景を手持ちで撮る]/ [夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード

こんなときは使えません

- 以下の場合、動画撮影できません。
 - シーンガイドモードの [水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時

4K 動画を撮る

使えるモード:   P A S M  C1 C2  

[画質設定]のサイズが[4K]の動画で記録することで、きめ細かい4K動画を撮影することができます。

- 4K 動画はクリエイティブ動画モードに設定時のみ撮影できます。
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P26)

4K 動画を撮影するには

- ① モードダイヤルを  M に合わせる (P51)
- ② 動画撮影メニューの [記録方式] を [MP4] に設定する (P169)
- ③ 動画撮影メニューの [画質設定] を [4K/100M/30p] に設定する (P169)

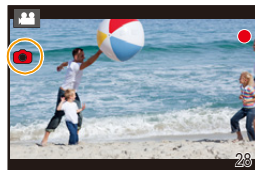
動画撮影中に写真を記録する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2**  

動画撮影中でも写真を記録することができます。(同時記録)

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。



■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2**  

動画撮影メニューの[写真撮影]で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

 (動画優先)	● 記録画素数[S](2 M)で写真を記録します。通常の写真の[S](2 M)とは画質が異なる場合があります。 ● クオリティを[RAW ]、[RAW ]または[RAW]に設定時はJPEG画像のみ記録されます。([RAW]設定時はクオリティは[]で記録されます) ● 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大30枚までです。 ● クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。
 (写真優先)	● 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ● 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が続切れます。 ● 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大4枚までです。

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、同時記録はできません。
 - [記録方式]の[MP4]を[VGA/4M/30p]に設定時
 - [記録方式]の[AVCHD]を[FHD/24M/24p]に設定時([ (写真優先)]設定時のみ)

動画撮影メニューを使う

🔍 動画撮影メニューの設定方法は

🔗 P31

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。
どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- 以下の場合、動画撮影メニューは表示されません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]

記録方式

- 詳しくは、[169](#)ページをお読みください。

画質設定

- 詳しくは、[169](#)ページをお読みください。

動画露出設定

- 詳しくは、[96](#)ページをお読みください。

ハイスピード動画

- 詳しくは、[97](#)ページをお読みください。

写真撮影

- 詳しくは、[174](#)ページをお読みください。

AF連続動作

- 詳しくは、[170](#)ページをお読みください。



🔍 動画撮影メニューの設定方法は

🔗 P31

動画傾き補正

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

動画撮影時のカメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平に補正します。

設定: [ON]、[OFF]

- 歩きながら撮影したり、カメラの傾きが大きい場合、動画を水平に補正できないことがあります。
- [動画傾き補正] が [ON] のときは、動画撮影開始時に撮影範囲が少し狭くなります。
- 動画撮影中に撮影した写真は、水平に補正されません。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、動画傾き補正は働きません。
 - ハイスピード動画撮影時
 - O.I.S. スイッチが [OFF] のとき
 - [画質設定] が [4K/100M/30p] または [VGA/4M/30p] のとき

輝度レベル設定

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

- [輝度レベル設定] は、[記録方式] を [MP4] に設定しているときのみ設定できます。

設定: [(16-255)]、[(0-255)]

- [(16-255)] は通常の動画撮影に適した設定です。
- [(0-255)] は撮影した動画からの写真作成に適した設定です。

フリッカー軽減

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

設定: [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]、[OFF]



動画撮影メニューの設定方法は

P31

マイクレベル表示

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。

設定: [ON]、[OFF]

- [マイクレベルリミッター]を[OFF]に設定時、[マイクレベル表示]は[ON]に固定されます。



こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。
- ハイスピード動画撮影時は使えません。

マイクレベル設定

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

音声入力のレベルを19段階(-12 dB ~ +6 dB)に調整します。

- 表示される dB 値は目安です。



こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。
- ハイスピード動画撮影時は使えません。

専用マイク設定

- 詳しくは、[264](#)ページをお読みください。

音声入力のレベルを自動で調整する(マイクレベルリミッター)

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

音声入力のレベルを自動的に調整します。音量が大きくなったときの、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

設定: [ON]、[OFF]



こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。
- ハイスピード動画撮影時は使えません。



🔍 動画撮影メニューの設定方法は

📖 P31

風音低減

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

- 風音低減を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。

**こんなときは使えません**

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。
- [ズームマイク]が[ON]のときは使えません。
- ハイスピード動画撮影時は使えません。

ズームマイク

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2**

ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

設定: [ON]、[OFF]

- [ON]に設定時、ズーム操作を行うと、周囲の音に合わせて動作音も強調されて記録される場合があります。また、[OFF]のときよりも録音レベルが下がります。
- 画像の拡大時には、音声のステレオ感がなくなります。
- 以下の場合、ズームマイクは使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
 - クリエイティブ動画モードの[ハイスピード動画]



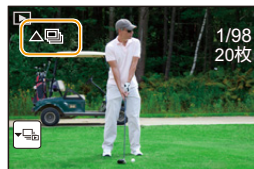
グループ画像を見る

複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1枚ずつ再生します。

[]: 連写速度を[SH]に設定して連続撮影したグループ画像(P136)

[]: インターバル撮影で撮影したグループ画像(P141)

[]: コマ撮り撮影したグループ画像(P144)



- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

- 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

グループ画像を連続再生する

グループ画像アイコン([],[],[])が付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。

[最初の画像から見る]: グループの先頭画像から連続再生されます。

[この画像から見る]: 再生中の画像から連続再生されます。

グループ画像再生中の操作

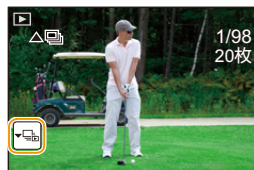
▲	連続再生/一時停止	▼	停止
◀	早戻し再生	▶	早送り再生
	前の画像に戻る(一時停止中)		次の画像へ送る(一時停止中)

グループ画像を1枚ずつ再生する

1 グループ表示アイコン([],[],[])が付いた画像を選び、▼ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンを押して画像を送る

- もう一度▼ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)

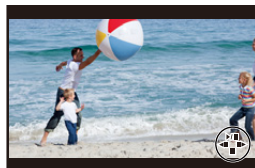


動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

- 1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。



- [画像横縦比]は[16:9]で、[クオリティ]は[.]で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。
 - [画質設定]のサイズが[4K]の動画の場合:[M](8M)
 - [画質設定]のサイズが[FHD]、[HD]の動画の場合:[S](2M)
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[8]が表示されます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに接続中に動画から写真を作成する場合は、セットアップメニューの[テレビ接続設定]の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。

こんなときは使えません

- [MP4]の[VGA/4M/30p]で撮影された動画からは、写真を作成できません。

再生メニューを使う

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [RAW 現象]、[文字焼き込み]、[インターバル動画作成]、[コマ撮りアニメ作成]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [スライドショー]

2 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- [カテゴリー選択]時は、▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。
カテゴリーの詳細については、[183](#)ページをお読みください。

3 ▲ ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■ スライドショー中の操作

▲	再生 / 一時停止	▼	スライドショーを終了する
◀	前の画像へ	▶	次の画像へ
後ダイヤル (左回し)	音量下げる	後ダイヤル (右回し)	音量上げる

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

【効果】

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。

[おまかせ]、[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリ選択]選択時のみ使用できます。カテゴリごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリ選択]の[]、[]、[]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- グループ画像のスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに表示するときや、縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

【設定】

再生間隔やリピートを設定できます。

【再生間隔】	[5 秒]、[3 秒]、[2 秒]、[1 秒]
【リピート】	[ON]、[OFF]
【音設定】	[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- 以下をスライドショー時、[再生間隔]の設定は無効になります。
 - － 動画
 - － パノラマ写真
 - － グループ画像

再生モード

[通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[カテゴリ再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [再生モード]

2 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

上記手順2で[カテゴリ再生]選択時

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

●分類されるカテゴリは以下のとおりです。

	– 個人認証※
	– 自動シーン判別の i 人物 / i 夜景 & 人物 / i 赤ちゃん – シーンガイドモードの [人物をきれいに撮る] / [人物の肌をきれいに撮る] / [逆光でふんわり撮る] / [逆光でしっかり撮る] / [ほのぼのした雰囲気撮る] / [子どもをかわいく撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	– 自動シーン判別の i 風景 / i 夕焼け – シーンガイドモードの [風景をきれいに撮る] / [青空をさわやかに撮る] / [夕焼けを幻想的に撮る] / [夕焼けを印象的に撮る] / [水面をキラキラ撮る]
	– 自動シーン判別の i 夜景 & 人物 / i 夜景 / i 手持ち夜景 – シーンガイドモードの [夜景をきれいに撮る] / [夜空をクールに撮る] / [夜景を暖かく撮る] / [夜景をアーティスティックに撮る] / [イルミネーションをキラキラ撮る] / [夜景を手持ちで撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	– シーンガイドモードの [スポーツをきれいに撮る]
	– 自動シーン判別の i 料理 – シーンガイドモードの [料理をおいしそうに撮る] / [スイーツをかわいく撮る]
	– トラベル日付
	– 連写速度を [SH] で連続撮影した写真
	– インターバル撮影、インターバル動画作成
	– コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成

※ ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生したい人物を選び[MENU/SET]ボタンを押して再生してください。

グループ画像は、グループ全体が個人認証画像として扱われます。

●撮影モードによっては動画の分類が写真と異なるため、再生されないことがあります。

位置情報記録

スマートフォン/タブレットから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。

位置情報の送信と画像への書き込みは、スマートフォン/タブレットでの操作で行えます。(P215)

準備: スマートフォン/タブレットから本機に位置情報を送信する

- お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。(P206)
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [位置情報記録] → [位置情報データ付与]

2 ▲/▼ ボタンで位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■ 位置情報の書き込みを中断する

位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [○] が表示されます。

[○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■ 受信した位置情報を消去する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [位置情報記録] → [位置情報データ消去]

2 ▲/▼ ボタンで位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 本機で撮影された画像にのみ、位置情報を書き込むことができます。

こんなときは使えません

- 位置情報の送信 (P215) 後に撮影した画像には、位置情報は書き込まれません。
- [記録方式] を [AVCHD] で撮影した動画には、位置情報は書き込まれません。
- カードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込めません。

RAW 現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真はJPEG形式で保存されます。効果を確認しながら調整して現像することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [RAW 現像]

2 ◀/▶ ボタンで RAW 画像を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	-1 EV ~ +1 EV の範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果([スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物])を選べます。
IDレンジコントロール	IDレンジコントロールの設定([強]、[中]、[弱]、[OFF])を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選べます。([フォトスタイル]で[モノクローム]を選択している場合のみ)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定([強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF])を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	以下の設定ができます。 [調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間]: 色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選べます。 [記録画素数]: 保存時のJPEG画像のサイズ([L]、[M]、[S])を選べます。

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。詳しくは、[186](#) ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順3の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順3から5を繰り返してください。

6 ▲/▼ ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

■ 各項目の設定方法

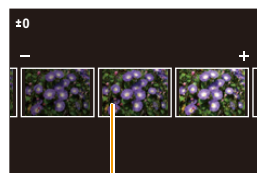
項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

ボタン操作	操作内容
	調整の選択
▲	色温度設定画面を表示(P105) ([ホワイトバランス]の[]選択時のみ)
▼	ホワイトバランス微調整画面を表示(P105) ([ホワイトバランス]選択時のみ)
[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス]選択時、比較画面の表示はできません。
- ズームレバーで拡大表示することができます。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	操作内容
	調整の選択
[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

[設定] 選択時

項目を選ぶと、[調整前に戻る]、[色空間]、[記録画素数]の選択画面が表示されます。

- ▲/▼ ボタンで項目選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [調整前に戻る]を選択時、確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。
- ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

→ 続く

- 本機で行う RAW 現像の結果と、DVD (付属) のソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で行う RAW 現像の結果は完全には一致しません。
- 露出補正で設定できる範囲は、撮影時と異なります。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- 撮影時に[デジタル赤目補正]が働いた場合、再生メニューの[RAW 現像]では、補正が働いた JPEG 形式の写真を書き出します。
- 複数の写真を同時に RAW 現像することはできません。

こんなときは使えません

- AV ケーブル(別売)や HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW 現像]は使えません。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。他の機種で撮影された画像や、RAW 形式以外の画像には[RAW 現像]は使えません。

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み] (P189)で撮影画像に焼き込むことができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [タイトル入力] → [1枚設定] または [複数設定]

2 文字を入力したい画像を選ぶ

- すでにタイトルが入力されている画像には が表示されます。

[1枚設定] 選択時

- ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ
- [MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す(繰り返す)
 - もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- ◀ ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する



3 文字を入力する (P44)

- 設定後はメニューを終了してください。

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは100枚までです。

こんなときは使えません

- 以下の場合、タイトル入力できません。
 - 動画
 - クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [文字焼き込み] → [1枚設定] または [複数設定]

2 文字を焼き込みたい画像を選ぶ

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に が表示されます。

[1枚設定] 選択時

- ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ
- [MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
 - もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する



3 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで焼き込む項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[撮影日時]	[日付]: 年月日を焼き込みます。 [日時]: 年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
[名前]	[人] (個人認証): [個人認証] で登録された名前を焼き込みます。 [犬/猫] (赤ちゃん/ペット): [プロフィール設定] で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
[旅行先]	[ON]: [旅行先] で設定された旅行先名を焼き込みます。 [OFF]
[トラベル日付]	[ON]: [トラベル日付] で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 [OFF]
[タイトル]	[ON]: [タイトル入力] で入力されたタイトルを焼き込みます。 [OFF]

続く

6 [⏮/⏭] ボタンを押す

7 ▲ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
 - 動画
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る] で撮影された写真
 - 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを [RAW ]、[RAW ] または [RAW] にして撮影された画像

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [動画分割]

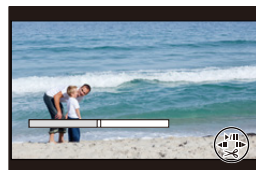
2 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割したい位置で ▲ ボタンを押す

- もう一度 ▲ ボタンを押すと、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に ◀/▶ ボタンを押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。



こんなときは使えません

- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

インターバル動画作成

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [インターバル動画作成]

2 ◀/▶ ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- インターバル撮影後に続けて動画化するのと同じ手順になります。
詳しくは [142](#) ページの手順 **9** 以降をお読みください。
- 作成した動画については、[143](#) ページのお知らせもお読みください。

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [コマ撮りアニメ作成]

2 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- [コマ撮りアニメ]の撮影後に続けて動画化するのと同じ手順になります。詳しくは [146](#) ページの手順 **11** 以降をお読みください。
- 作成した動画については、[146](#) ページのお知らせもお読みください。

リサイズ(縮小) 画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [リサイズ(縮小)] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定] 選択時

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



[複数設定] 選択時

- 1 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
 - もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- 3 ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する
 - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



- [複数設定] で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。

こんなときは使えません

- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
 - ー 動画
 - ー シーンガイドモードの [パノラマで撮る] で撮影された写真
 - ー グループ画像
 - ー 文字焼き込みされた画像
 - ー クオリティを [RAW], [RAW] または [RAW] にして撮影された画像

トリミング(切抜き) 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [トリミング(切抜き)]

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ズームレバーと ▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ



ズームレバー(W): 縮小

ズームレバー(T): 拡大

▲/▼/◀/▶ ボタン: 移動

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

こんなときは使えません

- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。
 - 動画
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る] で撮影された写真
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを [RAW]、[RAW] または [RAW] にして撮影された画像

画像回転 / 縦位置自動回転

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90° ごとに回転させることができます。

画像回転(画像を手動で回転する)

- [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [画像回転]

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像は回転できません。

3 ▲/▼ ボタンで回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[↻] : 時計回りに90° 回転します。

[↺] : 反時計回りに90° 回転します。

- 設定後はメニューを終了してください。



縦位置自動回転(画像を自動で回転して表示する)

メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [縦位置自動回転] → [ON]

- [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

こんなときは使えません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]
- 複数消去など設定時のマルチ再生画面では、縦位置自動回転されない場合があります。

お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておく、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([お気に入り以外全消去])

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [お気に入り] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

[1枚設定] 選択時

- ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



[複数設定] 選択時

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



■ [お気に入り] 設定を全解除する

メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [お気に入り] → [全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。
- [再生モード]を設定中は、[全解除]を選択できません。

● 999枚まで設定できます。

● グループ内の画像に[お気に入り]設定すると、先頭画像のお気に入りアイコンに設定枚数が表示されます。

こんなときは使えません

- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

グループ画像に[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [プリント設定] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

[1枚設定] 選択時

◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲/▼ ボタンでプリント枚数を設定し、

[MENU/SET] ボタンで決定する

- [複数設定] 選択時は、手順 **2, 3** を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- グループ画像に対して [プリント設定] を行ったとき、合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プリント設定]を全解除する

メニューを設定する

MENU ボタン →  [再生] → [プリント設定] → [全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、▶ ボタンを押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。
詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- グループ内の画像に[プリント設定]すると、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の画像はプリント設定できません。
 - 動画
 - クオリティを[RAW]にして撮影された画像
 - DCF規格に準拠していないファイル

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [プロテクト] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

[1枚設定] 選択時

- ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定] 選択時

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



■ [プロテクト] 設定を全解除する

メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [プロテクト] → [全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 実行後はメニューを終了してください。



- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

- [プロテクト] 設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- グループ内の画像に [プロテクト] 設定すると、先頭画像のプロテクトアイコンに設定枚数が表示されます。

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [認証情報編集] → [入換え] または [解除]

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ([入換え] 選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生] の個人認証に分類されません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は 1 枚目の画像のみ編集できます。

画像表示順

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [画像表示順]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

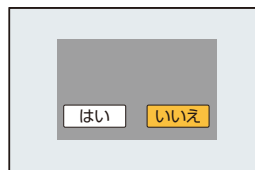
ファイル名	フォルダ名 / ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置がわかりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 設定後はメニューを終了してください。

- 別のカードを入れたときなどでは、[撮影日時] の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時] の順で表示されます。

消去確認画面

画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。



1 メニューを設定する

MENU ボタン → □[再生] → [消去確認画面]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[「はい」がはじめ]	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
[「いいえ」がはじめ]	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去するのを防ぎます。

- 設定後はメニューを終了してください。

Wi-Fi[®] 機能 / NFC 機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID^{*}) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ ご使用の前に

- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。

■ 本機はNFCに対応しています

NFC (Near Field Communication: 近距離無線通信) 機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。



対応機種について

本機能は、Android (OS バージョン 2.3.3 以上) で、おサイフケータイ[®]、FeliCa、または NFC に対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ[®]機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[] マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- おサイフケータイ[®]、FeliCa でご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的に NFC 機能が利用できない場合があります。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ

青色点灯: Wi-Fi接続の待機中

青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中

■ [Wi-Fi] ボタンについて

[Wi-Fi]/[Fn2] ボタンは、[Wi-Fi] と [Fn2] (ファンクション2) の2とおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、[Wi-Fi] が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [35](#) ページをお読みください。



Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを長めに押す (スマートフォン / タブレットと接続時)

- スマートフォン / タブレットを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID、パスワード) が表示されます。(P207)

Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 以下の項目を選択できます。

[新規に接続する]

[履歴から接続する] (P241)

[お気に入りから接続する] (P241)

- 本書では [新規に接続する] を選んだ場合の手順で説明します。



Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと

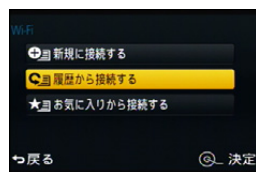
- 以下の項目を選択できます。

[接続を終わる]	Wi-Fi接続を終了します。
[接続先を変える]	Wi-Fi接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
[画像の送信設定を変える] ※	詳しくは 244 ページをお読みください。
[今の接続先をお気に入りに入れる]	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
[ネットワークアドレス表示]	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

※ [スマートフォンとつないで使う]、[TVで見る]または[カメラ内の画像を選んで送る]の送信先が[プリンター]の場合は、表示されません。

■ 操作の記載方法について

手順で「**履歴から接続する**」を選ぶなどと記載されている場合は、カーソルボタンで[履歴から接続する]を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。



- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたは IEEE802.11n 対応のものを
ご使用ください。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れ
たりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 3Gや LTE 等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケッ
ト通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、
一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。

Wi-Fi 機能でできること

スマートフォンとつないで使う

スマートフォンで撮影する
カメラの画像を再生する
カメラの画像を保存する
画像を SNS へ送信する
位置情報をカメラの画像に書き込む



かんたん接続、かんたん転送

[Wi-Fi] ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に使えます。



P206



テレビに写真を映す

P220



ワイヤレスでプリントする

P221

AV 機器に画像を送る



写真や動画を家の中にある AV 機器(宅内 AV 機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器(宅外 AV 機器)にも、LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで送れます。

P222



パソコンに画像を送る

P224

Web サービスを利用する



LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画を SNS などに送れます。クラウド同期サービスを利用すると、パソコンやスマートフォンで写真や動画を受信できます。

P227

以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。

お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。



スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

●対応 OS (2014 年 6 月現在)

Android™: Android 2.3.3 以上※

iOS: iOS 5.0 以上

※ [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App StoreSM」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。
- 以降の画面・手順は本機の発売時でのバージョンになります。バージョンアップにより、画面・手順が変更される場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3G や LTE 等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi] ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

準備:

- [Image App] をインストールしておく (P206)

1 [Wi-Fi] ボタンを長めに押す

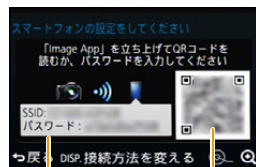
- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID、パスワード) が表示されます。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

**Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→
[スマートフォンとつないで使う]**

- 接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続方法を選んでください。

2 スマートフォンを操作する

- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に本機の画像が表示されます。
(操作後、接続が完了するまでにしばらくかかる場合があります)
- お使いのスマートフォンによって接続方法が異なります。



SSID、
パスワード QR コード

iOS 端末をお使いの場合

QR コードを読み取って接続する場合

(再接続する場合は手順 ① ~ ⑤ は不要です)

- ① [Image App] (P206) を起動する
- ② [QR コード] を選び、[OK] を選ぶ



- ③ 本機の画面に表示されている QR コードを「Image App」で読み取る

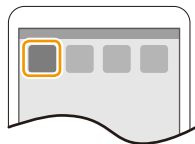
- カメラの[MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試ください。(読み取れない場合は、カメラとスマートフォンの距離を離してためしてみるか、QR コード以外の方法で接続してください)



➡ 続く



- ④ 「IMAGE APP」のプロファイルをインストールする
[インストール]※を選び、[インストール]※→
[完了]※を選んでください。
 • ブラウザにメッセージが表示されます。
 • スマートフォンのロック解除のパスコードを設定されている場合は、パスコードの入力が必要です。
- ⑤ ホームボタンを押してブラウザを終了する
- ⑥ [設定]※の[Wi-Fi]を選ぶ



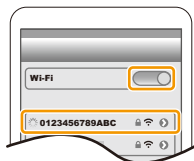
- ⑦ [Wi-Fi]をオンにして、本機の画面に表示されている SSID を選ぶ



- ⑧ ホームに戻り、「Image App」(P206)を起動する
※ お使いの言語設定によって表示が異なります。

SSID とパスワードで接続する場合

- ① [設定]※の[Wi-Fi]を選ぶ
- ② [Wi-Fi]をオンにして、本機の画面に表示されている SSID を選ぶ



- ③ 本機の画面に表示されているパスワードを入力する
(初回接続時のみ)
- ④ 「Image App」(P206)を起動する

※ お使いの言語設定によって表示が異なります。

→ 続く

Android 端末をお使いの場合

QR コードを読み取って接続する場合

- 1 「Image App」(P206) を起動する

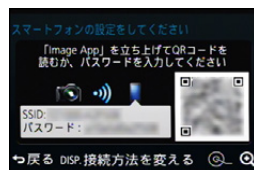


- 2 [QRコード] を選ぶ
- 3 本機の画面に表示されている QR コードを「Image App」で読み取る
 - カメラの[MENU/SET]ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試ください。(読み取れない場合は、カメラとスマートフォンの距離を離してためしてみるか、QRコード以外の方法で接続してください)



SSID とパスワードで接続する場合

- 1 「Image App」(P206) を起動する
- 2 [Wi-Fi] を選ぶ
- 3 本機の画面に表示されている SSID を選ぶ



- 4 本機の画面に表示されているパスワードを入力する (初回接続時のみ)
 - パスワードを表示する項目にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認できます。

■ 接続方法を変える

接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続方法を選んでください。



[ネットワーク経由] で接続する場合

カメラ側

1 [ネットワーク経由] を選ぶ

- 238 ページの接続方法に従って、本機を無線アクセスポイントに接続してください。

スマートフォン側

- Wi-Fi機能をONにする
- 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する
- [Image App]を起動する(P206)

[直接接続] の [WPS 接続] ※ で接続する場合

カメラ側

1 [直接接続] を選ぶ

- 240 ページの接続方法に従って、本機をスマートフォンに接続してください。

スマートフォン側

2 [Image App]を起動する(P206)

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォンが対応しているかどうかは、スマートフォンの説明書をご覧ください。

■ 接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押す(P203)
- スマートフォンで[Image App]を終了する

(iOS 端末をお使いの場合)

[Image App]の画面でホームボタンを押してアプリを終了する

(Android 端末をお使いの場合)

[Image App]の画面で戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する

NFC 機能を使って、スマートフォン/タブレットと接続する

NFC(Near Field Communication:近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォンとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。

■ 対応機種について

本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ®、FeliCa、または NFC に対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

準備:

(カメラ側)

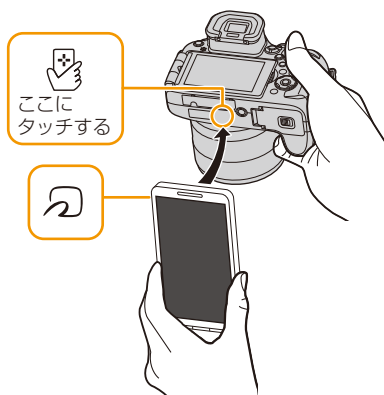
- [NFC動作]を[ON]にする(P246)

(スマートフォン側)

- スマートフォンが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく(P206)

- 1 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 2 スマートフォンの画面に[📷]が表示されている状態で、カメラの[📷]にスマートフォンの[🔄]をタッチする
- 3 カメラに接続確認画面が表示されたら[はい]を選ぶ
- 4 もう一度、カメラの[📷]にスマートフォンの[🔄]をタッチする

- 手順 3、4 は2回目以降は不要です。
- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に本機の映像が表示されます。
- 接続されたスマートフォンは本機に登録されません。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 1 の画面を表示してください。
- 1 枚再生時に接続すると、スマートフォンに画像が転送されます。(P214)



→ 続く

- 最大20件までスマートフォンを登録できます。20件を超えた場合は、最も古くタッチされた順に登録を消去します。
- [Wi-Fi設定リセット]を行うとスマートフォンの登録は消去されます。
- おサイフケータイ[®]、Felicaでご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- すぐに反応しないときは、位置を少しずらしてください。
- スマートフォンを本機に強く当てないでください。
- NFC対応スマートフォンには、[🔗]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォンの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- 本機とスマートフォンとの間に金属物があると、読み取れない場合があります。また、[🔗]マーク付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性があります。
- 以下の場合 NFC 機能は使えません。
 - パソコンまたはプリンター接続時
 - 動画撮影時
 - インターバル撮影時
 - [多重露出]設定時

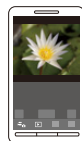
スマートフォン/タブレットで撮影する (リモート撮影)

- 1 スマートフォンと接続する (P207)
- 2 スマートフォンを操作する

① [📷]を選ぶ

② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

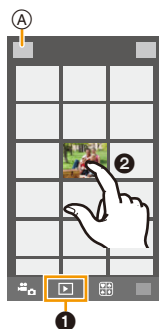


カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P207)

2 スマートフォンを操作する

- ① [] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- ② 画像をタッチして拡大する



カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P207)

2 スマートフォンを操作する

- ① [] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- ② 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する

- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てるができます。
- RAW 形式の写真、[AVCHD]、画質サイズが 4K の [MP4] の動画は保存できません。



カメラの画像を簡単に転送する

スマートフォンを本機にタッチすることで、NFC 機能を使って Wi-Fi 接続ができ、表示中の画像を簡単に転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン※にも簡単に転送できます。

※ご利用には、「Image App」をインストールする必要があります。

準備:

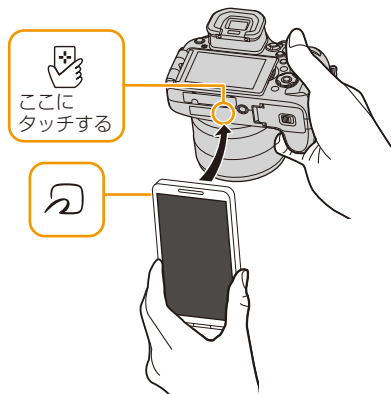
(カメラ側)

- [NFC 動作] を [ON] にする (P246)
- [タッチシェアリング] を [ON] にする (P246)

(スマートフォン側)

- スマートフォンが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi 機能を ON にする
- 「Image App」をインストールしておく (P206)

- 1 カメラで画像を再生する
- 2 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 3 「Image App」の接続画面に [📷] が表示されている状態で、カメラの [📱] にスマートフォンの [🔄] をタッチする
 - 接続完了までに時間がかかる場合があります。
 - タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 2 の画面を表示してください。
 - 複数の画像を転送する場合は、手順 1、3 を繰り返してください。(一括で転送することはできません)



- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。
- 画像の転送中はタッチを続ける必要はありません。カメラを置く場合はレンズを下にして置かないでください。

カメラの画像を SNS へ送信する

1 スマートフォンと接続する (P207)

2 スマートフォンを操作する

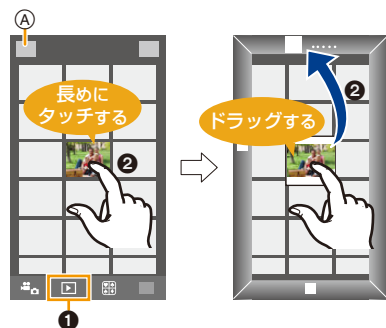
① [] を選ぶ

- 画面左上のアイコン(④)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像を長めにタッチし、ドラッグして SNS などに送信する

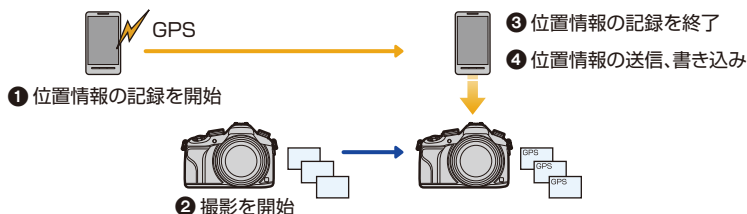
- SNS などの Web サービスに画像が送信されます。

- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



スマートフォン/タブレットから、カメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。



- 撮影時と異なる位置情報が書き込まれるおそれがあります。以下の点にお気を付けください。
 - カメラの [ワールドタイム] の [ホーム] の設定をお住まいの地域に設定してください。
 - スマートフォンで位置情報の記録開始後、カメラの [ワールドタイム] の [ホーム] の設定を変更しないでください。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込みません。

■ 位置情報の記録を開始

スマートフォンを操作する

- 1 [] を選ぶ
- 2 [ジオタギング] を選ぶ
- 3 [] を選ぶ



■ 位置情報の記録を終了

スマートフォンを操作する

- 1 [] を選ぶ
- 2 [ジオタギング] を選ぶ
- 3 [] を選ぶ



■ 位置情報の送信、書き込み

1 スマートフォンと接続する(P207)

2 スマートフォンを操作する

- 1 [] を選ぶ
- 2 [ジオタギング] を選ぶ
- 3 [] を選ぶ
 - 画面のメッセージに従って、操作してください。
 - [記録方式]を[AVCHD]で撮影した動画には、位置情報は書き込まれません。
 - カメラのカードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
 - 送信した位置情報の画像への書き込みは、再生メニューの[位置情報記録]でもできます。



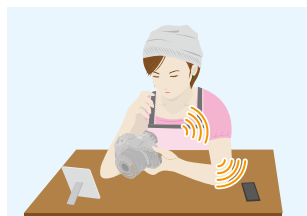
● 使用上のお願い:

- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- スマートフォンで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。
- (iOS向けの「Image App」をお使いの場合)
位置情報を記録中にスマートフォンのホームボタンまたはオン/オフボタンを押すと、位置情報の記録が中止されます。

こんなときは使えません

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近で、スマートフォンの位置情報取得機能が働かない場合があります。(2014年6月現在)

カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD
撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×
画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])	○	×	○*	×

※ [画質設定] のサイズが [4K] の動画で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[243](#) ページをお読みください。

準備:

- 「Image App」をインストールしておく ([P206](#))

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[撮るたびに画像を送る \(\[撮影中に画像を送る\]\) P218](#)

[画像を選んで送る \(\[カメラ内の画像を送る\]\) P219](#)

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P237)

スマートフォン側

[ネットワーク経由] で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 無線アクセスポイントを選び、設定する
- 3 「Image App」を起動する (P206)

[直接接続] の [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続] で接続する場合

- 1 「Image App」を起動する (P206)

[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- 3 「Image App」を起動する (P206)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合 [DISP.] ボタンを押してください。(P244)

4 写真を撮る

- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P237)

スマートフォン側

[ネットワーク経由]で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 無線アクセスポイントを選び、設定する
- 3 「Image App」を起動する(P206)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

- 1 「Image App」を起動する(P206)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- 3 「Image App」を起動する(P206)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P203)

[1枚選択]選択時

- 1 画像を選ぶ
- 2 [MENU/SET]ボタンを押す

[複数選択]選択時

- 1 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
 - 2 [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



テレビに写真を映す

DLNA規格のデジタルメディアレンダラー(DMR)機能に対応したテレビに写真を表示することができます。

- Wi-Fi機能を使って表示する場合は、4Kの出力解像度で出力できません。4Kの出力解像度で出力したい場合は、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。(P248)



準備:

- テレビを DLNA 待ち受けモードにする
- お使いのテレビの説明書をお読みください。

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[TVで見る]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P237)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

4 本機で撮影または写真を再生する

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)

- 本機との接続中に、一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、[効果]と[音設定]を設定していても無効になります。

こんなときは使えません

- 動画は再生できません。
- マルチ再生、カレンダー再生中に本機に表示されている画像はテレビに表示されません。

ワイヤレスでプリントする

対応したプリンターに写真を送り、ワイヤレスでプリントすることができます。



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD
画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	×	×

- お使いの機器によっては、送信できない場合があります。
- 画像の送信方法について詳しくは、[243](#) ページをお読みください。

準備:

- 撮影した写真をワイヤレスでPictBridge(ワイヤレスLAN)*対応のプリンターから印刷することができます。
- ※ DPS over IP 規格準拠
PictBridge(ワイヤレスLAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[プリンター]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P237)

3 接続したいプリンターを選ぶ

4 画像を選んでプリントする

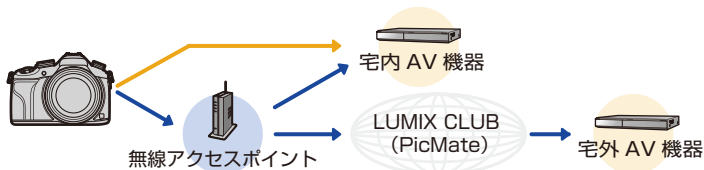
- 画像の選び方は USB ケーブルで接続時と同じになります。詳しくは[258](#) ページをお読みください。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)

こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

AV機器に画像を送る

写真や動画を家の中にあるDLNAに対応したレコーダーなどのAV機器(宅内AV機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人のAV機器(宅外AV機器)にも、LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで送れます。



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×
画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	×	×

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[243](#) ページをお読みください。

準備:

[宅内AV機器]に画像を送る場合、お使いの機器をDLNA待ち受けモードにする

- お使いの機器の説明書をお読みください。

[宅外AV機器]に画像を送る場合、以下が必要になります。

- LUMIX CLUB (PicMate)への登録([P232](#))
- 送信先の宅外AV機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号([P236](#))

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) [P223](#)

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る]) [P223](#)

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[AV 機器]

2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P237)

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

4 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

5 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P203)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[AV 機器]

2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P237)

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

4 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

5 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P203)

[1枚選択]選択時

- 1 画像を選ぶ
- 2 [MENU/SET]ボタンを押す

[複数選択]選択時

- 1 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
 - 2 [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD [※]
撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）	○	○	×	×
画像を選んで送る（[カメラ内の画像を送る]）	○	○	○	○

※ [AVCHD] で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが 4 GB までです。4 GB を超える場合、送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[243 ページ](#)をお読みください。

準備:

（カメラ側）

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。（[P245](#)）

（パソコン側）

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに写真を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。（[P225](#)）

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]） [P225](#)

画像を選んで送る（[カメラ内の画像を送る]） [P226](#)

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合

1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする

- 動作環境やインストールについて、詳しくは [252](#) ページの「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)

対応 OS: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1

例) Windows 7

1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする

2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)

対応 OS: OS X v10.5 ~ v10.9

例) OS X v10.8

1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする

「ファイル」→「情報を見る」

2 フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[PC]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する (P237)

3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピュータ名(Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名)を入力してください。

4 送信するフォルダーを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

5 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[PC]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P237)

3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名(Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名)を入力してください。

4 送信するフォルダーを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

5 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)

[1枚選択]選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押す

[複数選択]選択時

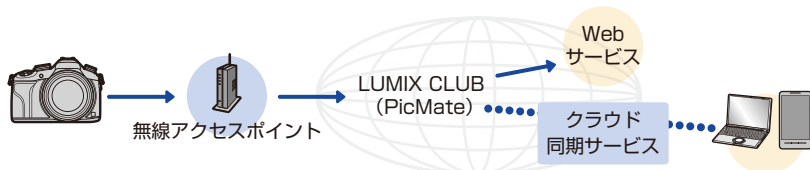
- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
 - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名(Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名)に変更することをお勧めします。

Webサービスを利用する

LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。



準備:

Webサービスに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録(P232)が必要です。

LUMIX CLUB (PicMate)以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWebサービスを登録しておく必要があります。(P228)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

Webサービスに画像を送る P227

クラウド同期サービスに画像を送る P230

Webサービスに画像を送る

■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×
画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	○*	×

※ [画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先の Web サービスをご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、243 ページをお読みください。

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P228

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る]) P229

→ 続く

- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
- 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate) に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスへ画像を送信する場合は、利用するWebサービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」で登録しておく必要があります。

- 対応するWebサービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備: 利用するWebサービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

- 1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
- 2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする
(P232)
- 3 メールアドレスを登録する
- 4 利用するWebサービスを選び、登録する
 - 画面の指示に従って、登録の操作をしてください。

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

- 1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [Web サービス]

- 2 [ネットワーク経由] を選び、接続する (P237)
- 3 接続したいサービスを選ぶ
 - 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P244)
- 4 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。 (P203)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[Web サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する(P237)

3 接続したいサービスを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)

[1枚選択]選択時

- 1 画像を選ぶ
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す

[複数選択]選択時

- 1 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- 2 [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
 - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



クラウド同期サービスに画像を送る

■ [クラウド同期サービス] を利用するには (2014年6月現在)

準備:

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate) への登録(P232)とクラウド同期設定が必要です。

クラウド同期設定は、パソコンの場合はPHOTOfunSTUDIOで、スマートフォンの場合は「Image App」で設定してください。

- 画像の送信先をクラウド同期サービスに設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダに一時保存され、パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダに送信された画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。送信後30日を超えた画像は、自動的に消去されます。また、送信後30日以内でも1000枚を超えた場合は、[クラウド上限枚数動作](P244)の設定により画像が消去される場合があります。
- クラウドフォルダに送信された画像が指定した機器すべてにダウンロードされると、送信後30日以内の画像でもクラウドフォルダから消去される場合があります。

■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×
画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	○*	×

※ [画質設定] のサイズが [4K] の動画で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、243 ページをお読みください。

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P231

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る]) P231

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[クラウド同期サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する(P237)

3 送信設定を確認する

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

4 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→
[クラウド同期サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する(P237)

3 送信設定を確認する

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P244)

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P203)

[1枚選択]選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押す

[複数選択]選択時

- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

LUMIX CLUB (PicMate) を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録(無料)をして、ログインIDを取得します。「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Web サービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWeb サービスや宅外のAV機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して利用します。

- すでにパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得済みの場合は、取得済みのログインIDを本機に入力して同じログインIDを使用することができます。
- 本機とスマートフォン/タブレットのLUMIX CLUB (PicMate)のログインIDを合わせることができます。(P234)

■「LUMIX CLUB (PicMate)」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

新規でログインIDを取得する([新規登録])

1 メニューを設定する

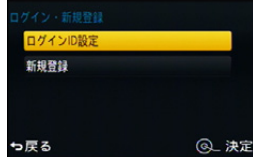
MENU ボタン → **⌂** [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [ログイン・新規登録] を選ぶ



3 [新規登録] を選ぶ

- ネットワークに接続します。[MENU/SET] ボタンを押すと次のページへ進みます。
- すでに本機でログインIDが取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは[はい]を、取得し直さないときは[いいえ]を選んでください。



4 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する

- 詳しくは、238 ページをお読みください。
- 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。

5 LUMIX CLUB (PicMate) の利用規約を読み、[MENU/SET] ボタンを押す

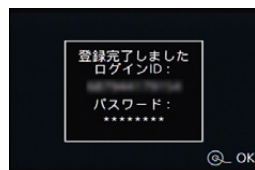
- ▲/▼ ボタンでページを切り換えることができます。
- ズームレバーを T 側に回すと、拡大表示 (2 倍) することができます。
- 拡大したあとズームレバーを W 側に回すと、元の大きさ (1 倍) に戻ります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大部分の位置を移動させることができます。
- [⏏/⏏] ボタンを押すと、サービスユーザー登録せずに中止することができます。

6 パスワードを入力する

- 英数字交じり 8~16 桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。

7 ログイン ID を確認し、[MENU/SET] ボタンを押す

- ログイン ID (数字 12 桁) は自動的に表示されます。
パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- 接続が完了するとメッセージが表示されます。
[MENU/SET] ボタンを押してください。
- ログイン ID とパスワードは必ず控えを取っておいてください。
- 設定後はメニューを終了してください。



取得済みのログイン ID を使う / ログイン ID やパスワードを確認したり変更する ([ログイン ID 設定])

準備: 取得済みのログイン ID を使う場合、ID とパスワードを確認しておく。

パスワードを変更する場合、スマートフォンまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

- 本機では、LUMIX CLUB (PicMate) に登録されているログイン ID やパスワードの変更はできません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → ⏏ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [ログイン・新規登録] を選ぶ

3 [ログイン ID 設定] を選ぶ

- ログイン ID とパスワードが表示されます。
- パスワードは「★」で表示されます。
- ログイン ID の確認のみをする場合は、メニューを終了してください。

➡ 続く

4 変更したい項目を選ぶ

5 ログインIDまたはパスワードを入力する

- 文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- パスワードはスマートフォンまたはパソコンで変更したものを入力してください。異なるパスワードを入力すると、画像をアップロードすることができなくなります。
- 設定後はメニューを終了してください。



本機とスマートフォン/タブレットのログイン ID を合わせる

- 本機とスマートフォンのログインIDを合わせておくと、本機の画像を他の機器や Web サービスに送信するときに便利です。

本機またはスマートフォン/タブレットのどちらか一方がログインIDを取得している場合

1 本機とスマートフォンを接続する(P207)

2 「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる

- 本機とスマートフォンのログイン ID が同じログイン ID になります。
- 本機とスマートフォンの接続後、再生画面に切り換えたときにログイン ID を合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してログイン ID を合わせることもできます。
- [Wi-Fi Direct] で接続時は使用できません。

本機とスマートフォン/タブレットがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合

(スマートフォンのログイン ID に合わせる場合)

本機のログインID とパスワードを、スマートフォンで取得したログイン ID とパスワードに変更する

(本機のログイン ID に合わせる場合)

スマートフォンのログイン ID とパスワードを、本機で取得したログイン ID とパスワードに変更する

「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 「利用規約確認」を選ぶ

- ネットワークに接続し、利用規約が表示されます。確認後はメニューを終了してください。

ログインIDの消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡/廃棄などする場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [消去・退会]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

3 ログインID消去の確認画面で[はい]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

4 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で[はい]を選ぶ

- 退会をしない場合は、[いいえ]を選ぶとログインIDの消去のみが実行されます。実行後はメニューを終了してください。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- ログインIDの消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 実行後はメニューを終了してください。

- ログインIDの変更などは、本機で取得したログインIDに対してのみ行えます。

宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有している AV 機器に画像を送ることができます。

準備:

送信先の AV 機器から「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号(数字16桁)とアクセス番号(数字4桁)を確認しておく。(詳しくは、AV 機器の説明書をお読みください)

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外 AV 機器設定]

2 [追加登録]を選ぶ

3 アドレス番号を入力する

4 アクセス番号を入力する

5 任意の名前を入力する

- 入力できる文字数は最大28文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。
- 設定後はメニューを終了してください。

● 文字の入力方法については、[44](#) ページの「文字を入力する」をお読みください。

登録した AV 機器の情報を変更または消去する

すでに登録している AV 機器の情報を変更または消去することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外 AV 機器設定]

2 編集または消去したい AV 機器を選ぶ

3 [編集] または [消去] を選ぶ

[編集]	すでに登録している AV 機器の情報を変更します。 「宅外 AV 機器を設定する」の 手順3～5 を行う
[消去]	すでに登録している AV 機器の情報を消去します。 ● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

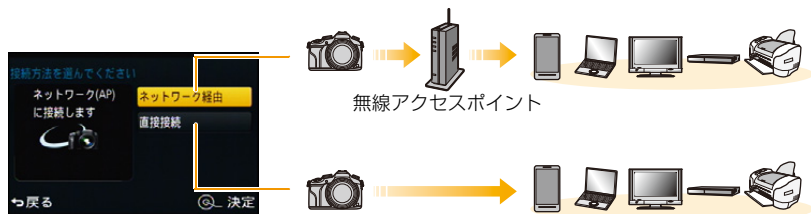
- 設定後はメニューを終了してください。

接続について

Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。

無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。

以前と同じ設定で接続する場合、[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]で接続すると、素早く Wi-Fi 機能が使えます。



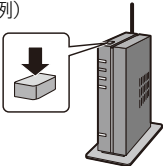
[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P238
[直接接続]	お使いの機器が本機に直接接続します。	P240

自宅で接続する (ネットワーク経由)

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



[WPS (プッシュボタン)]	WPSマークがあり、プッシュボタン方式の Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。 無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 (例) 
[WPS (PIN コード)]	WPS マークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。 1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ 2 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する 3 [MENU/SET] ボタンを押す ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
[一覧から選ぶ]	WPS に対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。 ● 詳しくは 239 ページをお読みください。

WPS に対応しているかわからない場合 ([一覧から選ぶ]で接続する)

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。

■ [マニュアル入力]で接続する場合

1 「WPS に対応しているかわからない場合 ([一覧から選ぶ]で接続する)」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ

2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ

- 文字の入力方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。

3 ネットワークの認証方式を選ぶ

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4 暗号化方式を選ぶ

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK]/[WPA-PSK]	[TKIP]/[AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし]/[WEP]

5 ([暗号化なし]以外選択時)暗号化キーを入力する

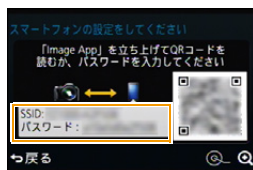
- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P272)、「Q&A 故障かな?と思ったら」(P283)をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

外出先で接続する (直接接続)

お使いの機器との接続方法を選択できます。
お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。



[Wi-Fi Direct]	1 機器を Wi-Fi Direct™ モードにする 2 [Wi-Fi Direct] を選ぶ 3 接続する機器を選ぶ ● 詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
[WPS 接続]	[WPS (プッシュボタン)] 1 [WPS (プッシュボタン)] を選ぶ 2 機器を WPS モードにする ● 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	[WPS (PIN コード)] 1 [WPS (PIN コード)] を選ぶ 2 機器の PIN コードを本機に入力する
[手動接続]	機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する ● 接続先が[スマートフォン]の場合は、スマートフォンでQRコードを読み取って接続することもできます。 (P207、209) ● カメラの[MENU/SET]ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試しいください。



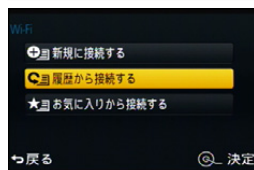
以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する])

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す

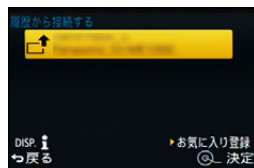


2 [履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] を選ぶ



[履歴から接続する]	以前と同じ設定で接続します。
[お気に入りから接続する]	お気に入り登録された設定で接続します。

3 接続したい項目を選ぶ



履歴をお気に入り登録する

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 [履歴から接続する] を選ぶ
- 3 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す
- 4 登録名を入力する

- 文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 [お気に入りから接続する] を選ぶ
- 3 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す
- 4 項目を選ぶ

[お気に入りを消す]	—
[お気に入りの順番を変える]	移動先を選ぶ
[登録名を変える]	● 文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。



よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておく

履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。[\(P241\)](#)



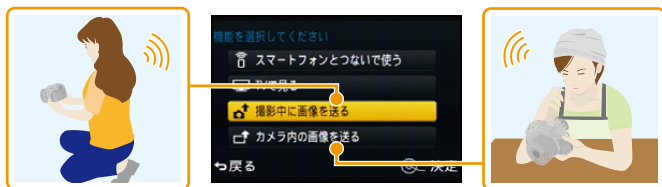
履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、[履歴から接続する] や [お気に入りから接続する] で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなることがあります。接続できない場合は、[新規に接続する] で接続し直してください。

画像の送信設定について

画像を送信する場合、[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



■ 本機で送信できる画像について

送信先	JPEG	RAW	MP4※ ¹	AVCHD※ ^{1,2}
[スマートフォン]	○	×	○※ ³	×
[PC]	○	○	○	○
[クラウド同期サービス]	○	×	○※ ³	×
[Web サービス]	○	×	○※ ³	×
[AV機器]	○	×	×	×
[プリンター]※ ¹	○	×	×	×

※¹ [撮影中に画像を送る]時は送信できません。

※² [AVCHD]で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが4 GBまでです。4 GBを超える場合、送信できません。

※³ [画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影された動画を除く

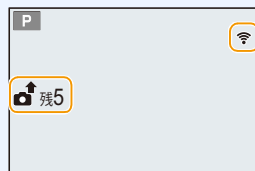
- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書、または Web サービスをご確認ください。

撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。

- [撮影中に画像を送る]で接続中は、撮影画面に[Wi-Fi]が表示され、ファイルを送信中は[📶]が表示されます。
- 送信完了前に電源を切ったり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。



🔒 こんなときは使えません

- 動画は送信できません。

カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送信できます。

- 再生メニューの[お気に入り]または[プリント設定]の設定内容は送信されません。



こんなときは使えません

- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに [DISP.] ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

[送信サイズ]	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像]、[自動]※1、[変更] ●[自動] の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。 ●[変更] の画像サイズは [M]、[S] または [VGA] を選択できます。 画像の横縦比は変わりません。
[送信ファイル形式]※2	[JPG]、[RAW+JPG]、[RAW]
[位置情報データ消去]※3	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 [ON]: 位置情報を消去して送信します。 [OFF]: 位置情報を消去せずに送信します。 ●位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。(本機の画像から位置情報は消去されません)
[クラウド上限枚数動作]※4	クラウドフォルダの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON]: 画像を送信しません。 [OFF]: 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。

※1 送信先が [Web サービス] の場合のみ設定できます。

※2 送信先が [PC] の場合のみ設定できます。

※3 送信先が [クラウド同期サービス]、[Web サービス] または [AV 機器] の [宅外 AV 機器] の場合のみ設定できます。

※4 送信先が [クラウド同期サービス] の場合のみ設定できます。

Wi-Fi 設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。

Wi-Fi接続中は 設定の変更はできません。

メニューを設定する

MENU ボタン→  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → 設定したい項目

PicMate 設定

「LUMIX CLUB
(PicMate)」のログインID
の取得や変更を行います。

- 詳しくは、[232](#) ページをお読みください。

PC接続設定

ワークグループを設定
することができます。

- パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。
(お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)
- [変更する]:** 接続するパソコンのワークグループを入力してください。
設定後はメニューを終了してください。
- [標準に戻す]:** お買い上げ時の状態に戻します。
確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- 文字入力の方法については、[44](#) ページの「文字を入力する」をお読みください。
- パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。

機器名称

本機の名前を変更
することができます。

- [DISP.] ボタンを押す**
- 任意の機器名称を入力する**

- 文字入力の方法については、[44](#) ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 入力できる文字数は最大32文字です。

宅外AV 機器設定

「LUMIX CLUB
(PicMate)」を経由して、
親戚や知人が所有している
AV機器に画像を送る
ことができます。

- 詳しくは、[236](#) ページをお読みください。

 NFC動作 NFC機能の設定をします。	[ON]: NFC 機能が働きます。 [OFF]
 タッチシェアリング NFC機能で接続したときの動作を設定します。	[ON]: 1 枚再生時に NFC機能を使って Wi-Fi 接続すると、画像(1 枚)を転送できます。 [OFF]
 Wi-Fi パスワード 誤操作や第三者による Wi-Fi機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。	パスワードを設定しておく、Wi-Fi機能使用時、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。 [設定]: 数字4桁で任意のパスワードを入力してください。 [解除] - 文字入力の方法については、44 ページの「文字を入力する」をお読みください。 - パスワードは必ず控えておいてください。忘れてしまった場合、セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。([PicMate 設定]は除く)
ネットワークアドレス表示 本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。	「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87)
認証情報 電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。	—

4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■ テレビで見る

本機と4K動画対応テレビを接続して、[画質設定]のサイズが[4K]の動画で記録した動画を再生すると、きめ細かい4K動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。



準備: サイズが [4K] の場合、[再生時 HDMI出力解像度] (P41) を[AUTO]または [4K]に設定する。

HDMIマイクロケーブルで本機と4K動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P248)

- [ピエラリンク]を[ON]に設定していてピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切替が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、249ページをお読みください。
- [記録方式]が[MP4]で[画質設定]のサイズが[4K]の動画は、4K動画対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの説明書もお読みください。



■ パソコンで見る

[画質設定]のサイズが[4K]の動画で記録した動画をパソコンで再生する場合は、DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。



4K 動画を残す

■ パソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。詳しくは、251ページをお読みください。

■ DVDやCDに残す

[画質設定]のサイズが[4K]の動画は、当社製レコーダーでブルーレイディスクやDVDへのダビングはできません。(2014年6月現在)

DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと、サイズの小さい動画に変換したり、DVDやCDにコピーしたりできます。

- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。
準備：本機の電源を切り、テレビの電源も切っておく。

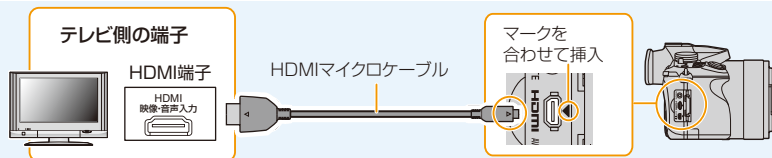
- お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。



1 本機とテレビをつなぐ

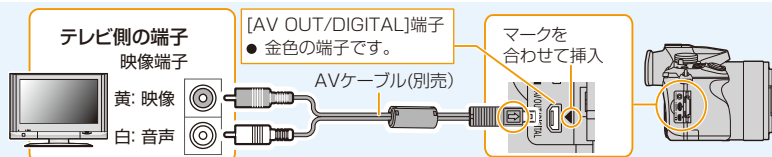
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMI マイクロケーブルで接続する場合



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- [再生時 HDMI出力解像度] (P41)を確認してください。
- 24p動画を再生時は[再生時 HDMI出力解像度]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 音声はステレオで再生されます。
- 本機の画面に画像は表示されません。
- [ピエラリンク]が[ON]のときは、本機のボタンを使つての操作は制限されます。

AV ケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。
- 品番: DMW-AVC1
- [テレビ画面タイプ] (P41)を確認してください。
- 音声はモノラルで再生されます。
- AVケーブル接続時はファインダー表示はできません。

→ 続く

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [ビエラリンク] (P42) を [ON] に設定して、HDMI マイクロケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P249)

- [画像横縦比] によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AV ケーブル (別売) と HDMI マイクロケーブルを同時に接続しているときは、HDMI マイクロケーブルからの出力が優先されます。
- USB 接続ケーブル (付属) と HDMI マイクロケーブルを同時に接続しているときは、USB 接続ケーブル (付属) での接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- 本機のスピーカーからは音声は出ません。
- テレビの説明書もお読みください。



SD カードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは

- 本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク (HDMI) は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしていません。ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

 **続く**

準備: [ビエラリンク] (P42) を [ON] に設定する。

- 1 HDMIマイクロケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ (P248)
- 2 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す
- 3 テレビのリモコンで操作する
 - 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機のボタンを使つての操作は制限されます。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶] ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、295ページをご確認ください。
- お使いのテレビがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、テレビの取扱説明書をお読みください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- ビエラリンク動作時、本機の[再生時 HDMI出力解像度]は自動的に判別されます。

写真や動画をパソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ 使用できるパソコン

マスタストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
- Mac の場合: OS X v10.5～v10.9



AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずDVD(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。
ただし、画質設定によっては、取り込みできません。
(iMovieの詳細は、Apple にお問い合わせください)

付属のソフトウェアを使う

付属のDVD には、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.5 PE (Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio 4.1 SE (Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1、 Mac OS X v10.5/v10.6/v10.7/v10.8/v10.9)

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト
<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版 (Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Web サイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。

使い方 Web サイト: <http://loilo.tv/product/20>

■ ソフトウェアをインストールする

- DVDを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) Windows® 8.1(32 bit/64 bit)	
CPU	Windows® XP	Pentium® III 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® III 1 GHz以上
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio」の動作環境は、[252](#) ページのサポートサイトをお読みください。

2 DVD を入れる

3 インストールメニューが表示されたら、[アプリケーション]をクリックする

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1 ではDVDを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[SFM○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Mac では、SILKYPIXを手動でインストールすることができます。

- ① DVD を入れる
- ② DVD の「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

こんなときは使えません

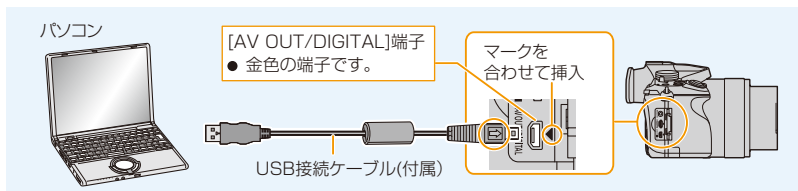
- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

■ パソコンに画像を取り込む

準備: お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売: DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで[PC]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード](P40)を[PC]に設定しておく、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージを閉じ、安全にUSB接続ケーブルを取り外し、[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

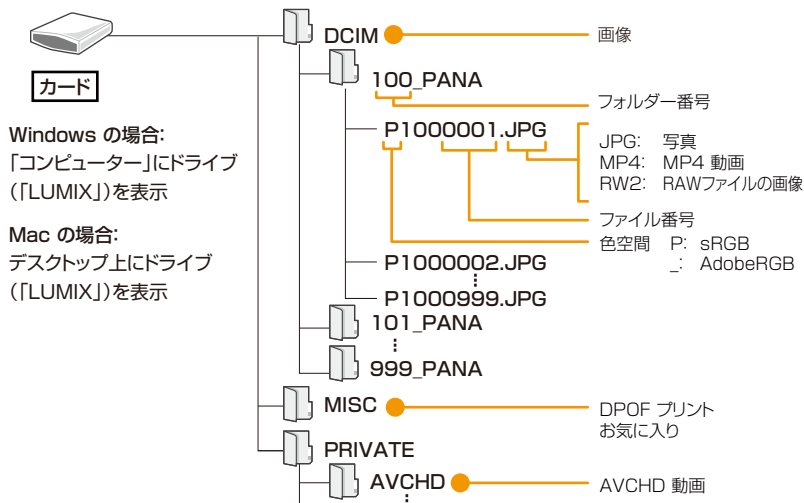
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10)(P265)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。
USB接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

●本機のカードの中(フォルダー構造)は以下になります。



●以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。

- セットアップメニューの[番号リセット](P43)実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合(他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

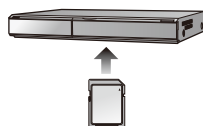
■ PTPモードで接続する

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。

- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで、動画は再生できません。

写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、AVCHD、MP4)によって他の機器への取り込み方法が異なります。



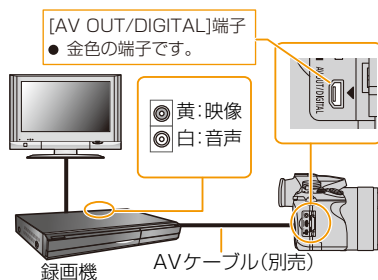
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ 対応機器以外にダビングする

本機をAVケーブル(別売)で対応機器以外のレコーダーやビデオなどの録画機につなぎ、本機で再生した映像をダビングします。対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

- 1 本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する
- 2 本機で再生を始める
- 3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。



- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[テレビ画面タイプ](P41)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

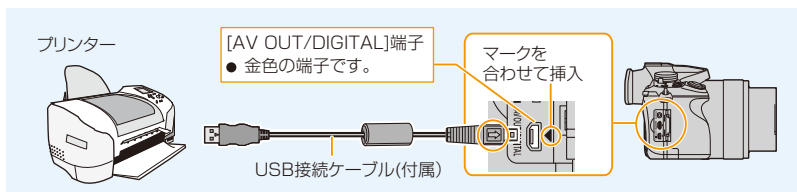
- グループ画像は、グループ単位ではなく 1 枚ずつ表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。

あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売: DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10) (P265) を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外の場合は、USB接続ケーブルを抜いてください。
- [] (ケーブル切断禁止アイコン) 表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。(プリンターによって表示されない場合があります)
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。



こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

画像を選んで 1 枚ずつプリントする

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - プリント開始前に設定できる項目については [259](#) ページをお読みください。
 - プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。



複数の画像を選んでプリントする

- 1 ▲ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す。 (もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定 (DPOF)	[プリント設定] で設定 (P197) された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り] 設定 (P196) された画像のみをプリントします。

- 3 ▲ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - プリント確認画面が表示された場合は、[はい] を選んでプリントしてください。
 - プリント開始前に設定できる項目については [259](#) ページをお読みください。
 - プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機用の紙サイズ、レイアウト設定を[]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

■ 日付プリント

ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を[1:1]に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。

■ プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

■ 用紙サイズ

	プリンターの設定が優先されます。	A3	297 mm×420 mm
L/3.5"×5"	89 mm×127 mm	10×15cm	100 mm×150 mm
2L/5"×7"	127 mm×178 mm	4"×6"	101.6 mm×152.4 mm
はがき	100 mm×148 mm	8"×10"	203.2 mm×254 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm	レター	216 mm×279.4 mm
A4	210 mm×297 mm	カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

■ レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

	プリンターの設定が優先されます。		2面印刷
	1面縁なし印刷		4面印刷
	1面縁あり印刷		

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1 枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1 枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4枚]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1 枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1 枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4枚]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に▶ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。(P197)

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLC12
バッテリーチャージャー※ ¹	DMW-BTC6
ACアダプター※ ²	DMW-AC10
DCカプラー※ ²	DMW-DCC8
フラッシュライト	DMW-FL360L、DMW-FL580L
シャッターリモコン	DMW-RSL1
LED ビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
MCプロテクター	DMW-LMCH62
NDフィルター	DMW-LND62
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL62
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
AV ケーブル	DMW-AVC1

※¹ 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き(P266)

※² DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

●別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

記載の品番は2014年6月現在のものです。変更されることがあります。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけ
るものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご
覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

外部フラッシュ(別売)

フラッシュライト(別売:DMW-FL360L、DMW-FL580L)を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

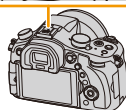
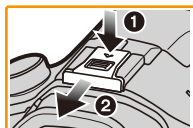
準備:本機の電源を切り、内蔵フラッシュを閉じてください。

ホットシューカバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す

- ご使用にならないときは、必ずホットシューカバーを取り付けてください。
- ホットシューカバーの紛失にお気をつけください。(P13)



■ 専用フラッシュライト(別売:DMW-FL360L)を使う場合

- 1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる
- 2 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

- 3 ▲/▼ ボタンで[フラッシュモード]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。
- ⚡: 外部フラッシュ強制発光
- ⚡S: 外部フラッシュスローシンクロ
- ⊖: 外部フラッシュ発光禁止
- ワイヤレスフラッシュとの通信発光もできません。



本体との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。)

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものが 있습니다。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[>]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P105)
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- ワイヤレスフラッシュの設定については 166 ページをお読みください。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B(バルブ)撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。



- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モード(P96)に設定してください。シャッターリモコンで動画撮影開始/終了をすることができます。
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。



こんなときは使えません

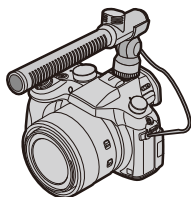
- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
 - スリープモードを解除するとき

外部マイク(別売)

ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。

ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)を使用すると、ガン(鋭い指向性)收音と広い範囲のステレオ收音を切り換えて收音することができます。

準備: 内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源を切ってください。本体に取り付けられているホットシューカバーを取り外してください。(P262)



■ ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)の收音する範囲を設定する

- 1 本機に専用ステレオガンマイクロホンを取り付け、本機の電源を入れる
- 2 動画撮影メニューから[専用マイク設定]を選ぶ(P31)
 - ステレオガンマイクロホン接続中にのみメニュー項目が表示されます。
- 3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

ステレオ	広い範囲の音をステレオで收音することができます。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音することができます。

- 外部マイク接続中は、画面に[🎙️]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[マイクレベル表示](P177)が自動的に[ON]になり、画面にマイクレベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、脱落のおそれがありますので、外部マイクのみを持たないようにしてください。
- 動画撮影メニューの[風音低減]を設定すると、風雑音を効果的に低減することができます。
- 外部マイク装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ACアダプター(別売)使用時にノイズなどが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を装着時は、[専用マイク設定]は[ステレオ]に固定されます。
- ズーム操作などの動作音が記録される場合は、シューアダプターの使用をお勧めします。
- 詳しくは、外部マイクの説明書をお読みください。

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)を接続し、電源コンセントにつなぐと、本機をパソコンやプリンターに接続するときに、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。ACアダプターを使用するには、DCカプラー(別売:DMW-DCC8)が必要です。

- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

フィルター(別売)

MCプロテクターは、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

NDフィルターは、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。

PLフィルターは、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

●電源電圧(100 V~240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。

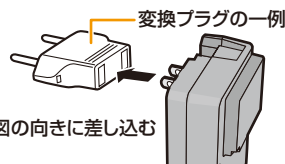
●国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。

●ご使用にならないときは、チャージャーと変換プラグを電源コンセントから外してください。

●市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■ 変換プラグの付け方



■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A		
ヨーロッパ							
イギリス	B,F,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE
ギリシャ	A,B,B3,C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE				
スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE
ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)				
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE
アジア							
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)
大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O				
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF,C(C2),SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)
マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)				
オセアニア							
オーストラリア	O	グアム島	A	サイパン島	A	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A,B,C(C2),O				
中南米							
アルゼンチン	B,F,C(C2),SE	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE		
中東・アフリカ							
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	B,F,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE
南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE				
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
コンセント形状	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロッパタイプ		オーストラリアンタイプ
プラグ形状	不要です						



時計を海外旅行先の時刻に合わせる

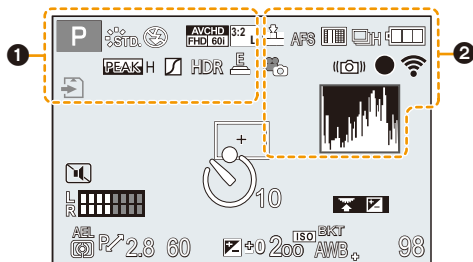
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

●画面はモニターで表示画面を [] (モニタースタイル) に設定時の例です。

■ 撮影時



1

IA P A S M MP P SCN POP	撮影モード(P51)
C 1	カスタムセット(P98)
STD. VIVID NAT MONO SCNY PORT CUST CNED CNEV	フォトスタイル(P100)
	クリエイティブコントロール調整表示(P87)
	フラッシュモード(P162)
	フラッシュ設定(P164、166)
	記録方式/画質設定(P169)
	記録画素数/画像横縦比(P107)
	カード(記録時のみ表示)(P26)
XXmXXs	記録経過時間*1(P171)
	同時記録表示(P174)
	ファインダー/モニター自動切換(P46)
	ピーキング(P125)
	ハイライトシャドウ(P102)
	HDR(P110)
	多重露出(P147)
	電子シャッター(P134)

2

RAW	クオリティ(P108)
120fps	ハイスピード動画(P97)
AFS AFC MF	フォーカスモード(P113)
	オートフォーカスモード(P112)
	個人認証(P149)
AFL	AFロック(P129)
	連写(P136)
	オートブラケット(P138)
	セルフタイマー(P140)
	インターバル撮影(P141)
	コマ撮りアニメ(P144)
	バッテリー残量(P22)
	写真撮影(写真優先)(P174)
	輝度レベル設定(P176)
AF	マクロ撮影(P128)
	動画傾き補正(P176)
	手ブレ補正(P155)
	手ブレ警告(P155)
	記録動作(赤点滅)/フォーカス(緑点灯)(P48)
	フォーカス(低照度時)(P48)
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示(P54)

3

名前 ^{*2} (P152)
トラベル経過日数 ^{*2} (P38)
月齢/年齢 ^{*2} (P152)
旅行先 ^{*2} (P38)
現在日時/旅行先設定 ^{*2} : (P37)
AFエリア(P48、119)
スポット測光ターゲット(P133)
セルフタイマー ^{*3} (P140)
サイレントモード(P148)
外部マイク(P264)
ズームマイク(P178)
マイクレベル表示(P177)
マイクレベルリミッター(OFF)(P177)
AEロック(P129)
測光モード(P133)
プログラムシフト(P68)
2.8 絞り値(P48)
60 シャッタースピード(P48)
露出補正值(P130)
明るさ(P66)
マニュアル露出アシスト(P72)
200 ISO感度(P131)

4

ダイヤル操作ガイド(P18)
ホワイトバランスブラケット(P106)
ホワイトバランス微調整(P105)
ホワイトバランス(P103)
色合い(P66)
98 記録可能枚数 ^{*4} (P27)
残XXmXXs 記録可能時間 ^{*1,4} (P28)

5

露出メーター(P67)
ズーム表示(P159)

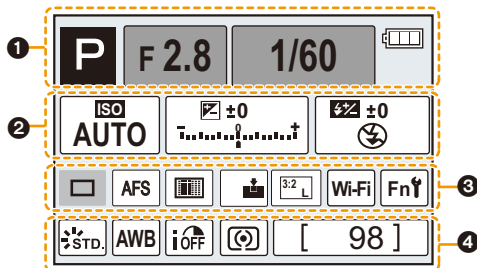
^{*1} m は「minute(分)」, s は「second(秒)」を省略した表示です。

^{*2} 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

^{*3} カウントダウン中に表示されます。

^{*4} カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

モニター撮影情報画面



①

IA P A S M	撮影モード(P51)
F2.8	絞り値(P48)
1/60	シャッタースピード(P48)
BATT	バッテリー残量(P22)

②

ISO 200	ISO感度(P131)
±0	露出補正值(P130)
	明るさ(P66)
	マニュアル露出アシスト(P72)
Flash	フラッシュモード(P162)
Flash	フラッシュ設定(P164、166)

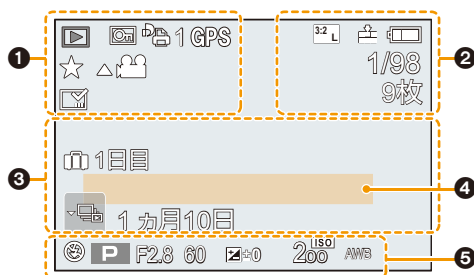
③

Single	単写(P135)
SH H LV M	連写(P136)
BKT 3-1/3	オートブラケット(P138)
10 10 2	セルフタイマー(P140)
Interval	インターバル撮影(P141)
Anim	コマ撮りアニメ(P144)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P113、123)
AF-ON	オートフォーカスモード(P112)
RAW	クオリティ(P108)
3:2 L	記録画素数/画像横縦比(P107)
Wi-Fi	Wi-Fi(P203)
Fn	ファンクションボタン設定(P35)

④

STD. VIVID NAT	フォトスタイル(P100)
MONO SCNY PORT	
CUST CNED CNEV	
AWB	ホワイトバランス(P103)
WB	
iO	iD レンジコントロール(P109)
Meas	測光モード(P133)
98	記録可能枚数(P27)
Res XXmXXs	記録可能時間(P28)

■ 再生時



	再生モード(P183)
	プロテクト(P199)
	プリント枚数(P197)
	位置情報(P184)
	お気に入り表示(P196)
	ケーブル切断禁止アイコン(P257)
	動画再生(P58)
	パノラマ再生(P85)
	連写グループ連続再生(P179)
	インターバル撮影グループ連続再生(P179)
	コマ撮りグループ連続再生(P179)
	文字焼き込み済み表示(P189)
XXmXXs	再生経過時間*1(P58)

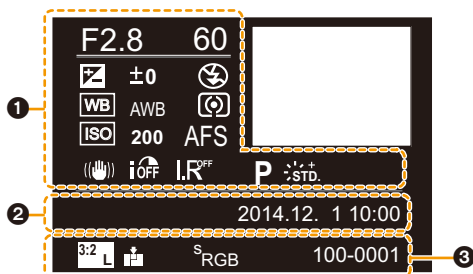
	記録画素数/画像横縦比(P107)
	記録方式/画質設定(P169)
	クオリティ(P108)
120fps	ハイスピード動画(P97)
	輝度レベル設定(P176)
	バッテリー残量(P22)
1/98	画像番号/トータル枚数
9枚	連写枚数
XXmXXs	動画記録時間*1(P58)

	情報取得中アイコン(P273)
	トラベル経過日数(P38)
	連写グループ表示(P179)
	インターバル撮影グループ表示(P179)
	コマ撮りグループ表示(P179)
	サイレントモード(P148)
1 ヵ月10日	月齢/年齢(P152)

4	名前*2(P151、152)
	旅行先*2(P38)
	タイトル*2(P188)

5	撮影情報*3
---	--------

詳細情報表示



1

撮影情報	
iOFF	iDレンジコントロール※ ³ (P109)
HDR ON	HDR ※ ⁴ (P110)
L.R ^{OFF}	超解像(P109)

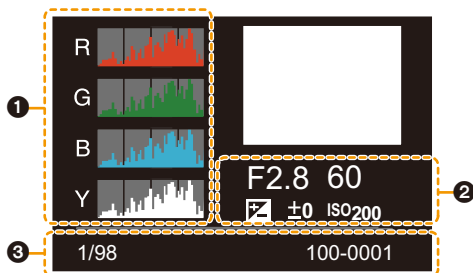
2

撮影日時/ワールドタイム(P37)

3

3:2 L	記録画素数/画像横縦比(P107)
RAW	クオリティ(P108)
AVCHD (FHD 60)	記録方式/画質設定(P169)
120fps	ハイスピード動画(P97)
輝度レベル設定	輝度レベル設定(P176)
S RGB	色空間※ ⁴ (P111)
100-0001	フォルダー・ファイル番号※ ³ (P255)

ヒストグラム表示



1

ヒストグラム(P59)

2

撮影情報※ ³

3

1/98	画像番号/トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号※ ³ (P255)

※1 m は「minute(分)」, s は「second(秒)」を省略した表示です。

※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん/ペット)、[名前] (個人認証) の優先順位で表示されます。

※3 [AVCHD] で撮影した動画には表示されません。

※4 撮影した動画には表示されません。

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

この画像はプロテクトされています

画像のプロテクトを解除してから(P199)消去をしてください。

消去できない画像があります/この画像は消去できません

DCF規格に準拠していない画像は消去できません。
パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)してください。

この画像には設定できません

DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]などができません。

メモリーカードエラー/フォーマットしますか？

本機では使用できないフォーマットです。

- 別のカードを入れてお試しください。
- パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)し直してください。データは消去されます。

電源を入れ直してください/システムエラー

レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。(P26)

カードを入れ直してください/別のカードでお試してください

- カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。
- カードが破壊されている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません。

- パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画の[記録方式]や[画質設定]によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、26 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P27)することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

フォルダーを作成できません

使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。

パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P27)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P43)

16:9TV用で出力します/4:3TV用で出力します

- [テレビ画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P41)
- USB接続ケーブルが本機のみ接続された場合も、メッセージが表示されます。
USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P254、257)

情報取得中のため、編集操作はできません

画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン[]、[]が長時間表示されることがあります。一部の再生メニューの使用はできません。

- 情報取得中に電源を切った場合、それまでに情報を取得できた画像のみがグループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
 - － 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P239)
 - － 無線アクセスポイントの電源が入っていません。
 - － 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- 接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信できる画像がありません

送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に 표시됩니다。送信する画像のファイル形式を確認してください。(P217、221、222、224、227、230)

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。しばらくしてから再度実行してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続し直してください。

クラウドフォルダに画像をアップロードするには、他に PC やスマートフォン等のダウンロードできる機器をクラウド同期設定する必要があります。

- クラウドフォルダから画像をダウンロードする機器が登録されていません。
- クラウド同期設定は、パソコンの場合は PHOTOfunSTUDIO で、スマートフォン/タブレットの場合は「Image App」で設定してください。クラウド同期サービスについては 230 ページをご参照ください。

通信できませんでした

- 接続先のスマートフォンについて、以下をご確認ください。
 - － スマートフォンが動作していません。
 - － スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
 - － スマートフォンの保存容量に空きがありません。

ログインできませんでした。ID とパスワードを確認ください。

「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインID、パスワードが間違っています。入力し直してください。ログインID、パスワードを忘れてしまった場合は、「LUMIX CLUB (PicMate)」のホームページのログイン画面に案内があります。

**送信先の制限のため、送信されないファイルがあります /
送信完了しました。送信先の制限により、未送信のファイルがあります。**

- 送信する画像のファイル形式を確認してください。(P217、221、222、224、227、230)
- 動画を送信する場合、ファイルサイズが大きいと送信できない場合があります。[動画分割]で動画を分割してください。(P191)

選択できません。PicMateのウェブページでログイン設定してください。

- スマートフォン/タブレットやパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、送信先 Web サービスのログイン処理を行ってください。

写真専用と動画専用のウェブサービスは、同時に選択できません

- 写真専用の Web サービスと、動画専用の Web サービスを同時に選択することはできません。どちらかの選択を解除してください。

IP アドレスが取得できません。アクセスポイントのIPアドレス設定をDHCPにしてください。

- 接続する無線アクセスポイントの IP アドレスの DHCP 設定を有効にしてください。

サーバと接続できませんでした

- ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。

メニュー一覧

📷 撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。	P100
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。	P107
記録画素数	記録画素数を設定します。	P107
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。	P108
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。	P113
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。	P133
連写速度	連写時の連写速度を設定します。	P136
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。	P138
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。	P140
インターバル/ コマ撮り撮影	インターバル撮影とコマ撮りアニメの撮影時の設定を行います。	P141、 P144
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。	P102
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。	P109
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。	P109
i手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。	P64
iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。	P64
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。	P110
多重露出	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。	P147
パノラマ設定	パノラマ撮影の撮影方向と画像効果を設定します。	P83

シャッター方式	メカシャッターと電子シャッターを使い分けて撮影することができます。	P134
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。	P162
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。	P168
ISO感度上限設定	ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。	P132
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を 1/3 EVごと、または 1 EVごとの設定値に変更します。	P132
拡張 ISO 感度	設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。	P132
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。	P111
iA ズーム	画像の劣化を抑えつつ、ズーム倍率を上げることができます。	P158
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。	P159
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。	P111
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。	P155
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。	P149
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。	P152

動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

－詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。	P169
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。	P169
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。	P96
ハイスピード動画	超高速撮影を行うことにより、スローモーション動画を撮影することができます。	P97
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。	P174
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。	P170
動画傾き補正	動画撮影時のカメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平にします。	P176
輝度レベル設定	動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。	P176
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。	P176
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。	P177
マイクレベル設定	音声入力レベルを 19 段階に調整します。	P177
専用マイク設定	ステレオガンマイクrohホン(別売)接続時の收音方法を設定します。	P264
マイクレベルリミッター	音声入力レベルを自動的に調整します。	P177
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。	P178
ズームマイク	ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。	P178

fc カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。	P98
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。	P148
AF/AEロック切換	AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。	P129
AF/AEロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。	P129
シャッター半押しAF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。	P121
シャッター半押しレリーズ	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。	P121
クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。	P121
アイセンサーAF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。	P47
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。	P120
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。	P122
ダイレクトフォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。	P120、P126
フォーカス/レリーズ優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。	P122
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手でピントを合わせることができます。	P122
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。	P124
MFガイド	手でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。	P125
ピーキング	手でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。	P125
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	P54

ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。	P55
センターマーカー表示	撮影画面の中心を示す [+] を表示します。	P153
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起きている部分を黒と白の点滅で表示します。	P59
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。	P153
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。	P154
常時プレビュー (M モード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。	P72
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。	P67
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。	P18
LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。	P53
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を設定します。	P53
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を表示します。	P55
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。	P171
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。	P28
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	P49
ファンクション Fn ボタン設定	特定のボタンに、よく使う機能を割り当てることができます。	P35
ズームレバー	ズームレバーのズーム動作を設定します。	P159
マニュアルリング (ズーム)	マニュアルリングのズーム動作を設定します。	P159
ズーム位置メモリー	電源を切ったときのズーム位置を記憶します。	P159
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。	P33
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。	P171
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定します。	P47
メニューガイド	モードダイヤルを  /  に切り換えたときに表示される画面を設定します。	P52

🔧 セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。	P29
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。	P37
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。	P38
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。	P245
電子音	電子音や電子シャッター音の音量を設定します。	P38
ライブビューモード	撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。	P39
モニター調整/LVF調整	モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	P39
モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。	P39
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。	P40
USBモード	USB 接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。	P40
テレビ接続設定	テレビなどとの接続のしかたを設定します。	P41
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	P42
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。	P32
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。	P42
バージョン表示	本体のファームウェアバージョンを確認できます。	P42
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源切時に露出補正量をリセットすることができます。	P42
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。	P43
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P43
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)	P43
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。	P27

再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。	P181
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。	P183
位置情報記録	スマートフォンから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。	P184
RAW 現像	RAW 形式で撮影した写真をカメラで JPEG 形式で現像できます。	P185
タイトル入力	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。	P188
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。	P189
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。	P191
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。	P192
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りグループから動画を作成します。	P192
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。	P193
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。	P194
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。	P195
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。	P195
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。	P196
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。	P197
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。	P199
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。	P200
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。	P200
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。	P201

Q & A 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2、3、4** の順にお試しください。

本項目(Q&A)の内容を試す

1

「バッテリー、電源について」	P284
「撮影について」	P284
「動画について」	P286
「フラッシュについて」	P288
「モニター/ ファインダーについて」	P288
「再生について」	P289
「Wi-Fi 機能について」	P291
「テレビ、パソコン、プリンターについて」	P295
「その他」	P296



2

セットアップメニューの[設定リセット]を行う(P43)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [設定リセット]
● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



3

パナソニックのサポートサイトで確認する

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

● 最新のサポート情報などに関する情報を掲載しています。



4

ご相談窓口にお問い合わせる

付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

バッテリー、電源について

電源を入れても動作しない。またはすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。
→ 充電してください。
- 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
→ [エコモード] (P40) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

電源が勝手に切れる。

- ビエラリンク (HDMI) の連動操作が働いていませんか？
→ ビエラリンク (HDMI) を使用しない場合は、本機の [비에라링크] を [OFF] に設定してください。 (P42)

カード / バッテリー扉が閉じない。

- バッテリーを確実に奥まで挿入してください。 (P25)

バッテリーの消耗が早い。

- 長時間 Wi-Fi 接続を行っていませんか？ Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。
→ [エコモード] (P40) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影について

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- ピントは合っていますか？
→ [フォーカス/リリース優先] が [フォーカス] になっていませんか？ (P122)
ピントが合うまで撮影できません。

撮影した画像が白っぽい。

- レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなる場合があります。
→ 汚れたときは、電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。

- 露出が正しく補正されているか確認してください。 (P130)
- 不適切な状態で AE ロック (P129) がかかっていますか？

1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- 以下の設定を解除してください。
 - 連写 / オートブラケット / セルフタイマーの [📷] (P135)
 - ホワイトバランスブラケット (P106)

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。(P49)
- 手ブレや被写体ブレしています。(P155)
- [フォーカス/リリース優先] が [リリース] になっていませんか？ (P122)
- [シャッター半押し AF] が [OFF] になっていませんか？ (P121)
- 不適切な状態で AF ロック (P129) がかかっていますか？

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。
 - 本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P45)
 - 遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー (P140) を使って撮影してください。

ホワイトバランスブラケット撮影ができない。

- カードのメモリー残量はありますか？

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
 - 明るい場所で撮影してください。
 - ISO 感度を低くしてください。(P131)
 - [フォトスタイル] の [ノイズリダクション] をプラス方向にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P101)
 - [長秒ノイズ除去] を [ON] に設定してください。(P111)
- [記録画素数] (P107) または [クオリティ] (P108) を低く設定していませんか？
- [デジタルズーム] を設定していませんか？ (P159)

蛍光灯や LED などの照明器具下でちらつきや横しまが出る。

- これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで撮影していませんか？ (P134)
 - 電子シャッター使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。



撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

被写体をロックできない。(動体追尾できない)

- 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。(P114)

操作音が小さい。

- スピーカーを指で塞いでいませんか? (P14)

動画について

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画の[記録方式]や[画質設定]によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、26 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- データ書き込み速度が低下したカードは、途中で動画撮影が終了する場合があります。
→ 何度も記録・消去を繰り返したカード、パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードは、バックアップをとり本機でフォーマット(P27)することをお勧めします。

動画撮影中に画面が暗くなる。

- 動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波(電波塔、高圧線など)により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。被写体がゆがんで見える。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがあります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカー軽減](P176)を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。クリエイティブ動画モード(P96)でも手動でシャッタースピードを設定できます。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 静かな環境下での撮影では、絞り、フォーカスやズームの動作音が動画に録音されることがあります。フォーカス動作は[AF連続動作](P170)で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画の最後に操作音が記録される。

- 動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 再生メニューの[動画分割](P191)で動画の終わりの部分を分割してください。動画分割は最後のあたりでは分割できない場合があります。3秒ほど長めに撮影してください。
 - クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン(別売)を使って撮影してください。(P263)

フラッシュについて

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じていませんか？フラッシュを開いてください。(P160)
- 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P134)
→ [シャッター方式] を [AUTO] または [メカシャッター] に設定してください。
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P148)
→ [サイレントモード] を [OFF] に設定してください。

フラッシュが2回発光する。

- フラッシュは2回発光します。[フラッシュ設定] の [発光モード] を [マニュアル] に設定時を除く) 特に赤目軽減 (P162) に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

モニター/ファインダーについて

電源 [ON] 中に、モニター/ファインダーが消える。

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF] (P40) が働き、モニター/ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。(P46)

モニターが明るすぎたり、暗すぎたりする。

- [モニター輝度] の設定を確認してください。(P39)
- [モニター調整]/[LVF調整] を行ってください。(P39)

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

モニターに画像が出ない。

- ファインダー表示になっていませんか？
→ [LVF] ボタンを押して、モニター表示に切り換えてください。(P46)
- モニターが消灯になっていませんか？
→ [DISP.] ボタンを押して表示情報を切り換えてください。(P53)

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

モニター/ファインダー上に黒、白、赤、青、緑の点が見れる。

- これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。

モニターにノイズが出る。

- 暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。

ファインダーに明るさや色のむらが見れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付けが発生します。記録される画像には問題ありません。

再生について

再生した画像が回転しない。意図しない方向に回転して表示される。

- [縦位置自動回転](P195)を[OFF]にすると画像は回転せずに表示されます。
- [画像回転](P195)で画像を回転することができます。

再生できない。撮影した画像がない。

- カードは入っていますか？
- カードに再生できる画像はありますか？
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。
→パソコンからカードに画像を書き込む場合は、DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を設定していませんか？
→[通常再生]に設定してください。(P183)

フォルダー・ファイル番号が[－]で表示されたり、画面が黒くなる。

- 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？
- 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？
→ このような画像を消去するには、バックアップをとりフォーマット(P27)してください。

再生音や操作音が小さい。

- スピーカーを塞いでいませんか？(P14)

カレンダー再生で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。

- 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P29)
- パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。

- 室内や暗い場所でフラッシュを使って撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがありますが、異常ではありません。

**画面に「サムネイル表示」と表示される。**

- 他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正([, [) が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
→ フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを([)にする、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P168)

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

Wi-Fi 機能について

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- セットアップメニューの [Wi-Fi 設定リセット] をお試しください。
- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか?
→ 同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
→ 本機と無線アクセスポイントを近づけてください。
→ 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
→ 本機の向きを変えてください。
→ 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
→ [マニュアル入力]を行ってください。(P239)
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
→ 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1~11チャンネルの中から選び、設定してください。
→ 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。(P239)もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。
- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください)
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか?
→ 5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

スマートフォンとの接続に毎回時間がかかる。

- スマートフォンの Wi-Fi 接続設定によっては時間がかかることがありますが、故障ではありません。

スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてお試しください。

LUMIX CLUB (PicMate)のログインID、パスワードを忘れた。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン画面にある案内を確認してください。
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

LUMIX CLUB (PicMate)の公開設定が変更できない。

- 本機から公開設定を変更することはできません。
→スマートフォン/タブレットまたはパソコンから「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインして設定を変更してください。

LUMIX CLUB (PicMate)の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。
- 表示順は「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像管理のルールにも影響されることがあります。

AV機器に画像が送信できない。

- AV機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。

自宅に無線アクセスポイントがないが、LUMIX CLUB (PicMate)のサービスユーザー登録をしたい。

- 無線アクセスポイントがない環境では「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録はできません。

パソコンに画像を送信できない。

- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。
ローカルアカウントを設定していない場合は、ローカルアカウントを設定してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi 機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi 設定] メニューの [PC 接続設定] の [変更する] で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。詳しくは、245 ページをお読みください。
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- 本機と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できないことがあります。
 - 本機の [時計設定]/[ワールドタイム] が、Windows の「日付と時刻」/「タイムゾーン」、または Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は、合わせてください。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報（ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード）が間違っていないか確認してください。
- Web サービスのサーバー、もしくは回線が混雑している可能性があります。
 - しばらくしてから再度実行してください。
 - LUMIX CLUB (PicMate) (<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>) や送信先の Web サービスのサイトもご確認ください。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ] (P244) で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割] (P191) で動画を分割して送信してください。
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
 - 無線アクセスポイントの近くで送信してください。

Web サービスにアップロードしたはずの画像が見えない。

- 画像送信中に切断された場合、アップロードを完了できないことがあります。
- サーバーの状況によっては、画像をアップロードしてから Web サービスに反映されるまで少し時間がかかることがあります。
 - しばらく待ってからもう一度お試しください。
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信状況を確認することができます。

Web サービスの画像をカメラに戻したい。

- Web サービス上の画像は本機に保存（ダウンロード）することはできません。
 - アップロードした画像は消去せず、必ずバックアップを残してください。

Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することができない。

- Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することはできません。
→ スマートフォン/タブレットやパソコンで操作してください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
- 画像のサイズが大きすぎませんか？
→ [送信サイズ] (P244) で画像サイズを小さくして送信してください。
→ [動画分割] (P191) で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。
(P217, 221, 222, 224, 227, 230)
- Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
→ 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

修理に出したら LUMIX CLUB (PicMate) のログイン ID、パスワードなどが消えてしまった。

- 修理の内容によっては、本機に登録された設定内容は消えてしまうことがあります。
→ 大切な設定は必ず控えを取っておいてください。

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を実行してください。(P43)ただし、お客様がWi-Fi設定メニューで設定したすべての情報もリセットされます。([PicMate 設定]は除く)

NFCで接続できない。

- お使いのスマートフォンが NFC に対応しているか確認してください。
→ 本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)でおサイフケータイ[®]、FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。
- スマートフォンのNFC機能がONになっているか確認してください。
→ 初めてスマートフォンのおサイフケータイ[®]機能を利用される場合は、事前に初期設定が必要です。
- おサイフケータイ[®]、Felicaでご利用時、インターネットで接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- [NFC動作]が[OFF]になっていませんか？ (P246)
- お使いのスマートフォンによっては、タッチしても認識しにくい機種があります。タッチしても認識されない場合は、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。
- タッチする時間が短いと認識できない場合があります。スマートフォンをしばらくタッチし続けてください。

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。

- 正しく接続されていますか？
→ テレビの入力切換を外部入力にしてください。

テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。 テレビ画面と本機のモニターの表示される領域が違う。

- 本機の[テレビ画面タイプ]を確認してください。(P41)
- テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。

テレビで動画の再生ができない。

- カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？
→ AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブルをテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P248)

本機のスピーカーから音が出ない

- AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブルを接続している場合、本機から音声は出ません。

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- HDMIマイクロケーブルで正しく接続されていますか？(P248)
- 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P42)
 - 入力切換が自動で切り換わらない場合はテレビのリモコンを使って入力切換してください。
 - 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
 - 本機の電源を入れ直してください。
 - テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)

パソコンとの通信ができない。

- パソコンが本機を正常に認識していますか？
 - 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P40、254)
 - 本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。

- USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
- 1台のパソコンに2つ以上のUSB端子がある場合、別のUSB端子に接続してみてください。

パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。

プリンターに接続して、プリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
→ 本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P40、257)

プリントすると、画像の端が切れる。

- トリミング(切抜き)や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「縁なし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください)
- お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

その他

レンズ部から音がする。

- 電源入または切時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

画像の一部が白と黒に点滅する。

- 白飛びが起きている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P59)

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P122)が赤く点灯します。

ズームの動きが一瞬止まる。

- EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

AF補助光が点灯しない。

- [AF補助光] を [ON] に設定していますか？ (P122)
- 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。

本機が熱くなる。

- ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→ 「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P29)

ファイル番号が連続して記録されない。

- 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。

ファイル番号がさかのぼって記録される。

- 電源を切らずにバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源を入れて撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売: DMW-AC10)、DCカプラー(別売: DMW-DCC8)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- マニュアルリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

モニター/ ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点や白い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納してください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P266)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



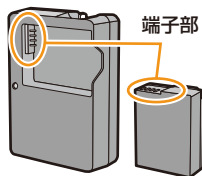
Li-ion 20

充電式

リチウムイオン
電池使用

チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

プロフィール設定/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードを設定することをお勧めします。(P246)

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
- 個人情報を含む情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [Wi-Fi 設定リセット]/[消去・退会] を行って必ず消去してください。(P43, 235)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P43)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、301 ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像を Web サービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところ保管してください。
(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RH です)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微小電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚使用時は、NFC アンテナ部にタッチできないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- Adobelは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- ☺は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

あ行

アイカップ	299
アイセンサー	46、47
アイセンサー AF	47
青空をさわやかに撮る	77
アクセス表示	26
圧縮率	108
位置情報記録	184
位置情報データ消去	244
位置情報の書き込み	215
イルミネーションをキラキラ撮る	80
色温度設定	105
色空間	111、255
インターバル撮影	141、179
インターバル動画作成	192
インターバル/コマ撮り撮影	141、144
インテリジェントオートプラスモード	61
インテリジェントオートモード	61
インテリジェント ISO	131
インプレッションアート	90
動くペットをきちんと撮る	82
後ダイヤル	18
エコモード	40
オートフォーカスモード	112
オートブラケット	138
オートホワイトバランス	104
オートレビュー	49
オールドデイズ	88
お気に入り	196
お気に入り登録する (Wi-Fi 接続)	241
お手入れ	298

か行

カード	25、26、301
ガイドライン表示	55
外部フラッシュ	166、262
外部マイク	264
顔・瞳認識	62、114
拡張 ISO 感度	132
画質設定 (動画撮影時)	169
画質調整	101
カスタムセット登録	98
カスタムマルチ (AF)	117
カスタムメニュー	279
カスタムモード	98
風音低減	178
画像回転	195

画像表示順	200
画像横縦比	107
カメラ内の画像を送る	244
カレンダー再生	57
感度 (アイセンサー)	47
機器名称	245
輝度レベル設定	176
逆光でしっかり撮る	76
逆光でふんわり撮る	76
逆光補正	63
記録画素数	107
記録可能時間 (動画撮影時)	24、28
記録可能枚数	23、27
記録方式	169
記録枠表示	171
クイックメニュー	33
クイック AF	121
クオリティ	108
クラウド上限枚数動作	244
クラウド同期サービス	230
クリエイティブコントロールモード	86
クリエイティブ動画モード	96
グループ画像	179
クロスフィルター	93
クロスプロセス	91
検出レベル	125
光学ズーム	157
個人認証	149
子どもをかわいく撮る	77
コマ撮りアニメ	144、179
コマ撮りアニメ作成	192
コントラスト	101

さ行

再生	56
再生時 HDMI 出力解像度	41
再生ズーム	56
再生メニュー	181、282
再生モード	183
彩度	101
サイレントモード	148
撮影中に画像を送る	243
撮影メニュー	276
三脚	303
サンシャイン	95
残枚数 / 残時間切換	28
シーンガイドモード	75

ジオタギング	216
ジオラマ	92
色調	101
自動シーン判別	61、62
視度調整	47
絞り優先 AE モード	69
シャープネス	101
写真撮影 (動画撮影時)	174
シャッター半押しリリース	121
シャッター半押し AF	121
シャッター方式	134
シャッター優先 AE モード	70
シャッターリモコン	263
充電	21
消去	60
消去確認画面	201
常時プレビュー (M モード)	72
ショルダーストラップ	20
シルキーモノクローム	90
人物の肌をきれいに撮る	76
人物をきれいに撮る	76
スイーツをかわいく撮る	82
水準器表示	55
水面をキラキラ撮る	78
ズーム	157
ズーム位置メモリー	159
ズームマイク	178
ズームマクロ撮影	128
ズームレバー	159
ステレオガンマイクホン	264
スポーツをきれいに撮る	82
スポット測光	133
スマートフォンとつないで使う	207
スライドショー	181
スリープモード	40
設定リセット	43
セットアップメニュー	37、281
セピア	89
ゼブラパターン表示	153
セルフタイマー	140
センターマーカー表示	153
専用マイク設定	264
送信サイズ	244
送信ファイル形式	244
測光モード	133
ソフトフォーカス	93

た行

タイトル入力	188
ダイナミックモノクローム	89
ダイヤル操作ガイド	18
ダイレクトフォーカス移動	120、126
宅外 AV 機器設定	236
多重露出	147
タッチシェアリング	246
縦位置検出機能	45
縦位置自動回転	195
ダビング	256
中央重点測光	133
超解像	109
長秒ノイズ除去	111
追尾 AF	114
露付き	12
デジタル赤目補正	168
デジタルズーム	159
デフォルトに戻す	35、36
手ブレ補正	155
テレビ画面タイプ	41
テレビ再生	220、247、248
テレビ接続設定	41
電子音	38
電子シャッター	134
電子シャッター音量	38
トイフォト	91
トイポップ	91
動画傾き補正	176
動画から写真を作成	180
動画再生	58
動画撮影	50、96、169
動画撮影中に写真を記録	174
動画撮影メニュー	175、278
動画分割	191
動画ボタン	50、171
動画露出設定	96
時計設定	29
ドライブモード	135
トラベル日付	38
トリミング (切抜き)	194

な行

認証情報	246
認証情報編集	200
ネットワークアドレス表示	246
ノイズリダクション	101

は行

バージョン表示	42
ハイキー	88
ハイスピード動画	97
ハイダイナミック	90
ハイライトシャドウ	102
ハイライト表示	59
パソコン接続	224、251
発光モード	165、167
バッテリー	21、25、300
花をふんわり撮る	81
パノラマ設定	83
パノラマで撮る	83
バルブ	72
番号リセット	43
ピーキング	125
ピエラリンク	42、249
ヒストグラム表示	54
日付プリント	198、259、260
ピント	112、113、170
ピンポイント AF 時間	120
ピンポイント (AF)	116、120
ファイル番号	43、255、271
ファインダー	46、267
ファインダー / モニター自動切換	46
ファンクションボタン	35
ファンタジー	93
フィルター効果	101
風景をきれいに撮る	77
フォーカスエリア選択	35
フォーカスモード	113
フォーカス / リリース優先	122
フォーマット	27、43
フォトスタイル	100
フォルダー番号	43、255、271
フラッシュ	160
フラッシュ光量調整	164、167
フラッシュシンクロ	164
フラッシュ設定	162
フラッシュモード	162
ブリーチバイパス	91
フリッカー軽減	176
プリント	221、257
プリント設定	197
プリント枚数	197、259
プレビュー	73
プログラムシフト	68

プログラム AE モード	67
プロテクト	199
プロフィール設定	152
ボケ味コントロール	65、87
ホットシュー	262
ホットシューカバー	262
ポップ	88
ほのぼのした雰囲気撮る	77
ホワイトバランス	103
ホワイトバランス微調整	105
ホワイトバランスブラケット	106

ま行

マイクレベル設定	177
マイクレベル表示	177
マクロ撮影	128
マニュアル発光量設定	165、167
マニュアルフォーカス	123
マニュアルリング (ズーム)	159
マニュアル露出モード	71
マルチ再生	57
マルチ測光	133
メカシャッター	134
メニュー位置メモリー	42
メニューインフォメーション	42
メニューガイド	52
メニュー背景色	32
文字入力	44
文字焼き込み	189
モニター	17、267
モニター輝度	39
モニター撮影情報画面	33、53、55
モニター自動 OFF	40
モニター調整	39
モニター表示スタイル	53
モノクローム	89
モノクロで撮る	82
モノクロライブビュー	154

や行

夜景をアーティスティックに撮る	79
夜景を暖かく撮る	79
夜景をきれいに撮る	78
夜景を手持ちで撮る	80
夜景をバックに人物をきれいに撮る	80
夕焼けを印象的に撮る	78
夕焼けを幻想的に撮る	78

用紙サイズ	259
夜空をクールに撮る	79

5行

ライブビューモード	39
ラフモノクローム	90
リサイズ (縮小)	193
リモート撮影	212
料理をおいしそうに撮る	81
レイアウト	259
レトロ	88
連写	136
連写速度	136
レンズ	300
レンズキャップ	20
ローキー	89
露出補正	130
露出補正リセット	42
露出補正連動	165
露出メーター	67

わ行

ワールドタイム	37
ワイヤレス設定	167
ワイヤレスチャンネル	166
ワイヤレス通信光量	166
ワイヤレスフラッシュ	166
ワイヤレスプリント	221
ワイヤレスモード	166
ワンタッチ AE	74
ワンポイントカラー	94

英数字

1 点 (AF)	116
1 枚消去	36、60
49 点 (AF)	115
4K 動画	173、247
AC アダプター	265
AF 補助光	122
AF マクロ撮影	128
AF 連続動作 (動画)	170
AFC	113、170
AFF	113、170
AF-ON	124、129
AFS	113、170
AF/AE ロック	129
AF/AE ロック維持	129

AF/AE ロック切換	129
AF+MF	122
AV 機器	222
AV ケーブル	248、256
AVCHD	169
AVCHD Progressive	169
B (パルプ)	72
DC カプラー	265
DCF 規格	56
EX 光学ズーム	158
Fn ボタン設定	35
HDAVI Control™	249
HDMI 情報表示 (撮影時)	41、154
HDMI マイクロケーブル	248
HDR	110
i 手持ち夜景	64
iA ズーム	158
iD レンジコントロール	109
i HDR	64
Image App	206
iOS	206
IP アドレス	246
ISO 感度	131
ISO 感度上限設定	132
ISO 感度ステップ	132
iISO (インテリジェント ISO)	131
LUMIX CLUB (PicMate)	232
LVF 調整	39
LVF 表示スタイル	53
LVF/ モニター切換	47
MAC アドレス	246
MC プロテクター	265
MF	123
MF アシスト	124、126
MP4	169
ND フィルター	265
NFC	211、214
NFC 動作	246
PC 接続設定	245
PHOTOfunSTUDIO	252
PicMate 設定	232
PictBridge	257
PL フィルター	265
Q.MENU	33
RAW	108

RAW 現像.....	185
SD スピードクラス.....	26
TTL	165、167
TV で見る	220
UHS スピードクラス.....	26
USB 接続ケーブル.....	254、257
USB モード.....	40
Web サービス.....	227
Wi-Fi 機能.....	205
Wi-Fi 設定メニュー	245
Wi-Fi 設定リセット	43
Wi-Fi パスワード	246
Wi-Fi Direct	240
WPS	238



パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2014